

brother®

取扱説明書

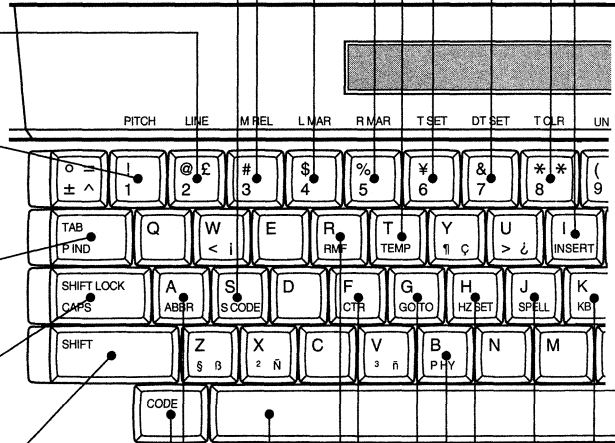
電子タイプライター

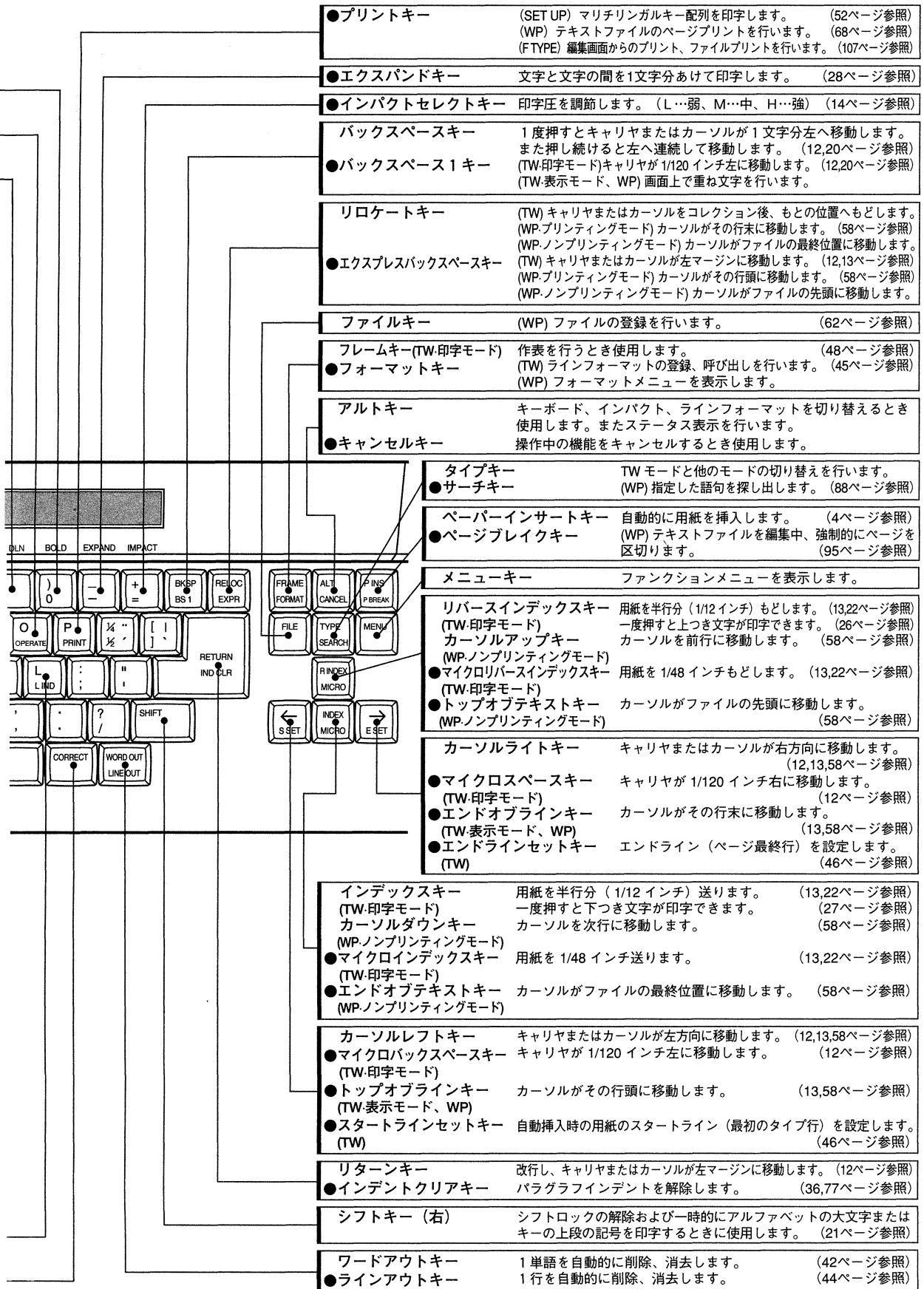
EX-630

EX-630

キーボード部の名称とはたらき

●ボールドキー	太文字を印字します。(28ページ参照)
●オペレートキー	(TW) 印字モード(NORMAL/AUT)・表示モード(L/L/JST)の各モードを切り替えます。(10,11ページ参照) (WP) JSTのON/OFFの切り替えを行います。(57ページ参照)
●オートアンダーラインキー	文章や単語に自動的にアンダーラインを引きます。(29ページ参照)
●インサートキー	挿入モードと書替モードを切り替えます。(80ページ参照)
●タブクリアキー	タブ、デシマルタブを解除します。(30,32ページ参照)
●デシマルタブセットキー	デシマルタブを設定します。(31ページ参照)
●タブセットキー	タブを設定します。1行内に最大30箇所まで設定できます。(30ページ参照)
●テンプキー	(WP) テキストファイル中のブロック指定した文章を別のテキストファイルにコピーします。(86ページ参照)
●ライトマージンキー	右マージンを設定します。(18ページ参照)
●レフトマージンキー	左マージンを設定します。(17ページ参照)
●マージンリリースキー	左右のマージンを一時的に解除します。(17,18ページ参照)
●ストップコードキー	(WP) ストップコードを設定します。(95ページ参照)
●ラインスペースセレクトキー	行送り量を選択します。(1.0…1行、1.5…1 ¹ / ₂ 行、2.0…2行)(14ページ参照)
●ピッチセレクトキー	使用するデジザールカセットのピッチに応じて選択します。(16ページ参照) 10…1インチに10文字印字します。 12…1インチに12文字印字します。 15…1インチに15文字印字します。 PS…文字ごとに設定されたピッチで印字します。
タブキー	キャリヤまたはカーソルがすぐ右のタブまたはデシマルタブへ移動します。(30,32,73ページ参照)
●パラグラフインデントキー	仮の左マージンを設定します。(36ページ参照)
シフトロックキー	アルファベットの大文字またはキー上段の記号を連続して印字するときに使用します。(21ページ参照)
●キャプスキー	数字とアルファベットの大文字を連続して印字するときに使用します。(21ページ参照)
シフトキー(左)	シフトロックの解除および一時的にアルファベットの大文字またはキーの上段の記号を印字するときに使用します。(21ページ参照)
コードキー	緑色で表示された記号やファンクションを使うときに使用します。コードキー併用時はすべて先に押します。
●アプリケーションキー	フレーズ短縮メモリーを呼び出します。(50,70ページ参照)
スペースバー	1度押すとキャリヤまたはカーソルが1文字分右へ移動します。また押し続けると右へ連続して移動します。(12ページ参照)
●パーマネントスペースバー	(TW) 印字モード<AUT>/表示モード(WP)ホットゾーン内でオートキャリヤリターンしてほしくないときに使用します。(10,12ページ参照)
●ライトマージンフラッシュキー	右マージンで右寄せ印字をします。(33,75ページ参照)
●センタリングキー	左右マージン間、タブ間等のセンタリングをします。(34,78ページ参照)
●ゴートウーキー	(WP) カーソルが指定されたページの先頭へ移動します。(92ページ参照)
●パーマネントハイフンキー	(TW) 印字モード<AUT>/表示モード(WP)ホットゾーン内でオートキャリヤリターンしてほしくないときに使用します。(10ページ参照)
●ホットゾーンセットキー	ホットゾーンの文字数を3～12文字の範囲で設定します。(19ページ参照)
●ワードスペルチェックキー	(TW) ワードスペルチェックのON/OFFの切り替えを行います。 (WP) ワードスペルチェックメニュー画面を表示させます。(120ページ参照)
●キーボードセレクトキー	使用するデジザールカセットに合わせて選択します。(15ページ参照) (1…通常、2…インターナショナル、3…シンボル)
●ラインインデントキー	キャリヤまたはカーソルが右へ5文字分移動します。(37,77ページ参照)
コレクションキー	自動で文字を削除します。(37ページ参照)
●マニュアルコレクションキー	手で文字を削除します。(38ページ参照)





注) 1. ●印はコードキーを押したまま使用します。

2. (TW) はタイプライターモード、(WP) はワープロモード、(F TYPE) はフォームタイピングモードを示します。

お買い上げまことにありがとうございます。この製品のすばらしい性能と、その正しい使い方をご理解いただくために、この〈取扱説明書〉を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書とともに、必ず保管してください。

〈取扱説明書の使い方〉

本書は、電子タイプライターを初めてお使いになる方には、わかりやすく、またすでに経験されている方には、効率的に、EX-630の機能を理解していただけるように編集しました。なお、このEX-630のすべての機能をひとつお理解していただいたあと、本書は参考マニュアルとしてお使いください。各章各節は独立して構成されていますから、どこから読みはじめても不都合はありません。

もくじ

キーボード部の名称とはたらき

第1章 タイプを始める前に

1. 機器構成 (名称とはたらき)	1
2. 電源コード・電源スイッチ	2
3. バックアップ機能	2
4. リセット (バックアップメモリーを消去します)	2
5. マージンスケール	3
6. トップカバー	3
7. コピーコントロールレバー	3
8. 用紙の挿入	4
A 自動挿入<P INS> (用紙を自動で挿入します)	4
B 手動挿入 (用紙を手動で挿入します)	4
9. デイジーホイールカセット	5
A 取りはずし方	5
B 取り付け方	5
10. カセットリボン	6
A 取りはずし方	6
B 取り付け方	6
11. コレクションテープ	7
A 取りはずし方	7
B 取り付け方	7

第2章 TW (タイプライター) モード・基礎編

1. TW (タイプライター) モード (通常のタイプを行います)	8
● TW (タイプライター) モードの選択	8
2. TWディスプレイ表示	9
A 分数表示	9
B 重ね文字表示	9
C デッド文字表示	9
D ボールド表示	9
E エクスバンド表示	9
F アンダーライン表示	9
G スーパースクリプト・サブスクリプト表示	9
H キーボード3 (シンボル) で入力された文字表示	9
3. オペレートキー<OPERATE>	10
A 印字モード (タイプした文字を直接印字します)	10
(1) NORMAL (ノーマル) モード (1文字ごとに印字します)	10
(2) AUT (オートキャリヤリターン) モード (自動的に改行します)	10
● パーマネントスペースバー (ホットゾーン内でスペースを入れます)	10
● パーマネントハイフンキー (ホットゾーン内でハイフンを入れます)	10
B 表示モード (タイプした文字を直接印字せず、ディスプレイに表示します)	11
(3) L/L (ラインバイライン) モード (いったんディスプレイに表示し、1行ごとに印字します)	11
(4) JST (ジャスティフィケーション) モード (いったんディスプレイに表示し、右マージンで行末をそろえて印字します)	11
4. キャリヤ移動キーとカーソル移動キー	12
A 印字モードの場合	12
B 表示モードの場合	13
5. インパクトセレクトキー<IMPACT> (印字圧を調節します)	14
6. ラインスペースセレクトキー<LINE> (行間を変えます)	14
7. キーボードセレクトキー<KEYBOARD> (キーボードを切り替えます)	15
● インターナショナルキーボード	15
● シンボルキーボード	15

電子タイプライターを初めてお使いになる方は

どうか、各章を最初から最後まで熟読してください。読み進むにつれてEX-630があなたのフレンドリーな道具になってゆきます。

電子タイプライターの経験がある方は

特に前半部分は読み飛ばして差し支えありません。もし知らない事柄があれば、そのページだけに目を通していただければよいと思います。

8.	ピッチセレクトキー<PITCH> (文字間を変えます)	16
9.	マージン (用紙に印字する左右幅です)	17
	A 左マージンの設定<L MAR>	17
	● 現在の左マージンより右に設定する場合	17
	● 現在の左マージンより左に設定する場合	17
	B 右マージンの設定<R MAR>	18
	● 現在の右マージンより左に設定する場合	18
	● 現在の右マージンより右に設定する場合	18
	C マージンの解除	18
10.	ホットゾーン (右マージンから手前6文字分の範囲です。)	19
	● ホットゾーンセットキー<HZ SET> (ホットゾーンの文字数を3~12文字の範囲で設定します)	19
11.	バックスペース	20
	A バックスペースキー<BKSP> (1文字分左に移動します)	20
	B バックスペース1キー<BS1> (1/120インチ左に移動します)	20
	C エクスプレスバックスペースキー<EXPR> (改行せず、左マージンへすばやく移動します)	20
	D パーマネントバックスペースキー (表示モードでの重ね文字に使用します)	20
12.	シフト・シフトロックキー	21
	A シフトキー<SHIFT> (アルファベットの大文字またはキー上段の記号をタイプする場合に使用します)	21
	B シフトロックキー<SHIFT LOCK> (アルファベットの大文字を続けてタイプする場合に使用します)	21
13.	キャプスキー<CAPS> (数字とアルファベットの大文字を連続してタイプする場合に使用します)	21
14.	エクストラ文字キー (キーボード上の緑色の文字をタイプします)	22
15.	インデックスキー<INDEX>・リバースインデックスキー<R INDEX> (用紙を1/12インチ送ったりもどしたりします)	22
16.	マイクロインデックスキー<MICRO>・マイクロリバースインデックスキー<MICRO> (用紙を1/48インチ送ったりもどしたりします)	22
17.	デッドキー (àなど特殊な文字を重ねてタイプします)	23
	A 印字モードの場合	23
	B 表示モードの場合	23
18.	重ね文字 (IIなど文字を重ねてタイプします)	24
	A 印字モードの場合	25
	B 表示モードの場合	25
19.	スーパースクリプト (上つき文字) <R INDEX> (上つき文字をタイプします)	26
	A 印字モードの場合	26
	B 表示モードの場合	26
20.	サブスクリプト (下つき文字) <INDEX> (下つき文字をタイプします)	27
	A 印字モードの場合	27
	B 表示モードの場合	27

第3章 TW (タイプライター) モード・応用編

1.	ボールドキー<BOLD> (太文字をタイプします)	28
	A ボールドの設定	28
	B ボールドの解除	28
2.	エクスパンドキー<EXPAND> (文字と文字の間を1文字分あけてタイプします)	28
	A エクスパンドの設定	28
	B エクスパンドの解除	29
3.	オートアンダーラインキー<UNDLN> (文章や単語に自動的に下線を引きます)	29
	A オートアンダーラインの設定	29
	● 文章全体 (CNT) にアンダーラインを引く場合	29
	● 単語 (WRD) にアンダーラインを引く場合	29
	B オートアンダーラインの解除	29
4.	タブ (文章中、頭ぞろえでタイプします)	30
	A タブの設定<T SET>	30
	B タブの実施<TAB>	30
	C タブの解除<T CLR>	30

● タブのオールクリア	30
● タブの自動設定	31
5. デシマルタブ (数字を小数点ぞろえでタイプします)	31
A デシマルタブの設定<DT SET>	31
B デシマルタブの実施<TAB>	32
C デシマルタブの解除<T CLR>	32
6. ライトマージンフラッシュキー<RMF> (自動的に右寄せ印字します)	33
A ライトマージンフラッシュの設定	33
B ライトマージンフラッシュの解除	33
7. センタリング<CTR> (自動的にマージン間やタブ間等の中央にタイプします)	34
A マージン間のセンタリングの設定	34
B タブ間のセンタリングの設定	34
C 任意の位置でのセンタリングの設定	35
D センタリングの解除	35
8. パラグラフインデントキー<P IND> (一時的な仮の左マージンを設定します)	36
A パラグラフインデントの設定	36
B パラグラフインデントの解除<IND CLR>	36
9. ラインインデントキー<L IND> (キャリヤが5文字分移動します)	37
10. コレクション<CORRECT> (文字を修正します)	37
A 印字モードでのコレクション (印字された文字を修正します)	37
(1) オートコレクション (印字された文字を自動で削除します)	37
(2) マニュアルコレクション (印字された文字を手動で削除します)	38
● ペーパーメーターの使い方 (印字された文字を修正します)	39
B 表示モードでのコレクション (ディスプレイ上で文字を修正します)	40
(1) 文字の挿入 (ディスプレイ上で文字を挿入します)	40
(2) 文字の修正 (ディスプレイ上で文字を修正します)	41
(3) 文字の消去 (ディスプレイ上で文字を消去します)	41
11. ワードアウトキー<WORD OUT> (1単語を自動的に削除します)	42
A 印字モードの場合	42
B 表示モードの場合	43
12. ラインアウトキー<LINE OUT> (1行を自動的に削除します)	44
A 印字モードの場合	44
B 表示モードの場合	44
13. ラインフォーマット<FORMAT> (よく使用するラインフォームを登録することができます)	45
A ラインフォーマットの登録	45
B ラインフォーマットの呼び出し	45
C ラインフォーマットのクリア	45
14. スタートラインセットキー<S SET> (最初のタイプ行の設定をします)	46
15. エンドラインセットキー<E SET> (ページの最終行の設定をします)	46
16. ページエンド (エンドラインを自動的に知らせます)	47
● エンドラインを越えてタイプしたい場合	47
● エンドラインの解除	47
17. フレーミング<FRAME> (縦線、横線を引いて作業することができます)	48
A フレーミングの枠指定	48
B フレーミングの枠指定の解除	49
C フレーミングの中止	49
● 枠指定中のフレーミングの中止	49
● 枠タイプ中のフレーミングの中止	49
18. TW (タイプライター) モードでのフレーズ短縮メモリーの呼び出し	50
A 印字モードの場合	50
B 表示モードの場合	50
19. マルチリンガル (21種類の言語に対応できます)	51
A マルチリンガルキーボードの設定	51
B マルチリンガルキーボードの解除	52
C マルチリンガルキー配列の印字	52
D キーボードコード表	53
E マルチリンガルキー配列	53

第4章 WP (ワープロ) モード・ファイル機能編

1. WP (ワープロ) モード (作成したファイルをフロッピーに登録します)	56
● WP (ワープロ) モードの選択	56
2. WPディスプレイ表示	57
3. テキストファイル中のファンクション表示	57
4. カーソル移動キー	58
5. ファイルについて	59
A ファイルの種類	59

● テキストファイル	59
● フレーズ短縮メモリー	59
B フロッピーディスク容量について	59
C オートセーブ	59
6. フロッピーディスク	60
A フロッピーディスク取り扱い上のご注意	60
B フロッピーディスクのセットと取り出し	61
● セット	61
● 取り出し	61
C フロッピーディスクの初期化	61
7. テキストファイル（文章およびラインフォームを登録します）	62
A テキストファイルの登録	62
B テキストファイルの編集	63
C テキストファイルのコピー	64
D テキストファイルの消去	65
● テキストファイルの全消去	65
E テキストファイルのリネーム	66
F テキストファイルの打ち出し	67
(1) ファイルプリント（登録されているテキストファイルを打ち出しします）	67
(2) ページプリント（指定したページのみを打ち出しします）	68
● プrintメニュー設定項目	68
● 打ち出しの中断	68
● 打ち出しの中止	68
8. フレーズ短縮メモリー（よく使用するフレーズを登録します）	69
A フレーズ短縮メモリーの登録	69
B フレーズ短縮メモリーの呼び出し	70
C フレーズ短縮メモリーの消去	70
D フレーズ短縮メモリーのフロッピーディスクへの登録	71
E フレーズ短縮メモリーの読み込み	72

第5章 WP（ワープロ）モード・編集機能編

1. タブ<TAB>	73
● タブの実施	73
2. デシマルタブ<D TAB>	74
● デシマルタブの実施	74
3. ライトマージンフラッシュキー<RMF>	75
A ライトマージンフラッシュの設定	75
● ライトマージンフラッシュコード<R>の挿入	75
● ライトマージンフラッシュコード<R>の削除	75
B ライトマージンフラッシュの解除	76
4. パラグラフインデントキー<P IND>	76
A パラグラフインデントの設定	76
B パラグラフインデントの解除	77
5. ラインインデントキー<L IND>	77
6. センタリング<CTR>	78
A マージン間のセンタリング	78
B タブ間のセンタリング	79
C センタリングの解除	80
7. インサートキー<INSERT>（挿入モードと書替モードを切り替えます）	80
A インサートモードの設定	80
B インサートモードの解除	80
8. テキストファイル中のラインフォームの変更（ラインフォームを変更します）	81
9. テキストファイル中のラインフォーマットの呼び出し（登録されているラインフォーマットを呼び出します）	82
10. テキストファイル中のフォーマットコードの消去（フォーマットコードを消去します）	82
11. ブロック（テキストファイル中の文章の一部をブロック指定し、複写・消去・移動することができます）	83
A ブロックコピー（ブロック指定した文章を複写します）	83
B ブロックデリート（ブロック指定した文章を消去します）	84
C ブロックムーブ（ブロック指定した文章を移動します）	85
12. テンポラリーメモリー<TEMP>（ブロック指定した文章を別のテキストファイルに複写することができます）	86
A テンポラリーメモリーの登録	86
B テンポラリーメモリーの呼び出し	87
13. サーチ（修正したい語句を捜し出します）	88
14. リプレース（修正したい語句を捜し出し、新しい語句に置き替えます）	89
15. ワードラップ（単語が2行にわたらないように、次行へ移動させます）	90
16. ハイフンスキャン（長い単語にハイフンを挿入し、文章を見やすくします）	91

17.	ゴートウキー<GO TO> (指定したページを先頭から表示させます)	92
	● ゴートウキーの設定	92
	● カーソルのあるページの先頭を表示させるには	92
	● カーソルのあるページの次ページの先頭を表示させるには	92
18.	ペーパーサイズ (テキストファイルのページサイズを設定します)	93
	● ページサイズの設定	93
	● ページサイズ設定項目	93
19.	ヘッダー・フッター (ヘッダー・フッターを設定します)	94
20.	ページブレイクキー<P BREAK> (強制的にページを区切ります)	95
21.	ストップコードキー<S CODE> (ストップコードを登録しておく、ファイルプリントを中断することができます)	95
	● ストップコードの登録	95
	● 打ち出し中のストップコード	95

第6章 フォームタイピングモード (定型用紙などの指定位置に簡単に文字を打ち込むことができます。)

1.	F TYPEディスプレイ表示	96
	● アイテム位置入力画面	96
	● ポジションセット画面	96
	● フィルイン入力画面	96
2.	フォームタイピングファイルの作成	97
3.	フォームタイピングファイルの登録	99
4.	フォームタイピングファイルの編集	100
	A フィルインデータの修正	100
	B 印字位置の変更	101
	C アイテムネームの変更	102
	D アイテムの追加	102
	E データの全消去	103
5.	フォームタイピングファイルのコピー	103
6.	フォームタイピングファイルの消去	104
7.	フォームタイピングファイルのリネーム	105
8.	フォームタイピングファイルの打ち出し	106
	A 編集画面からのプリント	106
	B ファイルプリント	107
	C 打ち出し中のストップコード	107

第7章 ファイルマネジメントモード

1.	ファイルのコピー	108
2.	ファイルの消去	109
3.	ファイルのリネーム	110
4.	ファイルのコンバート	111
	A 「EX-630」のテキストファイルからASCIIファイルへのコンバート	111
	● WP→ASCIIのコード変換処理	112
	B ASCIIファイルから「EX-630」のテキストファイルへのコンバート	113
	● ASCII→WPのコード変換処理	114
	C 「CX-1000α」のテキストファイルから「EX-630」のテキストファイルへのコンバート	114
5.	ファイルの全消去	115
6.	ディスクコピー (隠し機能)	116

第8章 ワードスペルチェック機能

1.	ワードスペルチェック (単語のスペルをチェックします)	117
	A TW (タイプライター) モードでのワードスペルチェック	117
	(1) ワンワードモード (文章をタイプしながら、単語をチェックします)	117
	● 印字モードの場合	117
	● 表示モードの場合	119
	(2) ファインド	119
	B WP (ワープロ)モードでのワードスペルチェック	120
	(1) ファイル作成中の場合	120
	(2) ファイル作成後の場合	120
	C ワードスペルチェックモードの解除	121
	D スペルの再チェック	121
	E ワードスペルチェックの規則	121
	● 単語の区切りとなるキー・ファンクションキー	121
	● 特殊なワードスペルチェック	121
2.	リダナントチェック (同じ単語のくり返しをチェックします)	122

3. ユーザー辞書（内蔵辞書に登録されていない単語を登録することができます）	123
A ユーザー辞書への登録	123
● スペルの再チェックを利用した登録	123
● ユーザー辞書登録のチェック規則	123
● ユーザー辞書の学習機能	123
B ユーザー辞書の消去	124
● ユーザー辞書のサーチ	125
C ユーザー辞書の全消去	125
D ユーザー辞書のフロッピーディスクへの登録	126
E ユーザー辞書のフロッピーディスクからの呼び出し	127
● スペリングプログラムについて	127

<付録>

こんなときは・・・？	128
タイプライターの手入れとご注意	129
エラーメッセージ一覧表	130
仕様	132
消耗品	132
索引	133
レイアウト例	135

第1章 タイプを始める前に

1. 機器構成 (名称とはたらき)

ペーパーベイルレバー

レバーを手前に引くと、ペーパーベイルがプラテンから離れ、用紙の挿入または調節が簡単になります。

ペーパーガイド

用紙の大きさに応じて用紙左端の位置を決めます。

ペーパーエッジガイドマーク

用紙セットの目安にします。

ペーパーエンドインジケータ

ペーパーサポーターより起こしてセットし、タイプ中の用紙の残り行数を表示します。

キャリヤ

カセットリボン・デイジーホイールカセット・コレクションテープおよびハンマーユニットから構成され左右に移動する印字装置です。

プラテン

ペーパーベイル

用紙をプラテンに密着させます。

ペーパーリリースレバー

レバーを手前に引くと、用紙が自由に動きますので、まっすぐに調節することができます。

ペーパーサポーター

用紙をささえます。
注) 本体の穴に差し込んでください。

電源スイッチ

電源を<ON>・<OFF>にします。

プラテンノブ

用紙を手動で送るときに使用します。

マージンスケール

10・12・15の3種類のピッチスケールがあり、左右のマージン位置やタイプ位置を示します。

反射防止板

タイピングラインを見やすくするために、角度が自由に変わります。

ディスプレイ

文字やメッセージを表示します。

トップカバー

デイジーホイールカセット・カセットリボン・コレクションテープなどを交換するとき、トップカバーを開けて行います。

防音カバー

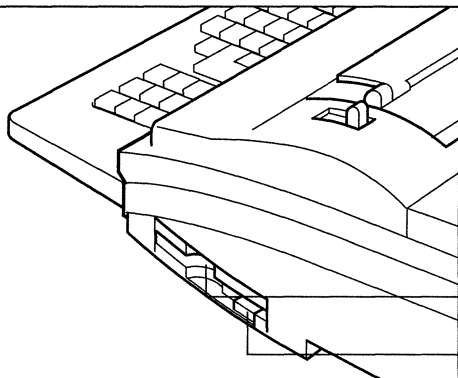
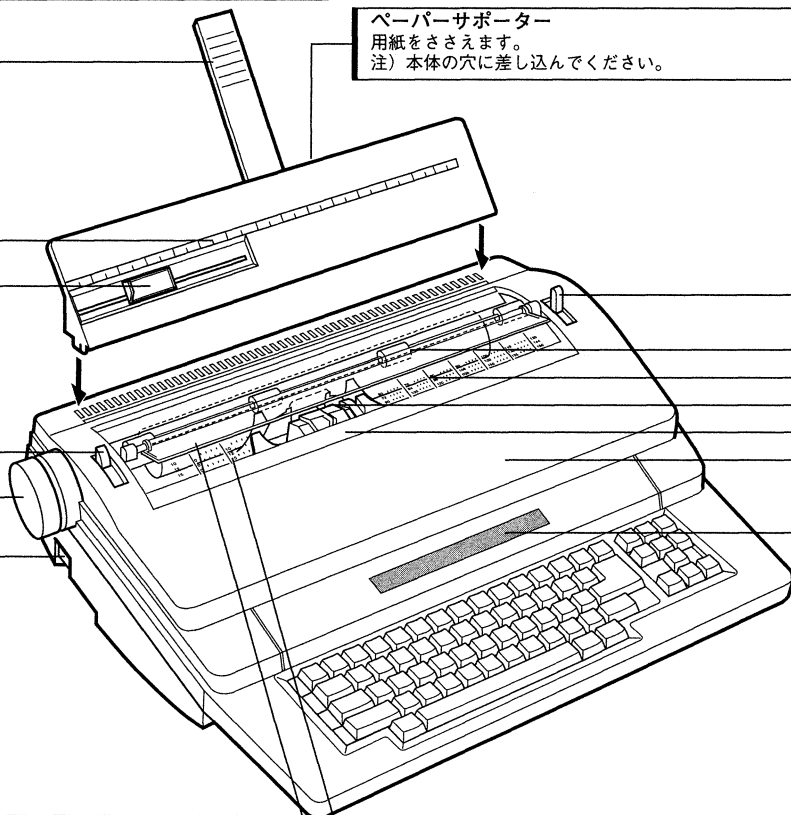
タイプ音をより一段と静かにし、異物の混入も防ぎます。通常はこのカバーを閉めたまま使用します。

フロッピーディスクドライブ

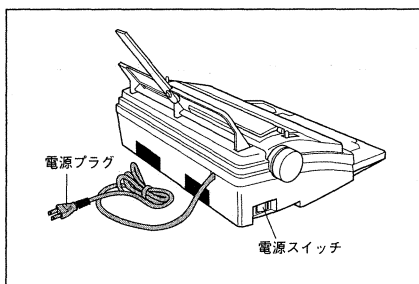
フロッピーディスクの読み取り、書き込みをする装置です。

イジェクトボタン

フロッピーディスクを取り出すときに使用します。



2. 電源コード・電源スイッチ



1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
2. 左側プラテンノブの下にある、電源スイッチを<ON>にします。キャリヤが左端に自動的に移動します。デジールホイールカセットが回転して停止し、キャリヤがあらかじめ設定されている左マージンに移動します。

注) 作動しないときは<こんなときは・・・?> (128ページ)を参照してください。

3. バックアップ機能

注) お買い求め頂きましてから約5年間たちますと、リチウム電池が消耗し、バックアップされている内容がすべて消去されます。

電源スイッチを<OFF>にしても、下記の内容は約5年間記憶されています。

1. ラインフォーマット (1~5)
2. ユーザー辞書
3. その他お客様の設定されたラインフォーム等

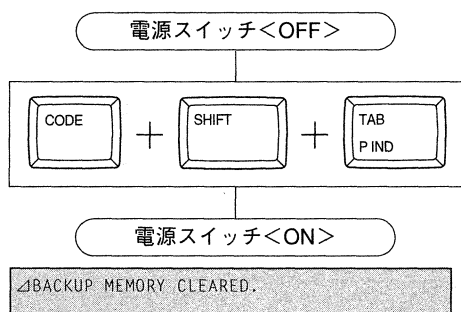
尚、本体の中に内蔵されておりますリチウム電池が消耗すると初期設定 (お買い上げ時の状態) にもどります。タイプライターをお買い求め頂きました販売店にてリチウム電池の交換を行ってください。

<初期設定>	ピッチ	10	ホットゾーン	6
	ラインスペース	1	スタートライン	用紙上端より1インチ
	左マージン	10	エンドライン	設定なし
	右マージン	75	テキストファイル	登録なし
	タブ	左右マージン間に10文字ごと	フレーズ短縮メモリー	登録なし
	デシマルタブ	設定なし	ワードスペルチェック	OFF
	インパクト	M	ユーザー辞書	登録なし
	キーボード	1	マルチリンガルキーボード	Japanese English (005)
	オペレート	NORMAL		
	カーソル	書替モード		

- 注) 1. 右マージン・左マージン・タブ・デシマルタブ・ピッチ・ラインスペースは、TWモード、WPモードで別々に設定することができます。これによりWPモードからTWモードに切り替えたあと、もう一度WPモードにもどったときは、もとのWPモードでしようしていた設定値で作動します。
2. WPモードからTWモードに切り替えたときは、キャリヤは左マージンの位置に移動します。

4. リセット

テキストファイルやラインフォーマットなど、バックアップメモリーをすべて消去することができます。



電源スイッチを<OFF>の状態、コードキーとシフトキーとタブキーを押したまま、電源スイッチを<ON>にします。デジールホイールカセットが回転し、キャリヤが左端まで移動します。ディスプレイにメッセージが表示されます。これでバックアップメモリーがすべて消去され、タイプライターはお買い上げ時の状態 (初期設定) にもどります。

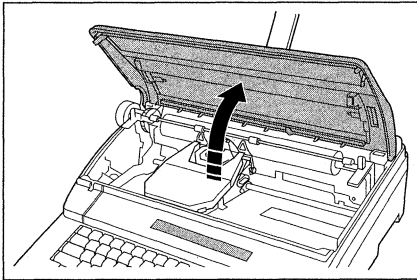
5. マージンスケール

10, 12, 15の3種類のピッチスケールがあり、タイプの目安に使うと便利です。

10	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120
12	0	12	24	36	48	60	72	84	96	108	120	132	144
15	0	15	30	45	60	75	90	105	120	135	150	165	180

ピッチセレクトキー "10" のスケールです。〈ピッチセレクトキー〉 (16ページ) 参照

6. トップカバー



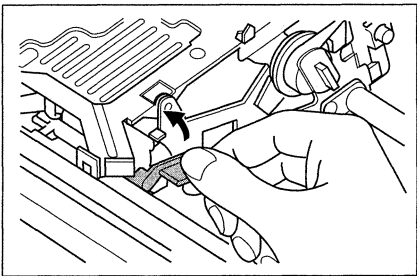
デジールカセット、カセットリボンやコレクションテープの交換のときに、トップカバーを開けて行います。

電源スイッチが〈ON〉のときに、トップカバーを開けるとディスプレイにメッセージ表示され、キーボードはロックし、タイプできません。トップカバーを閉じると、キャリヤは左端に移動したあと、もとの位置にもどります。

COVER OPEN.

- 注) 1. トップカバーを開けても、マージン・タブおよびオートコレクションなどは保護されています。
2. キャリヤは手では動かさないでください。動いた場合は、トップカバーを開閉してください。キャリヤはもとの位置にもどります。
3. トップカバーを閉めたときは、確実に閉められていることを確認してください。
4. カセットリボンの交換などトップカバーを開けると、キーボードはロックします。これによって電源スイッチが〈ON〉の状態でも、デジールカセット・カセットリボンまたはコレクションテープの交換は安全にできます。

7. コピーコントロールレバー



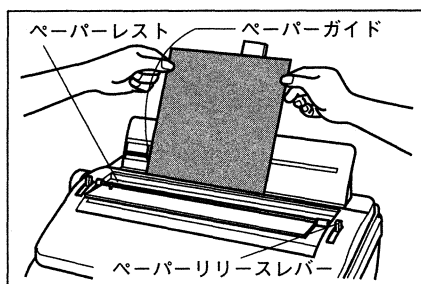
キャリヤの右側にコピーコントロールレバーがあり、2段階に調節することができます。通常用の紙1枚のときは、レバーを下の位置にします。厚い用紙または封筒などを挿入するときは、レバーを上げます。

注) インパクトセレクトキーを併用するとより美しい印字ができます。〈インパクトセレクトキー〉 (14ページ) 参照

8. 用紙の挿入

用紙は自動挿入、手動挿入することができます。

A 自動挿入<PINS>

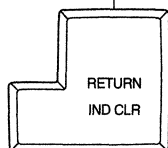


1. 本体の電源スイッチを<ON>にして、ペーパーリリースレバーがうしろ側にあるか確かめてください。
2. 用紙の裏面を手前側にしてペーパーレストのうしろ側から、プラテンの抵抗が感じられる位置まで差し込みます。用紙の左端をペーパーガイドに添えます。

3. ペーパーインサートキーを押すとペーパーベイルが上がり、キャリヤは中央に移動し、用紙が自動的に送り込まれます。ディスプレイにメッセージ表示されます。

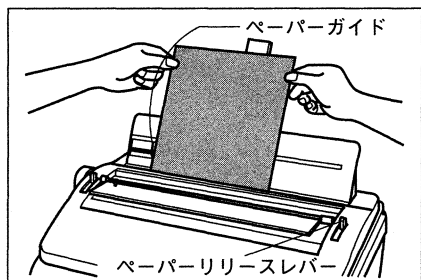
- 注) 1. スタートライン (最初のタイプ行) は1インチに設定されています。
2. 用紙の送り込み量を設定することができます。<スタートラインセットキー> (46ページ) を参照してください。

4. リターンキーを押し、キャリヤを左マージンに移動させます。

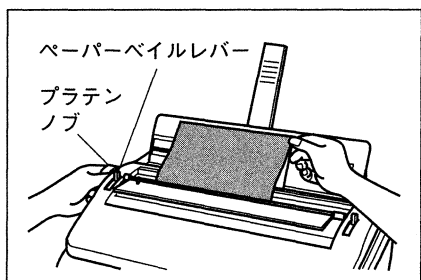


- 注) 1. 用紙の位置調節を行うときは、インデックスキー・リバースインデックスキーにより、半行幅 (1/12インチ) で用紙を上げたり、下げたりすることができます。さらに微調整を行うときは、コードキーを押したままインデックスキー・リバースインデックスキーを押すと1/48インチ (約0.5mm) 単位で上下できます。<インデックスキー・リバースインデックスキー> (22ページ) <マイクロインデックスキー・マイクロリバースインデックスキー> (22ページ) 参照
2. 用紙が曲がっていたり、正しくセットされていないときは、ペーパーリリースレバーを手前に引き、用紙を直してください。次に、ペーパーリリースレバーをもとにもどしてください。

B 手動挿入



1. ペーパーリリースレバーがうしろ側にあることを確かめます。
2. 用紙の裏面を手前側にして用紙の左側をペーパーガイドに合わせながら、両手で用紙をまっすぐに挿入します。

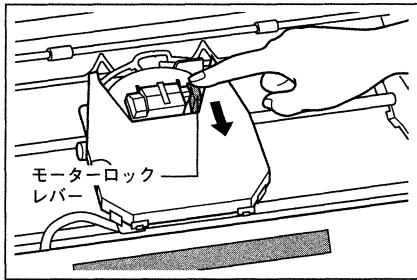


3. ペーパーベイルレバーを手前に引いたままプラテンノブを回して、用紙を送ります。用紙の先端がペーパーベイルの下へきたら、ペーパーベイルレバーをもとの位置にもどします。

注) 用紙が曲がっていたり、正しくセットされていないときは、<自動挿入 注) 2.>を参照してください。

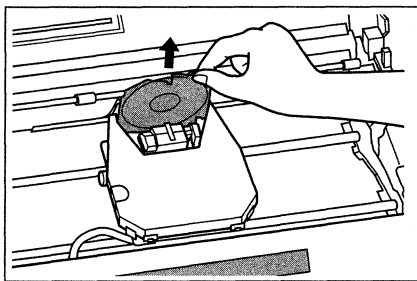
9. デイジーホイールカセット

EX-630にはブルーAM10のデイジーホイールカセットがすでに入っています。異なるタイプフェースのデイジーホイールカセットを交換するときでも、その操作はとても簡単です。



A 取りはずし方

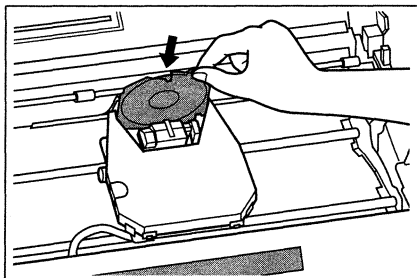
1. トップカバーを開け、モーターロックレバーを手前に引きます。



2. デイジーホイールカセットの右側のつまみを引き上げます。

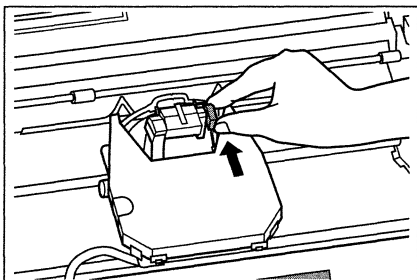
注) デイジーホイールカセットを取りはずすときは、カセットリボンを取りはずす必要はありません。

B 取り付け方



1. デイジーホイールカセットの右側のつまみを持ってカセットガイドに入れ、確実に押し込みます。

注) デイジーホイールカセットのつまみは必ず右側にくるようにセットしてください。



2. モーターロックレバーを、カチッと音がするまでプラテン側へ押します。

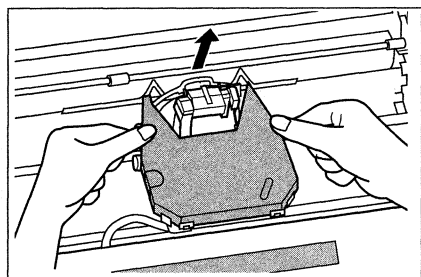
3. トップカバーを閉めます。キャリヤは左端まで移動し、もとの位置にもどります。

注) デイジーホイールカセットが正しくセットされていれば、デイジーホイールが回転します。

注) デイジーホイールカセットのロックが不十分ですと、正しく印字されませんので確実にセットしてください。

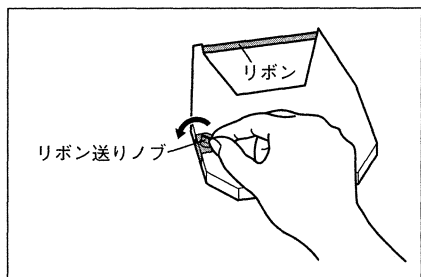
10. カセットリボン

A 取りはずし方

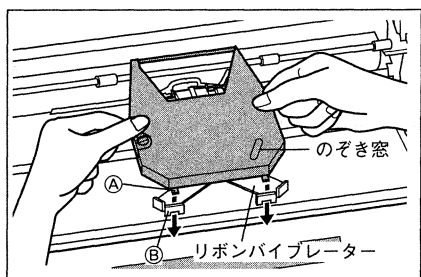


1. メインメニューより数字キー“1”を押して<TW>を選択し、タイプライターモードにします。<TW (タイプライター) モード> (8ページ) 参照
2. スペースバーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤを中央に移動させます。
3. トップカバーを開け、カセットを両手で持ちリボン側を先に持ち上げて取りはずします。

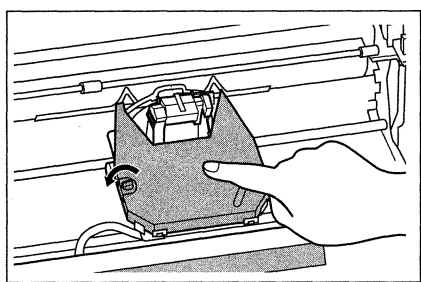
B 取り付け方



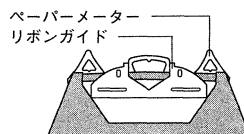
1. 新しいカセットリボンからストッパー (黄色) を取りはずし、カセット上のリボン送りノブを左方向に回し、リボンのたるみを取ります。



2. カセットリボン下端の両側の凸部 (A) を、リボンバイブレーターの穴部 (B) に入れてカセットリボンがリボンバイブレーターからはずれないようにします。



3. リボンをペーパーメーターとリボンガイドの間に通し、上からかるくカチッと音がするまで押さえます。リボン送りノブを左方向に回して、たるみを取ります。



4. トップカバーを閉めます。キャリヤは左端まで移動し、もとの位置にもどります。

注) 1. カセットリボンの上ののぞき窓があり、リボンの残量がわかります。

2. カセットリボンには次の4種類があります。

- ・ コレクタブルカーボンリボン (購入時に装着されています。黒の他に赤・青・緑・茶の4色があります。) リフトオフコレクションテープにより、きれいなコレクションができます。
- ・ マルチユースカーボンリボン
コレクタブルカーボンリボンの約2.5倍の文字数がタイプできます。
- ・ ワンタイムカーボンリボン
最も美しい印字ができ、カーボン用紙への密着性にも優れています。
- ・ ナイロンリボン
コレクタブルカーボンリボンの約8倍の文字数がタイプできます。

※ リフトオフコレクションテープは、コレクタブルカーボンリボン使用時以外は使用できません。

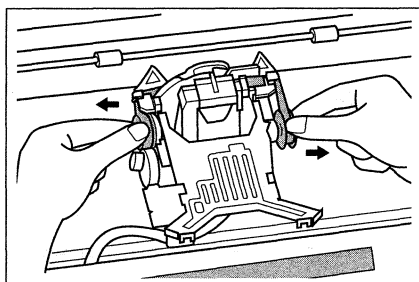
※ 長期間にわたりナイロンリボンをご使用になるときは、リフトオフコレクションテープを取りはずしてお使いください。

3. カセットリボンは当社の製品をお使いください。

11. コレクションテープ

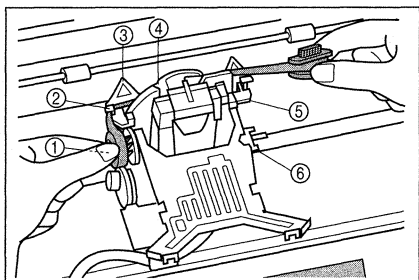
コレクションテープによりまちがえた文字をきれいに訂正することができます。従来のように修正用紙のかけらや、乾いた修正液のかたまりが本体に付着することがありません。

A 取りはずし方

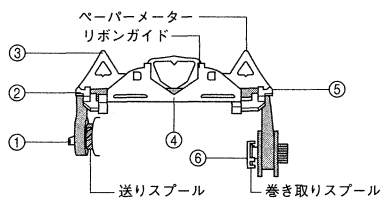


1. メインメニューより数字キー“1”を押して<TW>を選択し、タイプライターモードにします。<TW (タイプライター) モード> (8ページ) 参照
2. スペースバーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤを中央に移動させます。
3. トップカバーを開け、カセットリボンを取りはずします。<カセットリボン> (6ページ) 参照
4. コレクションテープの左右のスプールのキャリヤから引き抜きます。

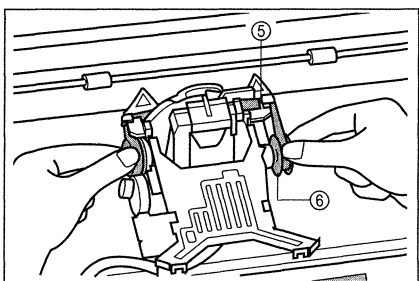
B 取り付け方



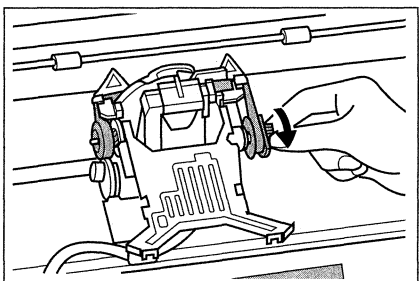
1. 送りスプールを左の軸①に取り付け、テープの粘着面をプラテンに向けて、テープを左のコレクションテープガイド②、ペーパーメーター③とリボンガイド④の間、右のコレクションテープガイド⑤の順に通します。



2. 巻き取りスプールを右の軸⑥に取り付けます。



3. スプールの手前に回して、白いテープが右のスプールにくるまで巻き取ります。



4. カセットリボンを取り付け、トップカバーを閉めます。キャリヤは左端まで移動し、もとの位置にもどります。

注) コレクションテープは次の2種類があります。

- ・ リフトオフコレクションテープ (購入時に装着されています。コレクタブルカーボンリボンと、ともにお使いください。)
- ・ カバーラップコレクションテープ (マルチユースカーボンリボン・ワンタイムカーボンリボンまたはナイロンリボンと、ともにお使いください。)

第2章 TW（タイプライター）モード・基礎編

本機はTW（タイプライター）モードとWP（ワープロ）モードの2種類のモードがあります。

■ TW（タイプライター）モード

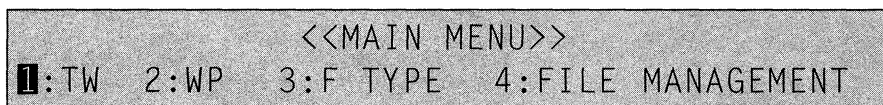
通常のタイピングを行うモードです。印字モードと表示モードの2つのモードがあります。

■ WP（ワープロ）モード<第4章 WP（ワープロ）モード>（56ページ）参照

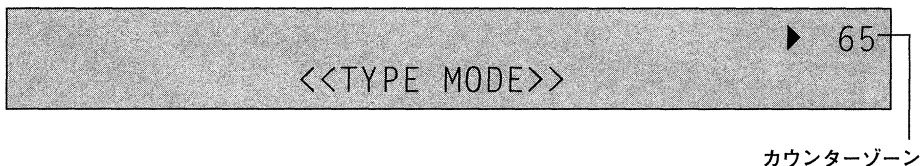
作成した文書（ファイル）をメモリーに登録するモードです。一度登録したファイルは、簡単に編集でき、何度でも打ち出すことができます。

1. TW（タイプライター）モード

● TW（タイプライター）モードの選択



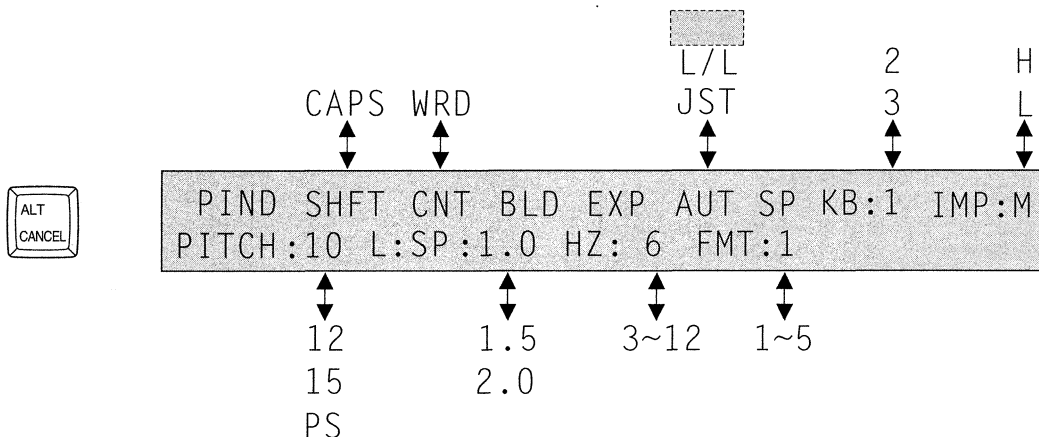
1. 電源スイッチを<ON>にするとディスプレイにはメインメニューが表示されます。



2. TW（タイプライター）モードを選択するには、数字キー“1”を押して<TW>を選択します。上記ディスプレイが表示されます。

2. TWディスプレイ表示

ディスプレイは2行（40桁2行）で表示し、ファンクションなどの設定状況により、各ポジションの表示が入れ替わります。各ファンクションの設定状況が知りたいときにはアルトキーを押します。アルトキーを押している間、ディスプレイに各ファンクションの設定状況が表示されます。



PITCH	10 12 15 PS	ピッチ	(16ページ) 参照	PIND	パラグラフィデント	(36ページ) 参照
L.SP	1.0 1.5 2.0	ラインスペース	(14ページ) 参照	SHFT	シフト	(21ページ) 参照
HZ	3 ~ 12	ホットゾーン	(19ページ) 参照	CAPS	キャプス	(21ページ) 参照
FMT	1 ~ 5	ラインフォーマット	(45ページ) 参照	CNT	オートアンダーラインコンティニュー	
KB	1 2 3	キーボード	(15ページ) 参照	WRD	オートアンダーラインワード	(29ページ) 参照
IMP	L	インパクト 弱		BLD	ボールド	(28ページ) 参照
	M	インパクト 中		EXP	エクスパンド	(28ページ) 参照
	H	インパクト 強	(14ページ) 参照	(無表示)	NORMALモード	(10ページ) 参照
				AUT	AUTOモード	(10ページ) 参照
				L/L	L/Lモード	(11ページ) 参照
				JST	JUSTモード	(11ページ) 参照
				SP	ワードスペルチェック	(117ページ) 参照

A 分数表示

例 $\frac{1}{2}$ → 交互表示

B 重ね文字表示

例 0 → 交互表示

C デッド文字表示

例 0 → 交互表示

D ボールド表示

例 ABC → 交互表示

E エクスパンド表示

例 A B C → 交互表示

F アンダーライン表示

例 ABC → 交互表示

G スーパースクリプト・サブスクリプト表示

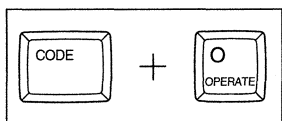
例 2^3 → 交互表示 H_2 → 交互表示

H キーボード3 (シンボル) で入力された文字表示

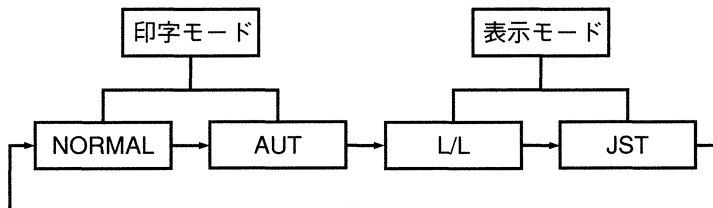
例 $\alpha \beta$ → (ハーフトーン表示)

3. オペレートキー<OPERATE>

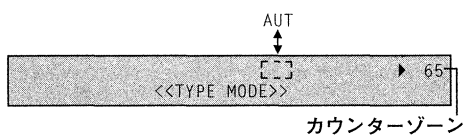
オペレートとは、文章をタイプするときの操作モードです。4種類（NORMAL, AUT, L/L, JST）が設定できます。



コードキーを押したままオペレートキーを押して、印字モード（NORMAL, AUT）と表示モード（L/L, JST）を切り替えます。ディスプレイは次の順で切り替わります。



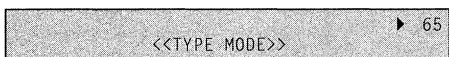
A 印字モード



このモードはコードキーを押したままオペレートキーを押して< >（無表示）か<AUT>を選択したときのモードです。タイプした文字を直接印字し、ディスプレイには表示しません。カウンタゾーンには1行あたりの印字可能文字数を表示し、タイプすることにカウントダウンします。

- 注) 1. 改行する前であれば、オートコレクションすることができます。
2. デシマルタブ・ライトマージンフラッシュ・センタリングは表示モードになります。

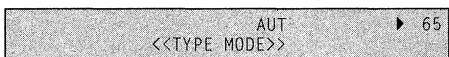
(1) NORMAL(ノーマル)モード



通常のタイプで、1文字ごとに印字されます。改行するときはリターンキーを押します。

注) NORMALモードのモード表示はされません。

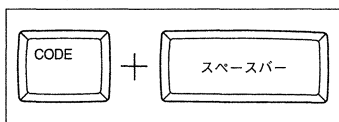
(2) AUT(オートキャリヤリターン)モード



タイプ中に次の行へ移動するときは、通常リターンキーを使用しますが、オートキャリヤリターンモードにしておくと自動的に改行します。ホットゾーンに入るまで文章をタイプして、ホットゾーン内でスペースバーを押すと、自動改行して、キャリヤは左マージンへ移動します。

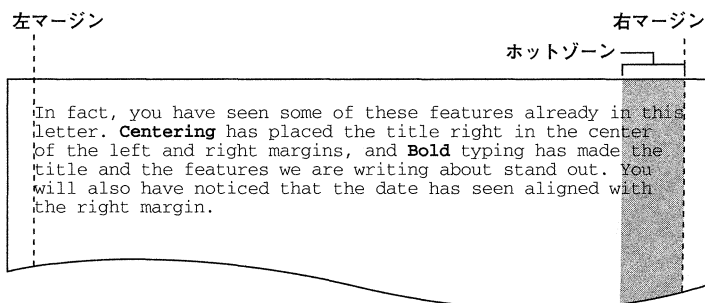
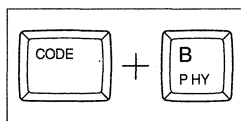
● パーマネントスペースバー

自動改行をせず、ホットゾーン内でスペースをタイプしたいときは、コードキーを押したままスペースバーを押します。

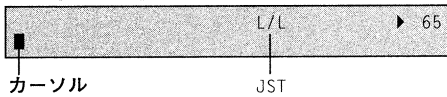


● パーマネントハイフンキー

自動改行をせず、ホットゾーン内でハイフンをタイプしたいときは、コードキーを押したままパーマネントハイフンキーを押します。



B 表示モード



このモードはコードキーを押したままオペレートキーを押して<L/L>か<JST>を選択したときのモードです。タイプした文字を直接印せず、まずディスプレイに表示します。タイプするごとにディスプレイのカーソル上に文字を表示し、それとともにキャリヤは右に移動します。

- 注) 1. 印字する前であれば、ディスプレイ上で修正することができます。
2. ディスプレイ右端より5文字手前でタイプすると、表示全体を5文字分左に移動（スクロール）して表示します。
3. ディスプレイに文字を表示しているときに、ファイルキーを押すと、その文字を印字してからメインメニューに切り替わります。

(3) L/L(ラインバイライン)モード

タイプされた文章はディスプレイに表示され、1字ごとに印字されます。また表示中であればディスプレイ上で修正できます。



タイプした文字はいったんディスプレイに表示され、リターンキーまたはタブキーを押して印字します。またホットゾーン内でスペースバーまたは、ハイフンキーのあとの文字キーを押すと、印字後オートキャリヤリターンして左マージンにもどります。

(4) JST(ジャスティフィケーション)モード

タイプされた文章はディスプレイに表示され、右マージンで行末をそろえて1行ごとに印字されます。



タイプされた文字はいったんディスプレイに表示され、ホットゾーン内でスペースバーまたは、ハイフンキーを押すと、自動的に行末をそろえて印字後、オートキャリヤリターンして左マージンにもどります。

注) リターンキーを押したときは、行末そろえは行いません。

左マージン

右マージン

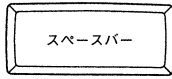
I want to tell you how much I am enjoying using this dynamic retail merchandising techniques book in my classes. This is precisely the book I have been searching for, and the result I am obtaining in my classes is evidence that the students like it too. They especially like the cases that introduce each chapter and the continuing retailing project that applies the same way the principles

- 注) 1. ディスプレイ上で訂正するときは、コレクションキーまたはバックスペースキーを押します。
2. 文章をタイプ中、単語の最後の文字をタイプしたあと右マージンに到達したときは、そのあとのスペースバーでオートキャリヤリターンします。
3. 文章をタイプ中、単語の途中で右マージンに到達したときは、バックスペースキーまたはコレクションキーを押してからハイフンキーを押します。

4. キャリヤ移動キーとカーソル移動キー

TWモード中のキャリヤ移動キーとカーソル移動キーは、下記のキーが有効となります。

A 印字モードの場合

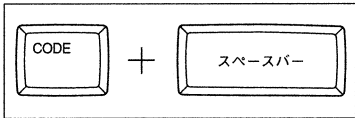


スペースバー



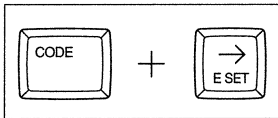
カーソル
ライトキー

キャリヤが右方向に移動します。
注) 押し続けると連続して移動します。



パーマネント
スペースバー

キャリヤが右方向に移動します。
ホットゾーン内でスペースを入れたいときに使用します。



マイクロ
スペースキー

キャリヤが1/120インチ右に移動します。

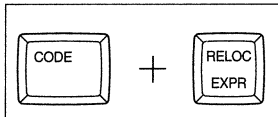


バック
スペースキー



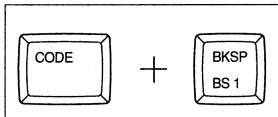
カーソル
レフトキー

キャリヤが左方向に移動します。
注) 押し続けると連続して移動します。



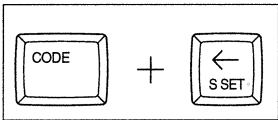
エクスプレス
バックスペースキー

キャリヤが左マージンに移動します。
注) 改行動作はしません。

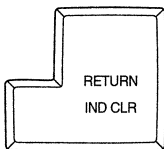


バックスペース1
キー

キャリヤが1/120インチ左に移動します。



マイクロバック
スペースキー

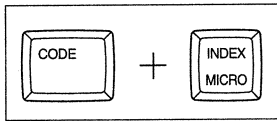


リターンキー

改行し、キャリヤが左マージンに移動します。



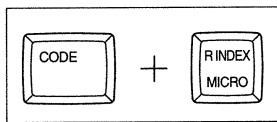
インデックスキー 1/12インチ用紙を送ります。
 ラインスペースと押す回数は、<リバースインデックス
 キー>を参照してください。
 注) 押し続けると、連続して用紙を送ります。



マイクロ
インデックスキー 1/48インチ用紙を送ります。



リバース
インデックスキー 1/12インチ用紙をもどします。
 ・ ラインスペースが<1.0>のとき、2回押すもとの
 行にもどります。
 ・ ラインスペースが<1.5>のとき、3回押すもとの
 行にもどります。
 ・ ラインスペースが<2.0>のとき、4回押すもとの
 行にもどります。
 注) 押し続けると、連続して用紙をもどします。



マイクロリバース
インデックスキー 1/48インチ用紙をもどします。

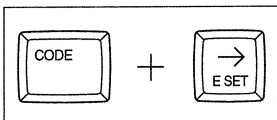


リロケートキー キャリヤがコレクション後もとの位置に移動します。

B 表示モードの場合



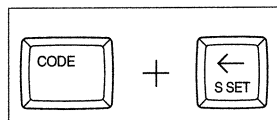
カーソル
ライトキー カーソルが右方向に移動します。



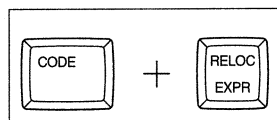
エンドオブラインキー カーソルがその行末に移動します。



カーソル
レフトキー カーソルが左方向に移動します。



トップオブラインキー カーソルがその行頭に移動します。



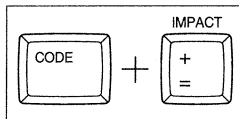
エクスプレス
バックスペースキー トップオブラインキーと同じはたらきをします。



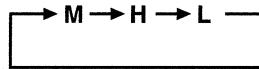
リロケートキー エンドオブラインキーと同じはたらきをします。

5. インパクトセレクトキー <IMPACT>

使用する用紙の質・厚さ、またはカーボンコピー数によって、印字圧が調整できます。



コードキーを押したままインパクトセレクトキーを押して、インパクトを切り替えます。ディスプレイの<IMP>は次の順で切り替わります。



<L>.....弱い印字圧

<M>.....中ぐらいの印字圧

<H>.....強い印字圧

を意味します。例えば、薄い用紙には<L>、カーボンコピーを作成するときは<H>に設定します。

- 注) 1. 初期設定は<M>に設定されています。
 2. オリジナルの文書に加えて、約4枚のカーボンコピーを印字することができます。
 3. コピーコントロールレバーを併用すると、より美しく印字ができます。<コピーコントロールレバー> (3ページ) 参照
 4. アルトキーを押したままインパクトセレクトキーを押して、インパクトセレクトを切り替えることもできます。
 5. アルトキーを押すと、現在のインパクトの状態を確認することができます。

6. ラインスペースセレクトキー <LINE>

ラインスペースとは、リターンキーを押したときの行送り量のことです。3種類 (1行、1行半、2行) の行送りが選択できます。

<1.0>

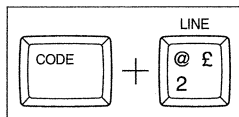
<1.5>

<2.0>

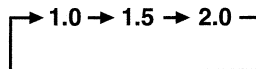
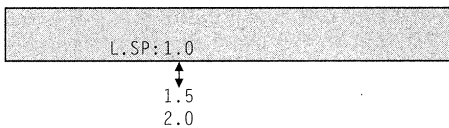
Three
Choices of
Line Spacing

Three
Choices of
Line Spacing

Three
Choices of
Line Spacing



コードキーを押したままラインスペースセレクトキーを押して、ラインスペースを切り替えます。ディスプレイの<L.SP>は次の順で切り替わります。

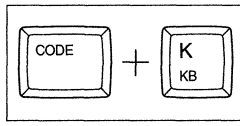


ラインスペース	送り量
1.0	1行 (1/6インチ)
1.5	1行半 (1/4インチ)
2.0	2行 (1/3インチ)

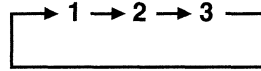
- 注) 1. 初期設定は<1.0>に設定されています。
 2. ラインスペースは、タイプ中でも変えることができます。

7. キーボードセレクトキー <KEYBOARD>

作成したい文書によって3種類のキーボードを選択します。キーボードの選択に合わせてデジホイールカセットのタイプフェースを選びます。

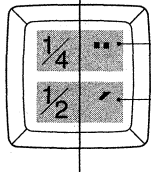


コードキーを押したままキーボードセレクトキーを押して、キーボードを切り替えます。ディスプレイの<KB>は次の順で切り替わります。



- <1>・・・通常は、<1>に設定します。（初期設定は<1>に設定されていません。）
- <2>・・・キーの右側の文字をタイプしたいときは、インターナショナルのデジホイールカセット（別売り）に替え、<2>に設定します。
- <3>・・・特別な記号や数式などをタイプしたいときは、シンボルのデジホイールカセット（別売り）に替え、<3>に設定します。

キーボード<1> | キーボード<2>



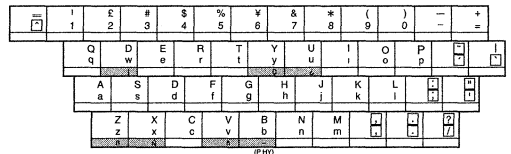
シフトキーを押したままタイプすると印字できます。
普通にタイプすると印字できます。（ノンシフト）

例	[@ £]		[[]]		[Y]	
キーボードの設定位置	I	II	I	II	I	II
シフト	@	£	[]	Y	Y
ノンシフト	2	2]	,	y	y
コードキー併用（シフト無関係）					¶	ç

- 注) 1. アルトキーを押したままキーボードセレクトキーを押して、キーボードを切り替えることもできます。
2. アルトキーを押すと、現在のキーボードの状態を確認することができます。

● インターナショナルキーボード

キーボードセレクトキーで<2>に設定すると、キー上の右側の文字をタイプします。ただし、インターナショナルのデジホイールカセット（別売り）が必要です。

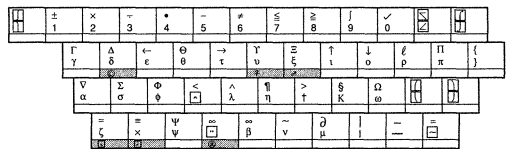


□ -- デッドキー
▨ -- コードキー併用

● シンボルキーボード

キーボードセレクトキーで<3>に設定し、シンボルのデジホイールカセット（別売り）を使うとキーボードは右図のようになります。

注) シンボルのデジホイールカセットに付いている、キーシールを貼ってください。

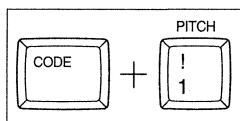


□ -- デッドキー
▨ -- コードキー併用

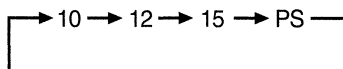
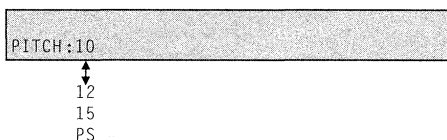
8. ピッチセレクトキー<PITCH>

ピッチとは1インチ（約2.5cm）内に印字できる文字数のことです。4種類（10, 12, 15, PS）のピッチが選択できます。

10 Pitch gives you a maximum number of 120 characters per line.
 12 Pitch gives you a maximum number of 144 characters per line.
 15 Pitch gives you a maximum number of 180 characters per line.
 PS Pitch gives you a maximum number of 238 characters per line.



コードキーを押したままピッチセレクトキーを押して、タイプピッチを切り替えます。ディスプレイの<PITCH>は次の順で切り替わります。



ピッチ	1インチ内の 印字文字数	1行内の 最大印字文字数
10 (パイカ)	10文字	120文字
12 (エリート)	12文字	144文字
15 (ミクロン)	15文字	180文字
PS (※)	最大20文字	238文字

※ PROPORTIONAL SPACING . . . 文字ごとに設定されたピッチで印字しますので、より一層きれいな印字ができます。

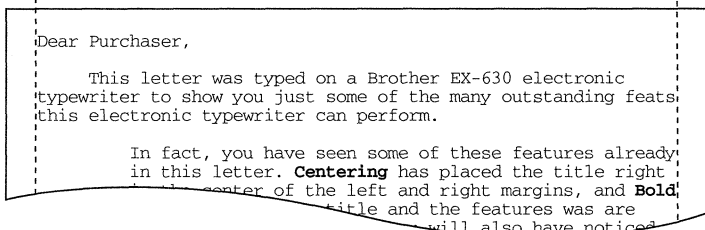
- 注) 1. 初期設定は<10>に設定されています。
 2. 印字モードの場合、タイプ中の行でもピッチを変えることができます。

9. マージン

用紙に印字する左右幅をマージンといい、左端を左マージン、右端を右マージンと呼びます。

左マージン

右マージン



<初期設定>

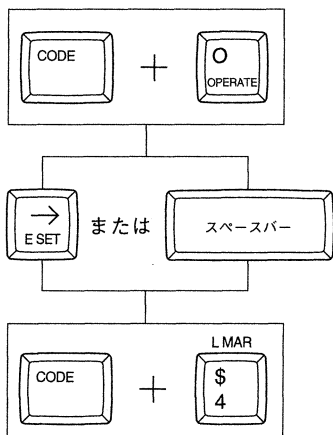
	左マージン	右マージン
10ピッチ	10	75
12ピッチ	12	90
15ピッチ	15	112
PSピッチ	12	90

A 左マージンの設定 <LMAR>

印字モードで設定します。

● 現在の左マージンより右に設定する場合

1. コードキーを押したままオペレートキーを押して、印字モードにします。<オペレートキー> (10ページ) 参照



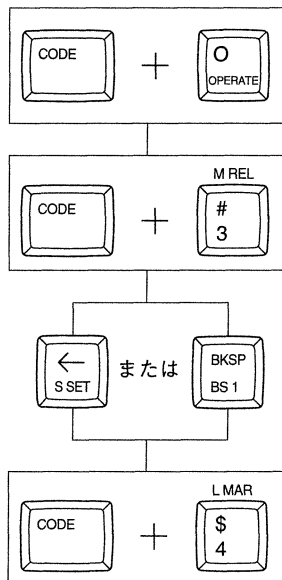
2. カーソルライトキーまたはスペースバーを押して、左マージンを設定したい位置までキャリヤを移動させます。

注) キャリヤが右へ行き過ぎたときは、カーソルレフトキーまたはバックスペースキーでもどしてください。

3. コードキーを押したまま、レフトマージンキーを押すと、左マージンが設定されます。

● 現在の左マージンより左に設定する場合

1. コードキーを押したままオペレートキーを押して、印字モードにします。<オペレートキー> (10ページ) 参照



2. キャリヤを左マージンに移動させ、コードキーを押したままマージンリリースキーを押して、左マージンを一時的に解除します。

3. カーソルレフトキーまたはバックスペースキーを押して、左マージンを設定したい位置にキャリヤを移動させます。

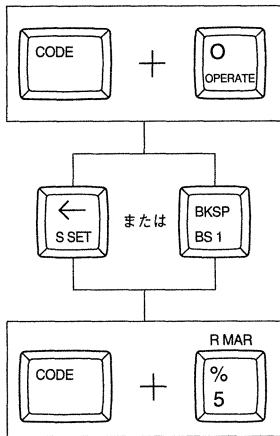
注) キャリヤが左へ行き過ぎたときは、カーソルライトキーまたはスペースバーでもどしてください。

4. コードキーを押したままレフトマージンキーを押すと、左マージンが設定されます。

B 右マージンの設定 <R MAR>

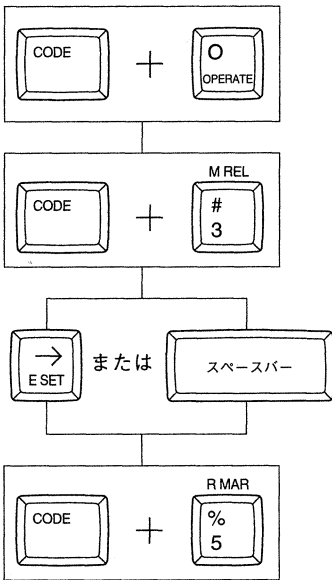
NORMALモードで設定します。

● 現在の右マージンより左に設定する場合



1. コードキーを押したままオペレートキーを押してNORMALモードにします。<オペレートキー> (10ページ) 参照
2. カーソルレフトキーまたはバックスペースキーを押して、右マージンを設定したい位置までキャリヤを移動させます。
3. コードキーを押したまま、ライトマージンキーを押すと、右マージンが設定されます。

● 現在の右マージンより右に設定する場合



1. コードキーを押したままオペレートキーを押して、NORMALモードにします。<オペレートキー> (10ページ) 参照
2. キャリヤを右マージンに移動させ、コードキーを押したまま、マージンリリースキーを押して、右マージンを一時的に解除します。
3. カーソルライトキーまたはスペースバーを押して、右マージンを設定したい位置までキャリヤを移動させます。
注) キャリヤが右へ行き過ぎたときは、カーソルレフトキーまたはバックスペースキーでもどしてください。
4. コードキーを押したままライトマージンキーを押すと、右マージンが設定されます。

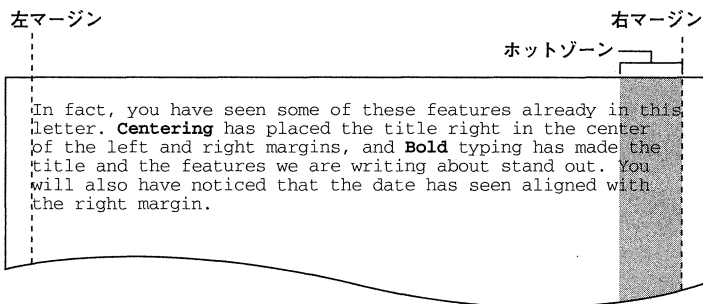
- 注) 1. 左右のマージンは、どこにでも設定できます。しかし、2インチ以内の間隔でマージンを設定しようとすると、電子音が鳴り設定できません。
2インチの間隔とは 10ピッチ (バイカ) のときは20文字 (エクスパンドモード中は10文字)
12ピッチ (エリート) のときは24文字 (エクスパンドモード中は12文字)
15ピッチ (ミクロン) のときは30文字 (エクスパンドモード中は15文字) です。
2. マージンを超えてタイプしたいときは、コードキーを押したままマージンリリースキーを押してください。

C マージンの解除

新たにマージンを設定すると、前に設定したものは解除されます。

10. ホットゾーン

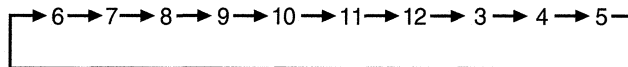
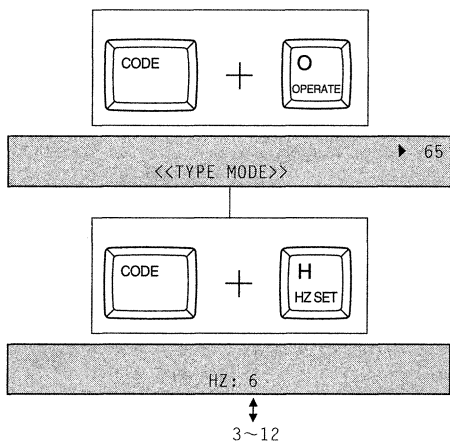
右マージンから手前6文字分をホットゾーンと呼び、キャリヤがホットゾーンに入ったとき電子音が鳴り、右マージンに近づいていることを知らせます。



● ホットゾーンセットキー <HZ SET>

ホットゾーンは右マージンから手前3~12文字の間で設定を変えることができます。

1. コードキーを押したままオペレートキーを押して印字モードにします。<オペレートキー> (10ページ) 参照
2. コードキーを押したままホットゾーンセットキーを押して、ホットゾーン設定を切り替えます。ディスプレイの<HZ>は次の順で切り替わります。



- 注) 1. 印字モードの場合のみホットゾーンの変更ができます。
2. アルトキーを押しながらホットゾーンセットキーを押して、ホットゾーンの変更をすることもできます。
3. アルトキーを押すと、現在のホットゾーンの設定を確認することができます。

11. バックスペース

4種類のバックスペースキーがあります。



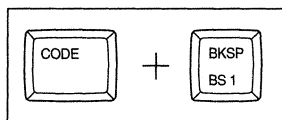
A バックスペースキー <BKSP>

印字モード中は、バックスペースキーを押します。キャリヤが1文字分左に移動します。また、押し続けるとキャリヤは連続して左に移動します。

表示モード中は、カーソル直前の文字を削除し、カーソルが1文字分左に移動します。また、連続して押し続けるとカーソルは連続して削除しながら左に移動します。

注) 印字モード中、カーソルレフトキーを押すとバックスペースキーと同様にキャリヤが1文字分左に移動します。

B バックスペース1キー<BS1>



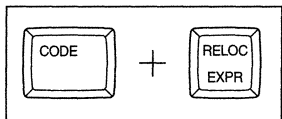
コードキーを押したまま、バックスペース1キーを1回押します。キャリヤが1/120インチ分左に移動します。

文字間隔が一定でない文章（JSTモードのとき）やセンタリングにより自動的に半文字分ずらしてタイプされた文章をマニュアルコレクションするときに使用します。その他ローマ数字（Ⅱ、Ⅲ）等重ね文字を印字するときにも使用します。<重ね文字>（24ページ）参照

注) 1. バックスペース1キーは印字モード中のみ使用できます。

2. コードキーを押したままカーソルレフトキーを押すと、バックスペース1キーと同様にキャリヤが1/120インチ分左に移動します。

C エクスプレスバックスペースキー<EXPR>

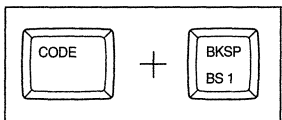


コードキーを押したまま、エクスプレスバックスペースキーを押します。

印字モード中は、改行せずキャリヤが左マージンにすばやく移動します。

表示モード中は、カーソルが行頭に移動します。

D パーマネントバックスペースキー

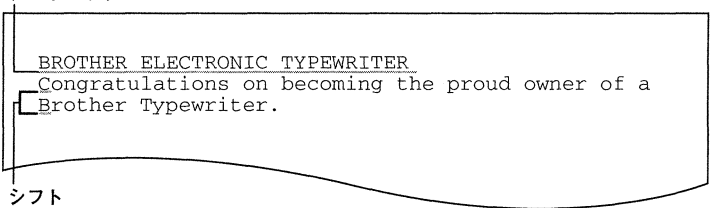


コードキーを押したままバックスペースキーを押します。表示モードでの重ね文字に使用します。<重ね文字>（25ページ）参照

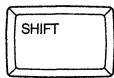
12. シフト・シフトロックキー

シフトキーを押したままタイプするとアルファベットの
大文字やキー上段の記号をタイプし、シフトロック
キーを使用するとシフトロックを解除するまで大文字
でタイプし続けることができます。

シフトロック



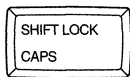
A シフトキー<SHIFT>



アルファベットの大文字やキー上段の記号を一時的にタイプしたいときは、シフト
キーを押したままタイプします。

シフトキーは左右にあり、押している間はディスプレイに<SHFT>を表示します。

B シフトロックキー<SHIFT LOCK>

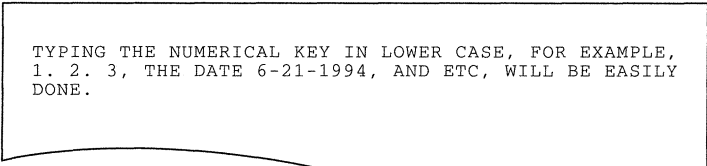


アルファベットの大文字やキー上段の記号を続けてタイプしたいときは、シフトロ
ックキーを押します。シフトロックキーを押すと、ディスプレイに<SHFT>を表示
します。

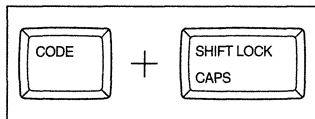
シフトロックキーを解除するには、もう一度シフトキーを押します。ディスプレ
イの<SHFT>が消えます。

13. キャプスキー <CAPS>

キャプスキーを使用すると、数字とアルファベットの
大文字が同時にタイプできます。



TYPING THE NUMERICAL KEY IN LOWER CASE, FOR EXAMPLE,
1. 2. 3, THE DATE 6-21-1994, AND ETC, WILL BE EASILY
DONE.



コードキーを押したままキャプスキーを押します。ディスプレイに<CAPS>を表示
します。

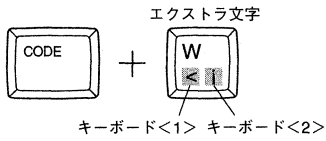
キャプスを解除するには、もう一度コードキーを押したままキャプスキーを押しま
す。ディスプレイの<CAPS>が消えます。

キー上段の記号は、シフトキーを押したままタイプします。

注) シフトロック状態では、キャプスキーがはたらきません。シフトロックを解除してください。

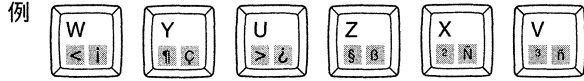
14. エクストラ文字キー

文字キーのエクストラ文字（緑色の文字）をタイプします。



コードキーを押したままエクストラ文字キーを押します。

エクストラ文字キー



注) キーの右側の緑色の文字をタイプしたいときは、インターナショナルのデジザールホイルカセット（別売り）に交換し、キーボードセクターを<2>に切り替えてからタイプしてください。<キーボードセレクトキー>（15ページ）参照

15. インデックスキー<INDEX>・ リバースインデックスキー<R INDEX>

キャリヤの位置に関係なく用紙を送ったり、もどしたりすることができます。



インデックスキーを押すと、半行（1/12インチ）用紙が送られます。

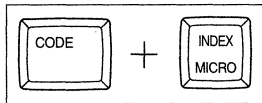


リバースインデックスキーを押すと、半行（1/12インチ）用紙がもどされます。

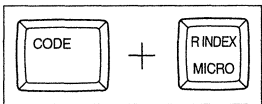
注) 1. 用紙の挿入、排出に使用すると便利です。
2. 表示モードでも同じ動作をします。

16. マイクロインデックスキー<MICRO>・ マイクロリバースインデックスキー<MICRO>

微調整を行うときに使用します。罫線が入った用紙にタイプしたいときなどに便利です。



コードキーを押したままマイクロインデックスキーを押すと、1/48インチ用紙が送られます。



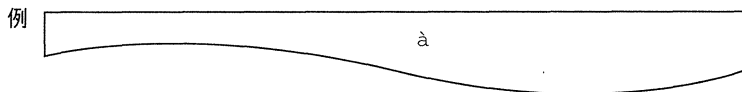
コードキーを押したままマイクロリバースインデックスキーを押すと、1/48インチ用紙がもどされます。

注) 印字位置の微調整に使用すると便利です。

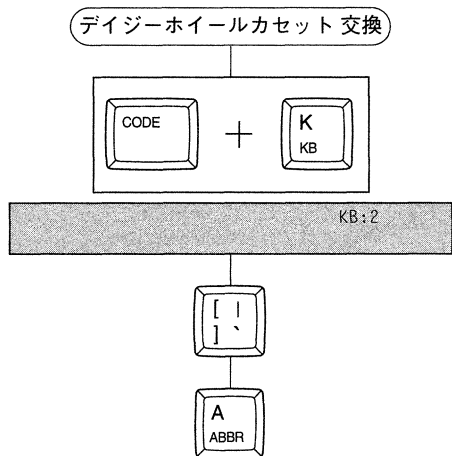
17. デッドキー


デッドキーは特殊な文字や記号をタイプしたいときに使用します。

下記のようなデッド文字をタイプしたいときは、次の順序で操作します。

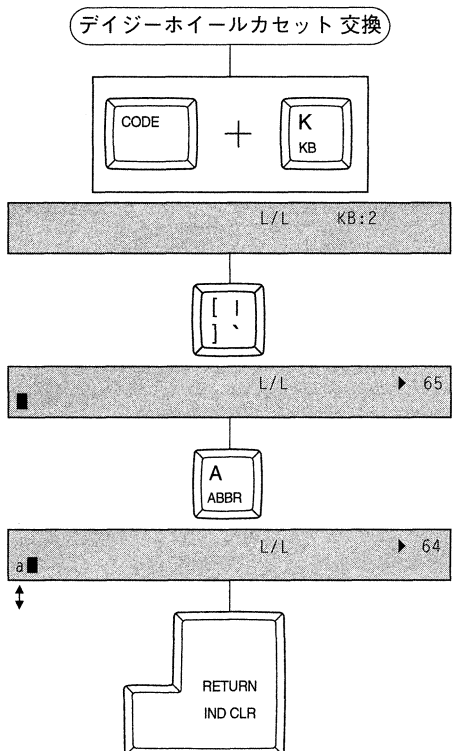



A 印字モードの場合



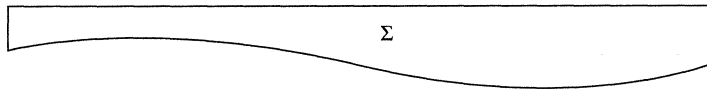
1. インターナショナルのデジホイールカセット（別売り）をセットします。
2. コードキーを押したままキーボードセレクトキーを押して、キーボードを<2>に切り替えます。
3. デッドキー（）を押します。
4. 文字キー“A”を押します。“à”がタイプされ、キャリヤが移動します。

B 表示モードの場合

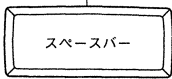
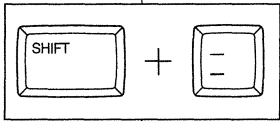
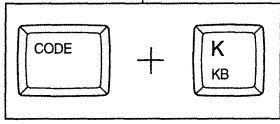





1. インターナショナルのデジホイールカセット（別売り）をセットします。
2. コードキーを押したままキーボードセレクトキーを押して、キーボードを<2>に切り替えます。
3. デッドキー（）を押します。ディスプレイ上にはなにも表示されません。
4. 文字キー“A”を押します。ディスプレイに“`”と“a”が交互に表示されます。<デッド文字表示>（9ページ）参照
5. リターンキーを押します。“à”がタイプされます。

例



ダイジールカセット 交換

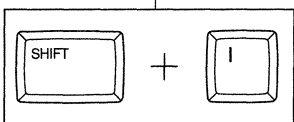
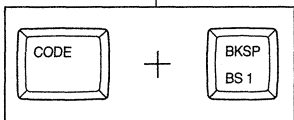
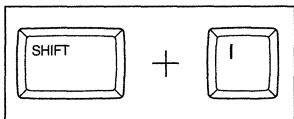
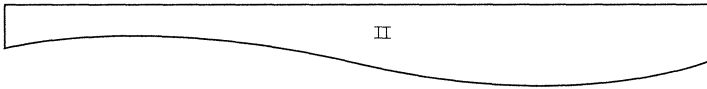


1. シンボルのダイジールカセット（別売り）をセットします。
2. コードキーを押したままキーボードセレクトキーを押して、キーボードを<3>に切り替えます。
3. デッドキー（）を押します。
4. デッドキー（ + ）を押します。
5. スペースバーを押します。“Σ”がタイプされ、キャリヤが移動します。

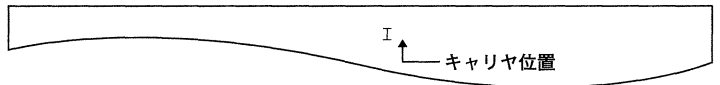
18. 重ね文字

バックスペースを活用して、文字を重ねてタイプすることができます。

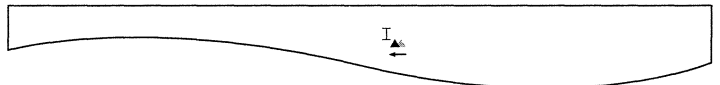
例



1. シフトキーを押したまま文字キー“I”を押します。

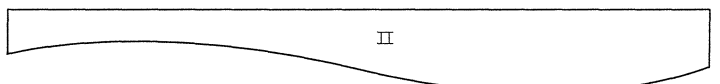


2. コードキーを押したままバックスペース1キーを続けて数回押します。



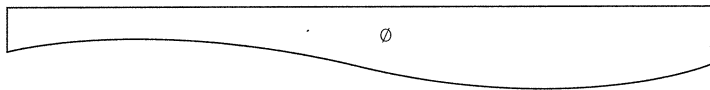
注) コードキーを押したままバックスペースキーを1回押すと、キャリヤが1/120インチ左に移動します。<バックスペース1キー> (20ページ) 参照

3. シフトキーを押したまま文字キー“I”を押します。



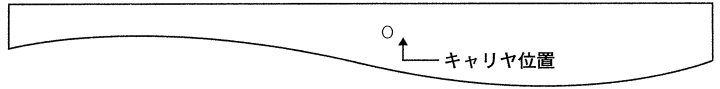
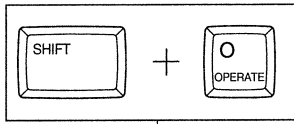
注) 表示モードでは、使用できません。

例

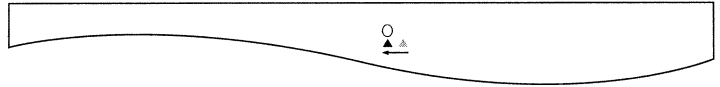


A 印字モードの場合

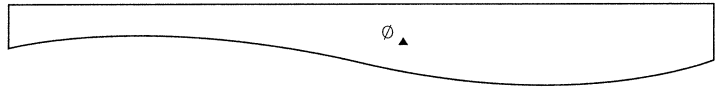
1. シフトキーを押したまま文字キー“O”を押します。



2. バックスペースキーを押して、キャリヤを1文字分左に移動させます。



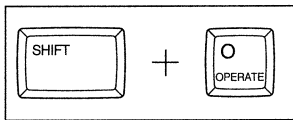
3. 記号キー“/”を押します。



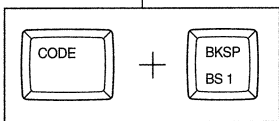
注) 後からタイプした文字はオートコレクションで削除できますが、先にタイプした文字はマニュアルコレクションで削除してください。<マニュアルコレクション> (38ページ) 参照

B 表示モードの場合

1. シフトキーを押したまま文字キー“O”を押します。



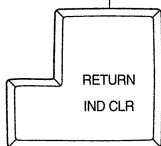
2. コードキーを押したままバックスペースキーを押して、カーソルを1文字分左に移動させます。



3. 記号キー“/”を押します。ディスプレイ上は“O”と“/”が交互に点滅します。<重ね文字表示> (9ページ) 参照

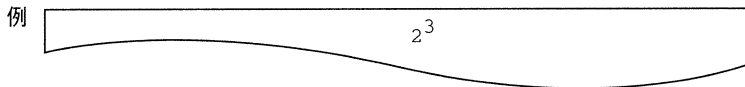


4. リターンキーを押して印字します。



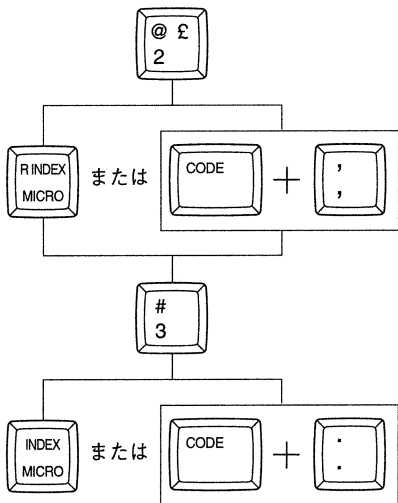
19. スーパースクリプト（上つき文字） <R INDEX>

現在タイプしている行よりも、半行分上にタイプしたいときに使用します。指数などのタイプに便利です。



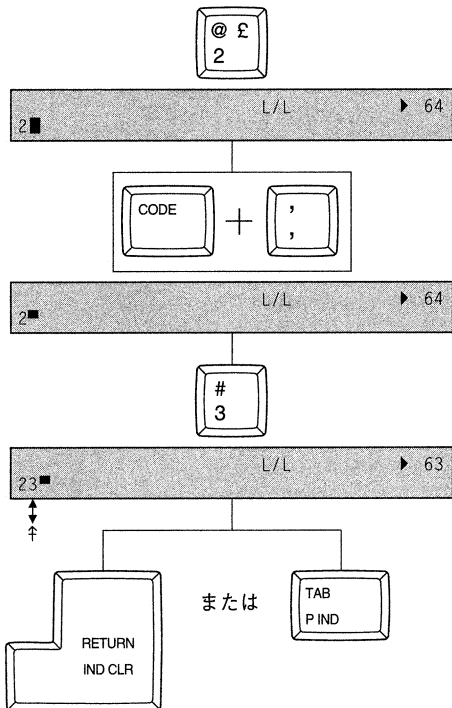
A 印字モードの場合

1. 数字キー“2”を押します。
 2. リバースインデックスキー、またはコードキーを押したままコンマキーを押します。用紙を半行分（1/12インチ）もどします。
 3. 数字キー“3”を押します。
 4. インデックスキー、またはコードキーを押したままピリオドキーを押して、用紙をもとの位置にもどします。
- 注) 印字モードの場合、リバースインデックスキーを押すごとに半行(1/12インチ)ずつ用紙を送ります。



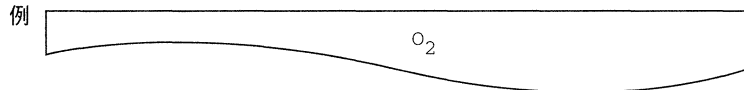
B 表示モードの場合

1. 数字キー“2”を押します。
2. コードキーを押したままコンマキーを押します。カーソルの形が上半分になります。
3. 数字キー“3”を押します。ディスプレイ上は“3”とスーパースクリプトコード <#>が交互に表示されます。<スーパースクリプト表示>（9ページ）参照
4. リターンキーまたはタブキーを押すとタイプされます。スーパースクリプトを解除したいときは、コードキーを押したままピリオドキーを押します。

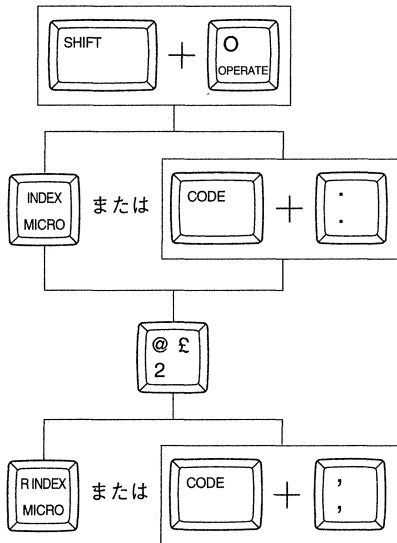


20. サブスクリプト（下つき文字） <INDEX>

現在タイプしている行よりも、半行分下にタイプしたいときに使用します。化学記号などのタイプに便利です。

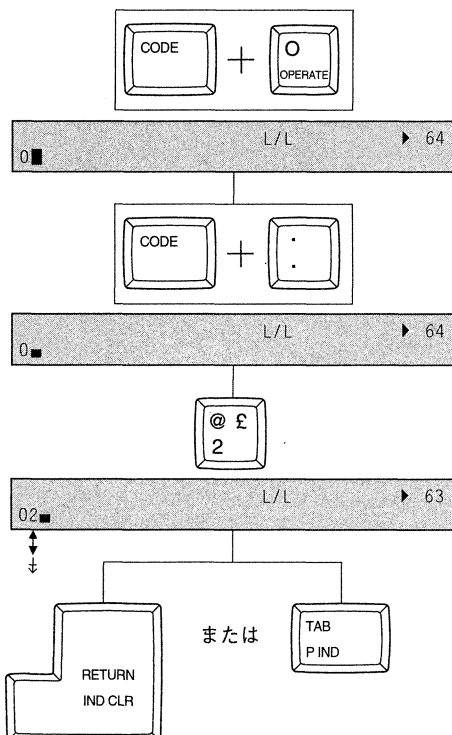


A 印字モードの場合



1. シフトキーを押したまま文字キー“O”を押します。
 2. インデックスキー、またはコードキーを押したままピリオドキーを押します。用紙を半行分（1/12インチ）送ります。
 3. 数字キー“2”を押します。
 4. リバースインデックスキー、またはコードキーを押したままコンマキーを押して、用紙をもとの位置にもどします。
- 注) 印字モードの場合、インデックスキーを押すごとに半行ずつ用紙を送ります。

B 表示モードの場合

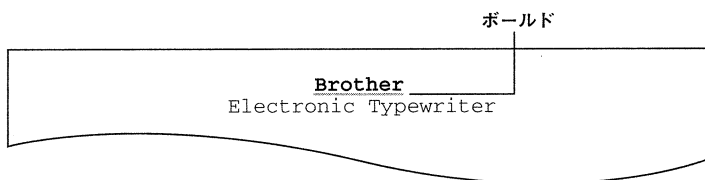


1. シフトキーを押したまま文字キー“O”を押します。
2. コードキーを押したままピリオドキーを押します。カーソルの形が下半分になります。
3. 数字キー“2”を押します。ディスプレイ上は“2”とサブスクリプトコード<↓>が交互に表示されます。<サブスクリプト表示>（9ページ）参照
4. リターンキーまたはタブキーを押すとタイプされます。サブスクリプトを解除したい場合は、コードキーを押したままコンマキーを押します。

第3章 TW (タイプライター) モード・応用編

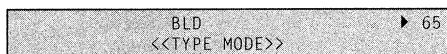
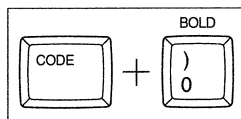
1. ボールドキー <BOLD>

太文字をタイプしたいときに使用します。文字中の単語を強調したいときなどに便利です。



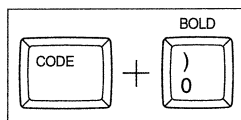
A ボールドの設定

コードキーを押したままボールドキーを押します。ディスプレイに<BLD>を表示します。



B ボールドの解除

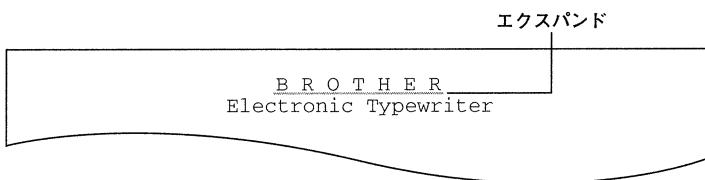
ボールドを解除するには、もう一度コードキーを押したままボールドキーを押します。ディスプレイの<BLD>が消えます。



- 注) 1. センタリング、ライトマージンフラッシュ、デシマルタブ、オートアンダーラインまたはエクスパンドを行うときでも、ボールドキーを同時に使うことができます。
2. アルトキーを押したままボールドキーを押して、ボールドを設定することもできます。
3. 表示モードでのディスプレイ表示は<ボールド表示> (9ページ) を参照してください。

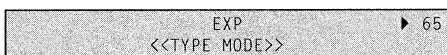
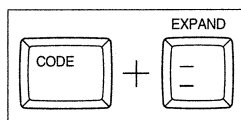
2. エクスパンドキー <EXPAND>

文字と文字の間を1文字分あけてタイプでき、タイトルなどのタイプに便利です。

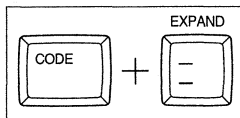


A エクスパンドの設定

コードキーを押したままエクスパンドキーを押します。ディスプレイに<EXP>を表示します。



B エクスパンドの解除

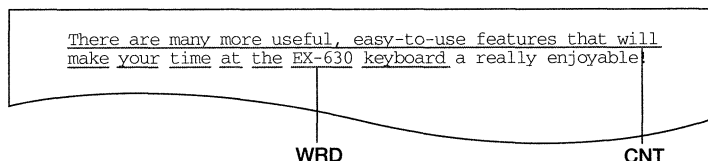


エクスパンドを解除するには、もう一度コードキーを押したままエクスパンドキーを押します。ディスプレイの<EXP>が消えます。

- 注) 1. センタリング、ライトマージンフラッシュ、デシマルタブ、オートアンダーラインまたはボールドを行うときでも、エクスパンドキーを同時に使うことができます。
2. アルトキーを押したままエクスパンドキーを押して、エクスパンドを設定することもできます。
3. 表示モードのディスプレイ表示は<エクスパンド表示> (9ページ) を参照してください。

3. オートアンダーラインキー <UNDLNL>

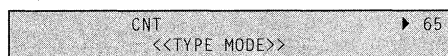
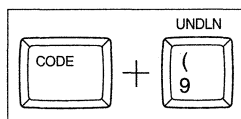
単語または文章全体にアンダーラインを引きたいときに使用します。



A オートアンダーラインの設定

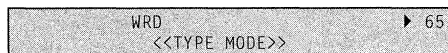
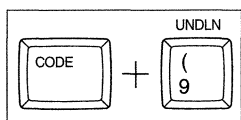
● 文章全体 (CNT) にアンダーラインを引く場合

コードキーを押したままオートアンダーラインキーを1回押します。ディスプレイに<CNT>を表示します。タイプする文字やスペースに自動的にアンダーラインが引けます。



● 単語 (WRD) にアンダーラインを引く場合

コードキーを押したままオートアンダーラインキーを2回押すと、ディスプレイは<WRD>に変わります。単語だけにアンダーラインが引けます。



B オートアンダーラインの解除

オートアンダーラインを解除するには、<CNT>を表示しているときは、コードキーを押したままオートアンダーラインキーを2回押します。<WRD>を表示しているときは、コードキーを押したままオートアンダーラインキーを1回押します。ディスプレイの<CNT><WRD>が消えます。

- 注) 1. センタリング、ライトマージンフラッシュ、デシマルタブ、ボールドまたはエクスパンドを行うときでも、オートアンダーラインキーを同時に使うことができます。
2. アルトキーを押しながらオートアンダーラインキーを押して、オートアンダーラインを設定することもできます。
3. 表示モードでのディスプレイ表示は<アンダーライン表示> (9ページ) を参照してください。

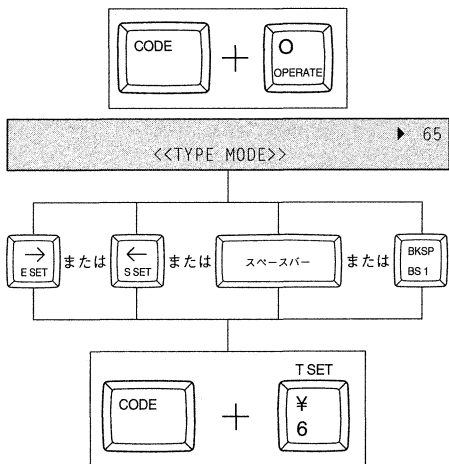
4. タブ

文章の書き出し位置をそろえる機能です。伝票や表の形式に合わせてタイプするときに便利です。

タブ	タブ	タブ
INO. of O ₂ Cylinders	Unit Price	Total Cost
65	9.84	639.60
104	34.97	3636.88
169	44.81	4276.48

A タブの設定 <T SET>

印字モードで設定します。

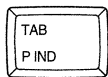


1. コードキーを押したままオペレートキーを押して、印字モードにします。<オペレートキー>（10ページ）参照
2. カーソルライトキー、カーソルレフトキー、スペースバーまたはバックスペースキーを押して、タブを設定したい位置までキャリヤを移動させます。
3. コードキーを押したままタブセットキーを押して、タブを設定します。

B タブの実施 <TAB>

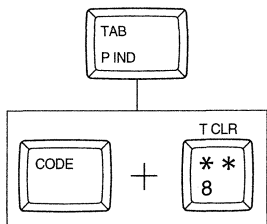
タブキーを押します。キャリヤはすぐ右のタブ位置まで移動します。

- 注）1. 表示モード中、データエリアに文字やスペースが表示されているときは、それをタイプしてからすぐ右のタブ位置まで移動します。
2. キャリヤより右側にタブを設定していないときは、右マージンまで移動します。



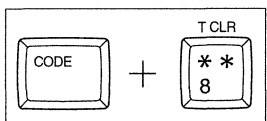
C タブの解除 <T CLR>

1. タブキーを押して、解除したいタブ位置までキャリヤを移動させます。
2. コードキーを押したままタブクリアキーを押して、タブを解除します。



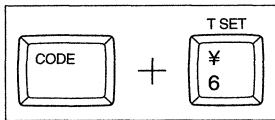
● タブのオールクリア

コードキーを押したままタブクリアキーを0.5秒以上押し続けると、すべてのタブ、デシマルタブが解除されます。ディスプレイにメッセージ表示されます。



ALL TABS CLEARED.
<<TYPE MODE>>

● タブの自動設定



△AUTO TAB SET DONE.
 <<TYPE MODE>>

コードキーを押したままタブセットキーを0.5秒以上押し続けると、マージン間にその時のピッチで10文字ごとにタブが設定されます。ディスプレイにメッセージ表示されます。

- 注) 1. それまで設定されていたタブ、デシマルタブはすべて解除されます。
 2. 表示モードでは電子音が鳴り、タブの自動設定はできません。

- 注) 1. 1行内に最大30箇所（デシマルタブも含む）まで設定できます。
 2. タブ位置は、マージンスケール<0>からの絶対位置で設定します。左マージンやピッチを変えても変化しません。
 3. 初期設定はマージン間に10文字ごとにタブが設定されています。
 4. 表示モードでは電子音が鳴り、タブの設定はできません。

5. デシマルタブ

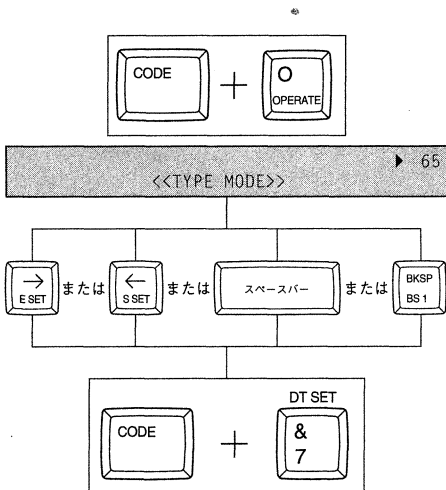
数字の小数点をそろえる機能です。会計報告など小数点を含む数字を小数点ぞろえでタイプするときに便利です。

デシマルタブ	デシマルタブ	デシマルタブ
65	9.84	639.60
104	34.97	3636.88
169	44.81	4276.48

A デシマルタブの設定 <DT SET>

印字モードで設定します。

1. コードキーを押したままオペレートキーを押して、印字モードにします。<オペレートキー> (10ページ) 参照

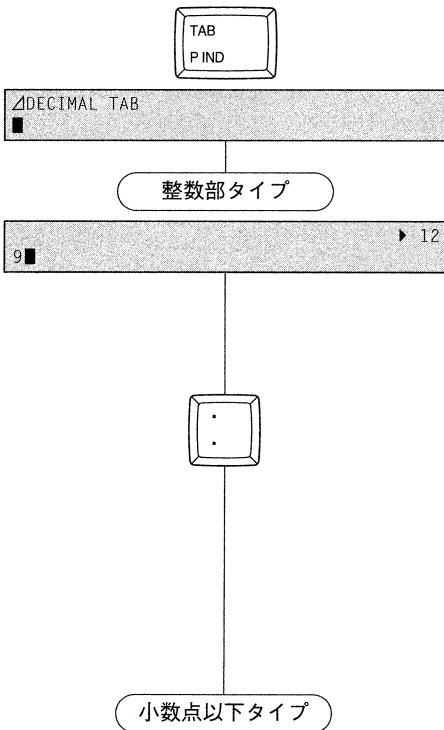


2. カーソルライトキー、カーソルレフトキー、スペースバーまたはバックスペースキーを押して、デシマルタブを設定したい位置（小数点の位置）までキャリヤを移動させます。

3. コードキーを押したままデシマルタブセットキーを押して、デシマルタブを設定します。

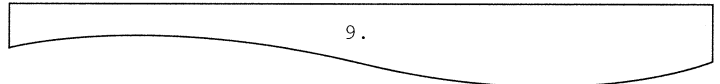
注) デシマルタブを設定する位置にタブが設定されているときは、デシマルタブに置き換わります。

B デシマルタブの実施 <TAB>



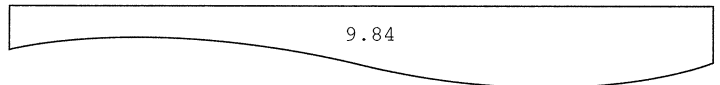
1. タブキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示され、キャリアがデシマルタブ位置まで移動します。データエリアの先頭にカーソルが表示されます。
- 注) 表示モード中、データエリアに文字やスペースが表示されているときは、それを印字してからすぐ右のデシマルタブ位置まで移動します。

2. 整数部（文字も含む）をタイプします。タイプした文字は直接印字せず、1文字ごとにキャリアは左に移動します。
- 注) 1. タイプした文字を削除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。タイプした文字をすべて削除すると、キャリアはデシマルタブ位置にもどります。
2. 入力可能文字数は、左マージンまたはすでに印字されている文字列からデシマルタブ位置までの範囲です。
3. 小数点をタイプします。タイプした文字と小数点が印字されます。デシマルタブモードを解除します。



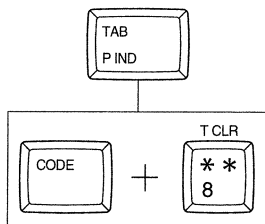
- 注) 整数部だけタイプしたいときは、小数点の代わりにタブキーまたはリターンキーを押します。

4. 小数点以下をタイプします。



- 注) 1. タイプ中に電子音が鳴ったときは、すでに印字済みの隣の文字との間隔が1文字分しかないときです。このときは、デシマルタブ位置を変更してタイプし直してください。
2. 文章をタイプしている途中でデシマルタブの実施を解除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押してタイプした文字を削除してから、コードキーを押したままキャンセルキーを押してデシマルタブの実施を解除してください。

C デシマルタブの解除 <T CLR>



1. タブキーを押して、解除したいタブ位置までキャリアを移動させます。
2. コードキーを押したまま、タブクリアキーを押してタブを解除します。

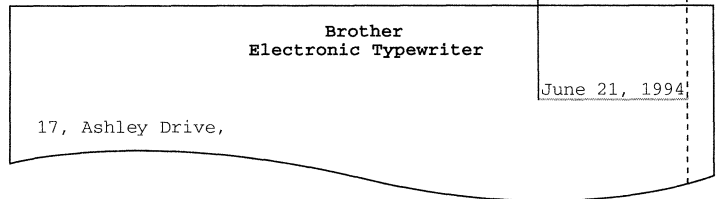
- 注) コードキーを押したままタブクリアキーを0.5秒以上押し続けると、すべてのタブ・デシマルタブが解除されます。<タブのオールクリア> (30ページ) 参照

- 注) 1. 1行内に最大30箇所（タブも含む）まで設定できます。
2. デシマルタブ位置は、マージンスケール<0>からの絶対位置で設定します。左マージンやピッチを変えても変化しません。

6. ライトマージンフラッシュキー <RMF>

語句を右マージンで右寄せ印字したいときに使用します。日付などのタイプに便利です。

ライトマージンフラッシュ 右マージン



A ライトマージンフラッシュの設定

1. コードキーを押したままライトマージンフラッシュキーを押すと、キャリアは右マージンに移動します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

注) 1. 表示モードでライトマージンフラッシュを設定する場合は、キャリアを左マージンに移動させてから設定してください。

2. メニューキーを押して、ライトマージンフラッシュを設定することもできます。数字キー“1”を押して、<CTR/RMF>を選択し、数字キー“2”を押して<RMF>を選択するとディスプレイに<RIGHT MARGIN FLUSH>とメッセージ表示されます。

2. 文章をタイプします。タイプした文章は直接印字せず、ディスプレイに表示されます。1文字ごとにキャリアは左に移動します。

注) 1. タイプした文字を削除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。タイプした文字をすべて削除すると、キャリアは右マージンまで移動します。

2. 入力可能文字数は、左マージンまたはすでに印字されている文字列から右マージンまでの範囲です。

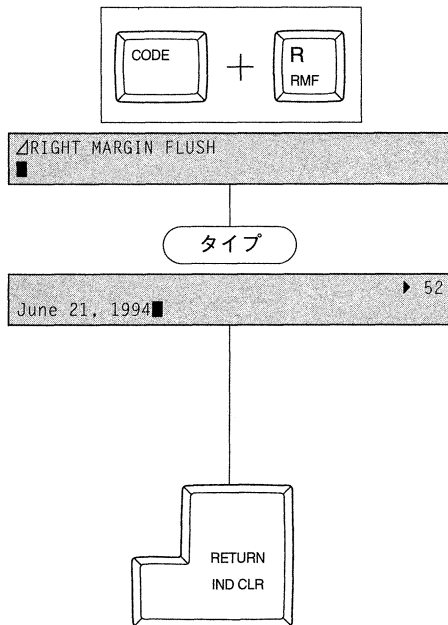
3. リターンキーを押すと、右マージンで右寄せ印字します。キャリアは改行して左マージンに移動します。

注) タイプ中に電子音が鳴ったときは、すでに印字済みの隣りの文字との間隔が1文字しかないときです。これ以上タイプできません。

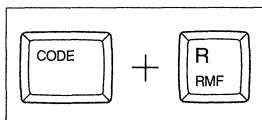
B ライトマージンフラッシュの解除

ライトマージンフラッシュを解除するには、コレクションキー、またはコードキーを押したままライトマージンフラッシュキー、またはコードキーを押したままキャンセルキーを押します。キャリアはもとの位置にもどり、ライトマージンフラッシュモードは解除されます。

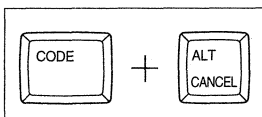
注) 文章をタイプしている途中でライトマージンフラッシュを解除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押して、タイプした文字を削除してからライトマージンフラッシュモードを解除してください。



または

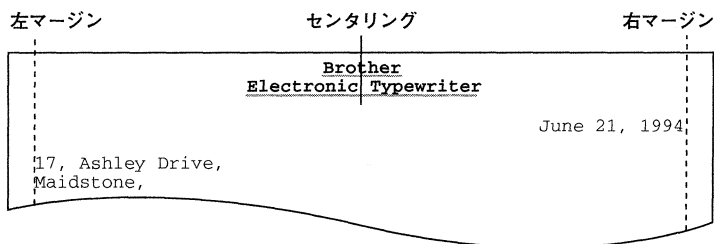


または



7. センタリング<CTR>

マージン間やタブ間等の中央にタイプしたいときに使
用します。見出しやタイトルなどのタイプに便利で
す。

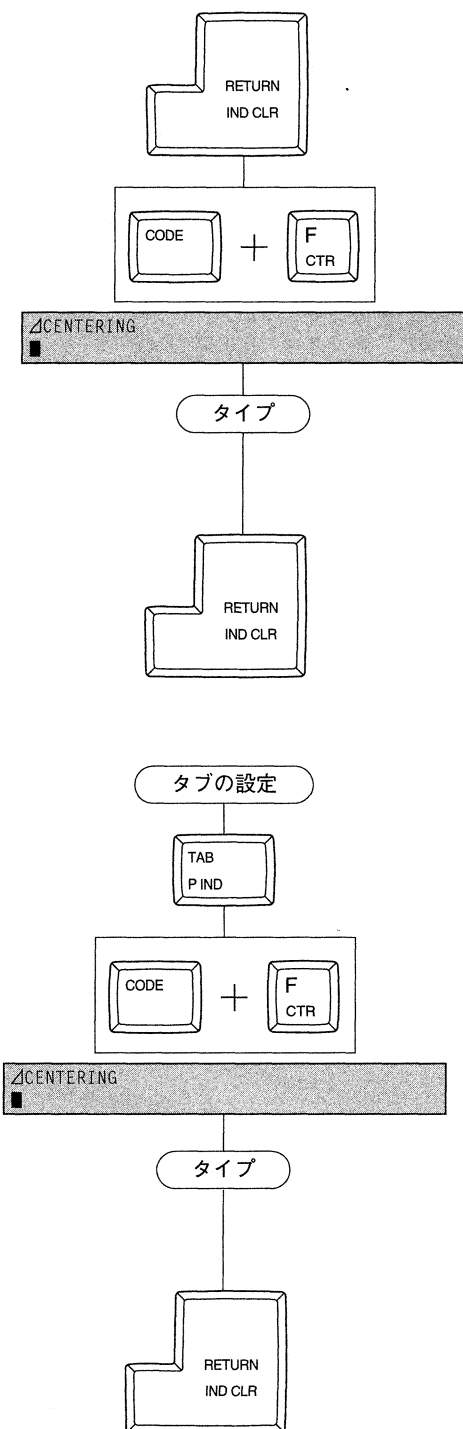


A マージン間のセンタリングの設定

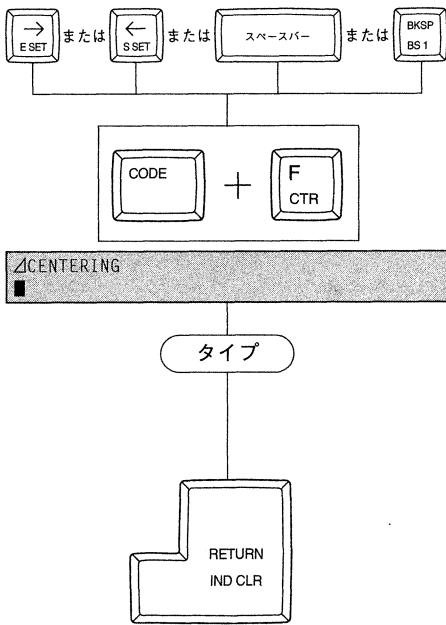
- リターンキーを押して、キャリヤを左マージンまで移動させます。
- コードキーを押したままセンタリングキーを押します。キャリヤはマージン間の中央に移動します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
注) メニューキーを押して、センタリングを設定することもできます。数字キー“1”を押して、<CTR/RMF>を選択し、数字キー“1”を押して<CTR>を選択するとディスプレイに<CENTERING>とメッセージ表示されます。
- 文章をタイプします。タイプした文章は直接印字せず、ディスプレイに表示されます。1文字ごとにキャリヤは左に移動します。
注) タイプした文章を削除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。タイプした文字をすべて削除するとキャリヤはマージンの中央にもどります。
- リターンキーを押すと中央にタイプし、キャリヤは改行して左マージンまで移動します。

B タブ間のセンタリングの設定

- タブを設定します。<タブの設定> (30ページ) 参照
- タブキーを押して、キャリヤをタブ位置まで移動させます。
- コードキーを押したままセンタリングキーを押します。キャリヤはタブ間の中央に移動します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
注) 1. 現在のキャリヤ位置より右側にタブを設定していないときは、右マージン間との中央にキャリヤが移動します。
2. メニューキーを押して、センタリングを設定することもできます。数字キー“1”を押して、<CTR/RMF>を選択し、数字キー“1”を押して<CTR>を選択するとディスプレイに<CENTERING>とメッセージ表示されます。
- 文章をタイプします。タイプした文章は直接印字せず、ディスプレイに表示されます。1文字ごとにキャリヤは左に移動します。
注) タイプした文章を削除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。タイプした文字をすべて削除するとキャリヤはタブ間の中央にもどります。
- リターンキーを押すと中央にタイプし、キャリヤは改行して左マージンまで移動します。

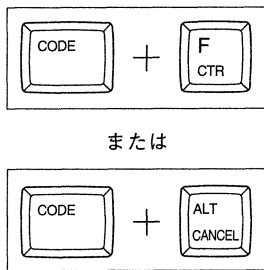


C 任意の位置でのセンタリングの設定



1. カーソルライトキー、カーソルレフトキー、スペースバーまたはバックスペースキーを押して、センタリングを実施したい位置までキャリヤを移動させます。
2. コードキーを押したままセンタリングキーを押します。ディスプレイにメッセージが表示されます。キャリヤは移動せず、その位置がセンタリングの中心になります。
3. 文章をタイプします。タイプした文章は直接印字せず、ディスプレイに表示します。1文字ごとにキャリヤが左に移動します。
注) タイプした文字を削除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押します。タイプした文字をすべて削除するとキャリヤはもとの位置にもどります。
4. リターンキーを押すと、中央にタイプし、キャリヤは改行して左マージンまで移動します。

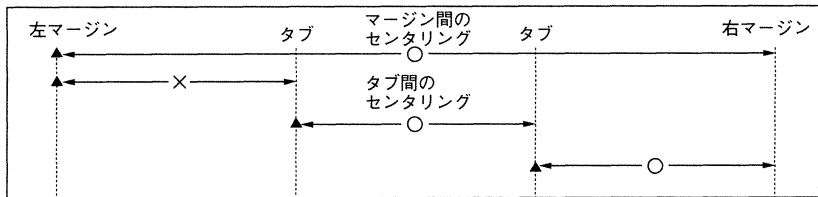
D センタリングの解除



センタリングを解除するには、コードキーを押したままセンタリングキー、またはコードキーを押したままキャンセルキーを押します。センタリングモードを解除してキャリヤがもとの位置にもどります。リターンキーを押してもセンタリングモードは解除できません。

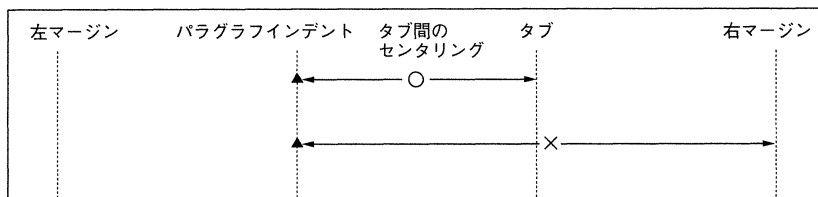
注) 文章をタイプしている途中でセンタリングモードを解除したいときは、コレクションキーまたはワードアウトキーを押して、タイプした文字を削除してからセンタリングモードを解除してください。

- 注) 1. タイプ中に電子音が鳴ったときは、入力可能文字を越えたときです。タブ間センタリングの場合はタブ位置を変更してタイプし直してください。任意の位置でのセンタリングの場合はセンタリング開始位置を変更してタイプし直してください。
2. キャリヤが左マージンまたはタブ位置にないときは、任意の位置でのセンタリングとなります。
 3. マージン間、タブ間センタリングは、次の間で行うことができます。



▲：キャリヤ位置

4. パラグラフインデントの設定位置では、次のタブとの間でセンタリングされます。



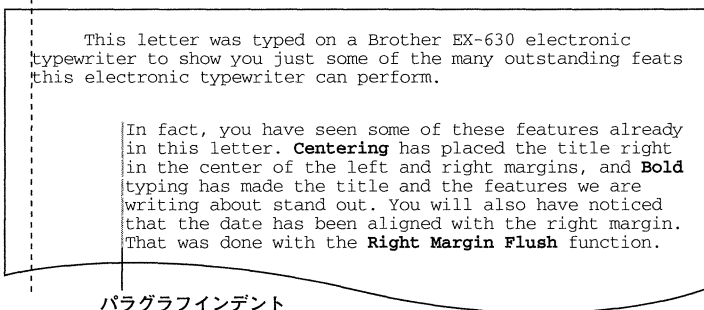
▲：キャリヤ位置

5. デシマルタブ位置にキャリヤがあるときは、センタリングはできません。

8. パラグラフインデントキー <P IND>

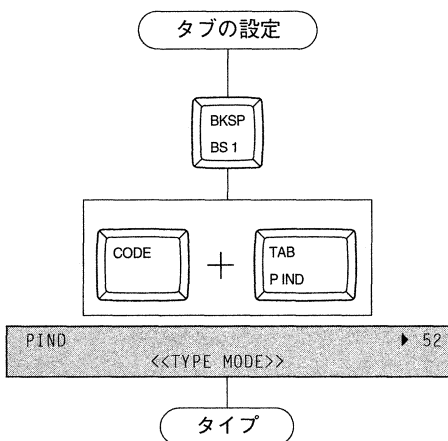
文章または引用文全体に、一時的な仮の左マージンを設定したいときに使用します。

左マージン



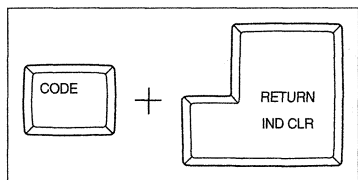
A パラグラフインデントの設定

1. パラグラフインデントを実施したい位置にタブを設定します。<タブの設定> (30ページ) 参照
2. バックスペースキーを押して、1.で設定したタブ位置からキャリヤを1文字分以上左に移動させます。
3. コードキーを押したままパラグラフインデントキーを押します。キャリヤは1.で設定したタブ位置まで移動します。(デシマルタブは無視します。)この位置が仮の左マージンになります。ディスプレイに<PIND>を表示します。
4. 文章をタイプします。リターンキーを押すと、キャリヤは自動的にパラグラフインデントを設定した位置に移動します。



B パラグラフインデントの解除 <IND CLR>

パラグラフインデントを解除するにはコードキーを押したままインデントクリアキーを押します。キャリヤは改行して自動的にもとの左マージンに移動し、ディスプレイの<P IND>が消えます。



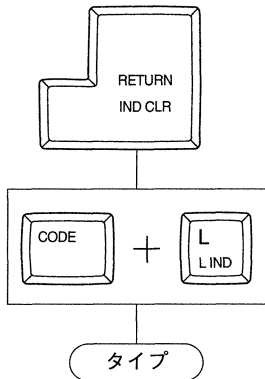
- 注) 1. 印字モード中、パラグラフインデントの設定位置より左にタイプしたいときは、バックスペースキーを押してください。その後、リターンキーを押すと、自動的にパラグラフインデントを設定した位置にもどります。
2. パラグラフインデントを実施するには、必ずタブを設定しておいてください。タブがいくつも設定してあるときは、現在のキャリヤ位置のすぐ右のタブ位置がパラグラフインデントの設定位置になります。
3. ホットゾーン内では、設定できません。

9. ラインインデントキー <L IND>

手紙などをタイプするとき、最初の行を5文字分あけたいときに使用します。

左マージン
ラインインデント

This letter was typed on a Brother EX-630 electronic typewriter to show you just some of the many outstanding feats this electronic typewriter can perform.



1. リターンキーを押して、キャリヤを左マージンまで移動させます。
2. コードキーを押したままラインインデントキーを押すと、キャリヤは5文字分右に移動します。表示モード中、コードキーを押したままラインインデントキーを押すと、キャリヤは5文字分移動し、ディスプレイにはラインインデントコード <□□□□□>が表示されます。
3. 文章をタイプします。

10. コレクション <CORRECT>

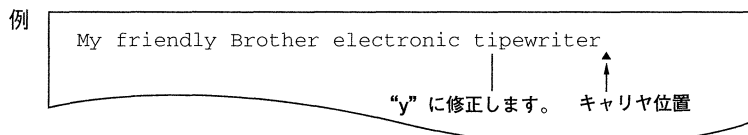
タイプした文字を簡単に削除し、修正することができます。

A 印字モードでのコレクション

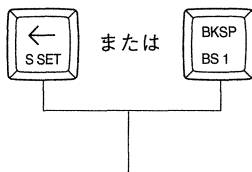
オートコレクションとマニュアルコレクションの2通りの方法があります。

(1) オートコレクション

タイプ中の1行（オートコレクション領域）は、コレクションキーで簡単に修正することができます。

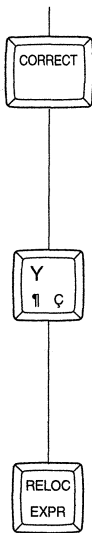


上の文章をそのままタイプしてください。最後の文字をタイプしたあとにリターンキーは押さないでください。“tipewriter”の“i”を“y”に修正します。



1. カーソルレフトキーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤを修正しようとする文字まで移動させます。“Tipewriter”という単語の“i”という文字の部分です。

My friendly Brother electronic tipewriter



2. コレクションキーを押すと、“i”の文字が用紙から削除されます。

My friendly Brother electronic tⁱpeewriter

3. 正しい文字キー“y”をタイプします。

My friendly Brother electronic typewriter

4. リロケートキーを押すと、キャリヤは修正前のもとの印字位置にすばやくもどります。

My friendly Brother electronic typewriter

- 注) 1. 改行した場合は、オートコレクションできません。
 2. コレクションキーを押し続けると、左にある文字を連続して削除します。
 3. エクスパンド文字、アンダーライン付きの文字、ボールドの文字、スーパースクリプトやサブスクリプトの文字も、オートコレクションできません。
 4. バックスペースキーを使った重ね文字は、最後にタイプした文字のみをオートコレクションします。
 5. キーボード<1>でタイプ中に、<2>または<3>でタイプした文字をオートコレクションするには、デジザールカセットを交換し、キーボードを切り替えてから削除してください。
 6. 1単語すべてを削除するときは、ワードアウトキーを使うと便利です。<ワードアウトキー> (42ページ) 参照
 7. 1行すべてを削除するときは、ラインアウトキーを使うと便利です。<ラインアウトキー> (44ページ) 参照

(2) マニュアルコレクション

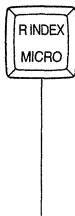
オートコレクション領域外の修正は、マニュアルで行います。

例

The unbeatable quality and superb performance of this electronic typewriter will more than satisfy your every typing need.

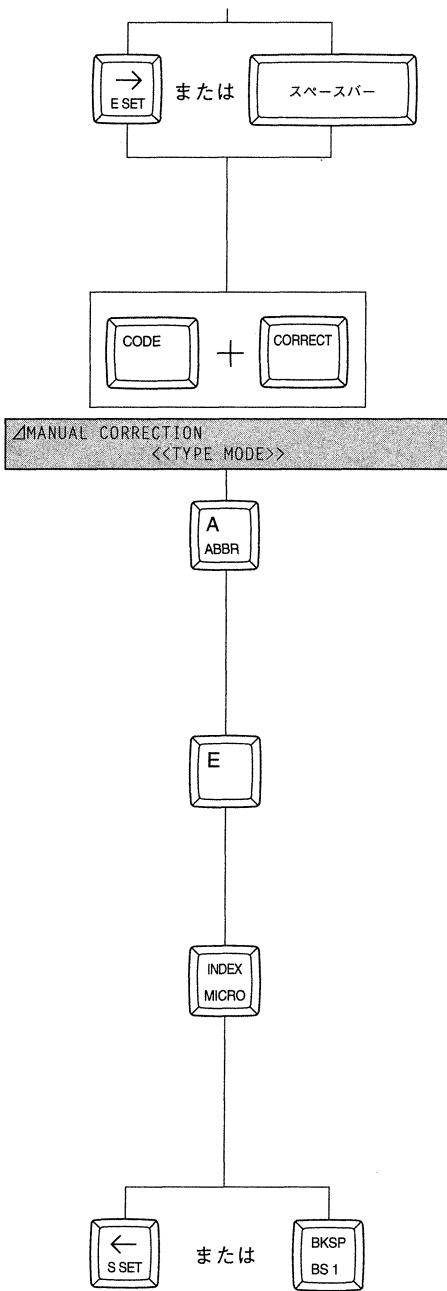
キャリヤ位置 ↑ “e” に修正します。

上の文章をそのままタイプしてください。修正したい単語のある行がオートコレクション領域外にありますので、マニュアルコレクションで修正を行います。“performance”の“a”を“e”に修正します。

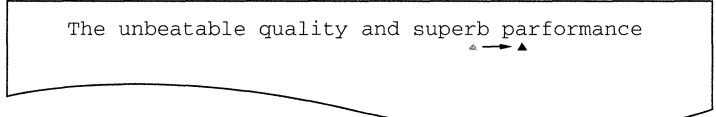


1. リバースインデックスキーを押して、修正したい行まで用紙をもどします。

The unbeatable quality and superb performance of this electronic typewriter will more than satisfy your every typing need.

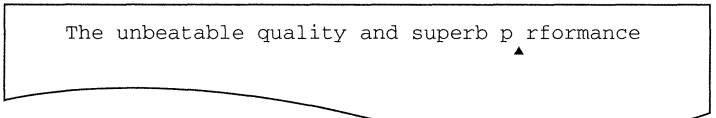


2. カーソルライトキーまたはスペースバーを押して、修正したい位置までキャリヤを移動させます。

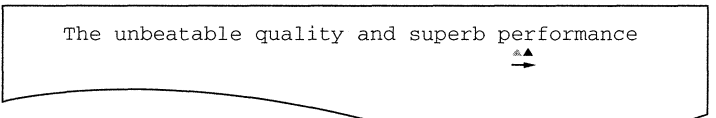


3. コードキーを押したままコレクションキーを押すと、マニュアルコレクションモードになります。ディスプレイにメッセージ表示されます。

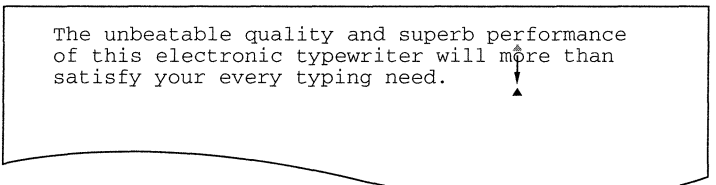
4. 修正したい文字“a”をタイプします。用紙から“a”が削除されメッセージが消えます。



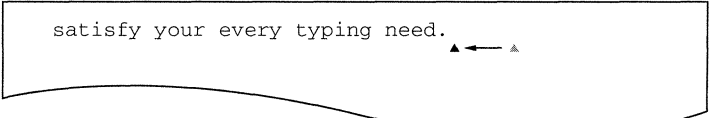
5. 正しい文字“e”をタイプします。



6. インデックスキーを押してもとの行にもどします。

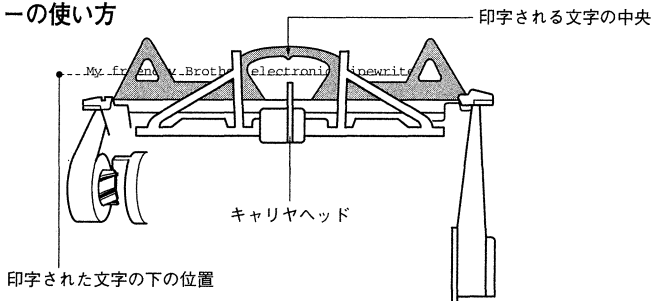


7. カーソルレフトキーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤをもとの印字位置にもどします。



- 注) 1. マニュアルコレクションモードを解除したいときは、スペースバーを押します。
 2. マニュアルコレクションは印字モードのみ有効です。

●ペーパーメーターの使い方

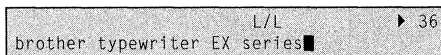


B 表示モードでのコレクション

オペレートを<L/L>または<JST>に設定しているときや、デシマルタブ、センタリング、ライトマージンフラッシュの操作中は、タイプした文字および数字がディスプレイに表示されます。そこで、誤字などに気づいたとき、印字する前にディスプレイ上で挿入・修正・消去ができます。

(1) 文字の挿入

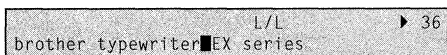
挿入したい位置にカーソルを移動させ文字をタイプすると、自動的に文字が挿入されます。



L/L ▶ 36
brother typewriter EX series■

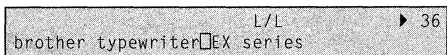
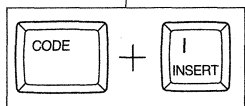
上の文章をそのままタイプしてください。最後の文字をタイプしたあとにリターンキーは押さないでください。“typewriter”と“EX”の間にスペースと“/”を挿入します。

1. カーソルレフトキーを押して、挿入したい位置までカーソルを移動させます。
注) カーソルが左へ行き過ぎたときは、カーソルライトキーを押してもどしてください。

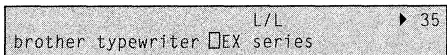
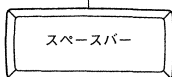


L/L ▶ 36
brother typewriter■EX series

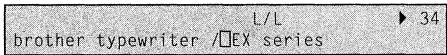
カーソルが<■>のときは



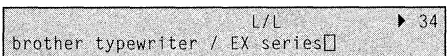
L/L ▶ 36
brother typewriter□EX series



L/L ▶ 35
brother typewriter □EX series



L/L ▶ 34
brother typewriter /□EX series



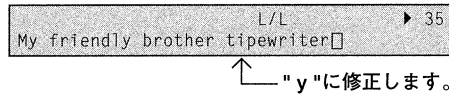
L/L ▶ 34
brother typewriter / EX series□

2. カーソルを確認します。<□>の点滅が挿入です。
カーソルが<■>のときは、コードキーを押したままインサートキーを押して<□>に切り替えます。
3. 挿入文字をタイプします。スペースバーを1回押し、スペースを挿入します。
4. 挿入したい記号“/”をタイプします。
5. リロケートキーを押すと、カーソルが修正前のもとの位置にもどります。

注) カーソルが<□>のときは、タイプするとカーソルの前に文字が挿入されます。カーソルが<■>のときは、カーソル上の文字が書き替えられます。
<インサートキー> (80ページ) 参照

(2) 文字の修正

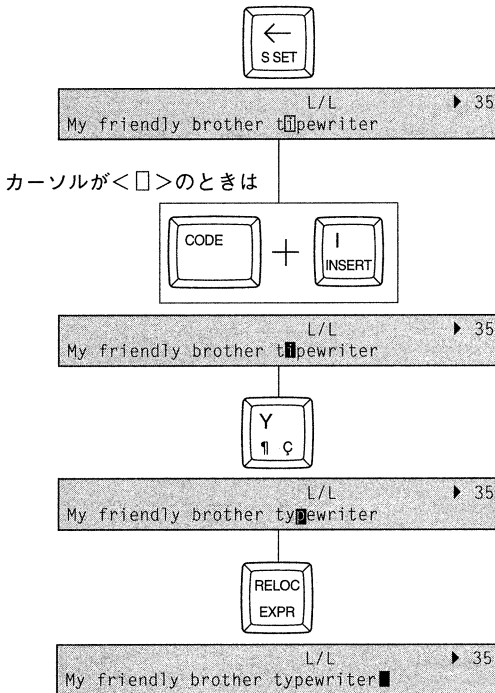
訂正したい文字にカーソルを移動させ、正しい文字をタイプします。



上の文章をそのままタイプしてください。最後の文字をタイプしたあとにリターンキーは押さないでください。“typewriter”の“i”を“y”に修正します。

1. カーソルレフトキーを押して、書き替えたい“i”の位置までカーソルを移動させます。

注) カーソルが左に行き過ぎたときはカーソルライトキーを押してもどしてください。



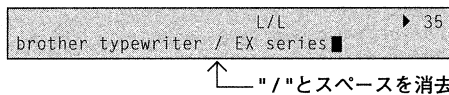
2. カーソルを確認します。<■>の点滅が書き替えです。カーソルが<□>のときは、コードキーを押したままインサートキーを押して、<■>に切り替えます。

3. 書き替えたい文字“y”をタイプします。

4. リロケートキーを押すと、カーソルが修正前のもとの位置にもどります。

(3) 文字の消去

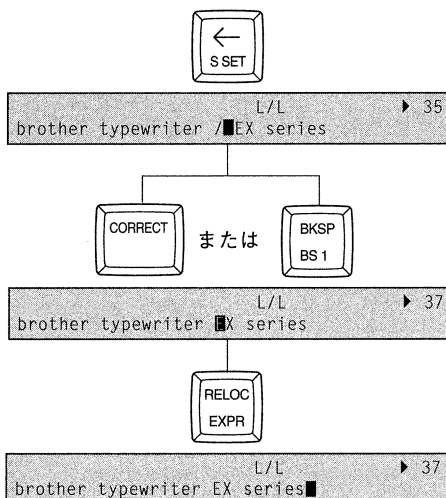
消去したい文字にカーソルを移動させ、コレクションキーまたはバックスペースキーを押します。



上の文章をそのままタイプしてください。最後の文字をタイプしたあとにリターンキーは押さないでください。“typewriter”と“EX”の間の“/”とスペースを消去します。

1. カーソルレフトキーを押して、消去したい“/”の次のスペースまでカーソルを移動させます。

注) カーソルが左へ行き過ぎたときは、カーソルライトキーを押してもどしてください。



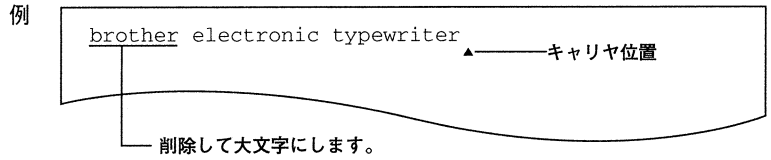
2. コレクションキーまたはバックスペースキーを押して、“/”とスペースを消去します。

3. リロケートキーを押すと、カーソルが修正前のもとの位置にもどります。

11. ワードアウトキー <WORD OUT>

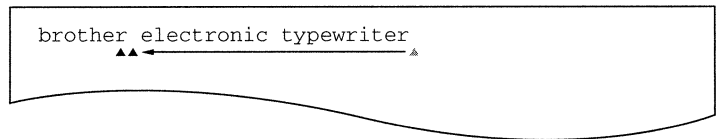
タイプ中の行であれば、1つの単語全体を削除することができます。

A 印字モードの場合

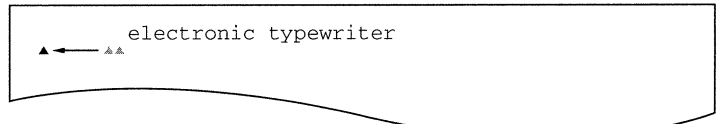


上の文章をそのままタイプしてください。最後の文字をタイプしたあとにリターンキーは押さないでください。“brother”を“BROTHER”に修正します。

1. カーソルレフトキーまたはバックスペースキーを押して、キャリヤを“r”または次のスペースの位置に移動させます。

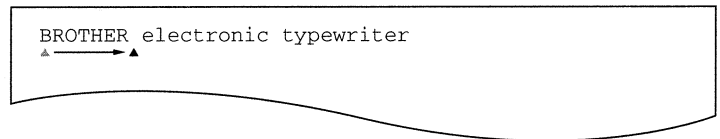


2. ワードアウトキーを押すと、単語が1文字ずつ削除されます。

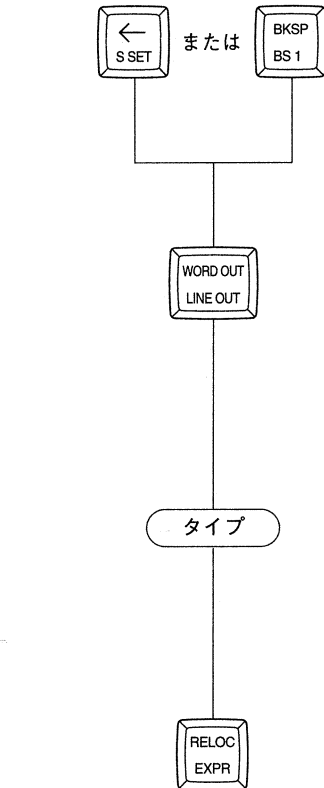
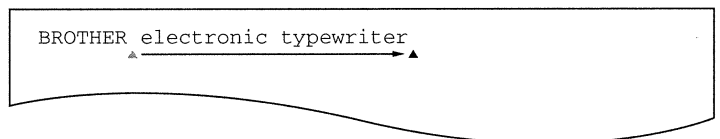


注) ワードアウトキーで単語を削除中、途中で中止したいときは、コレクションキーを押すとその位置でキャリヤは止まります。

3. 新しい単語“BROTHER”をタイプします。



4. リロケートキーを押すと、キャリヤは修正前のもとの位置にすばやくもどります。



注) 1. 改行した場合は、ワードアウトできません。

2. キャリヤが単語の途中の位置にあったとき、ワードアウトはその位置から単語の先頭までを削除します。

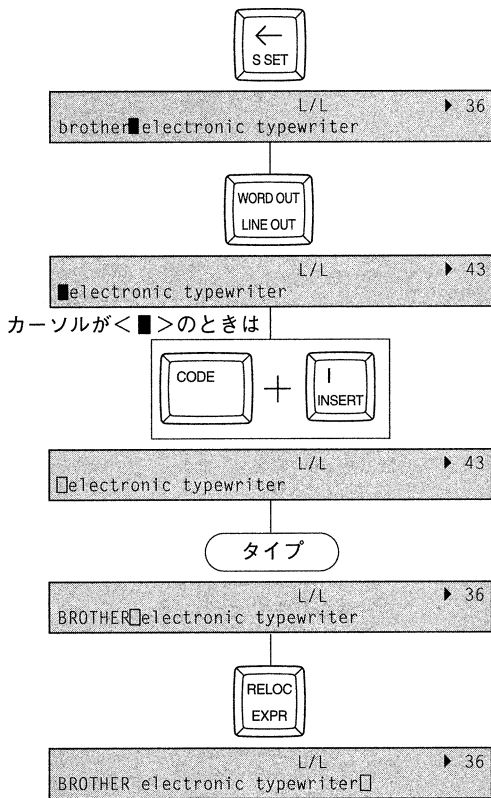
3. ワードアウトキーはキャリヤが単語の最後の文字、またはその単語の次のスペースの位置にあるときのみ有効です。

B 表示モードの場合

brother electronic typewriter ■ L/L ▶ 36

↑ 大文字に修正します。

上の文章をそのままタイプしてください。最後の文字をタイプしたあとにリターンキーは押さないでください。“brother”を“BROTHER”に修正します。



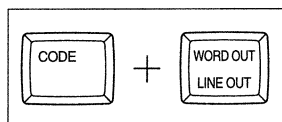
1. カーソルレフトキーを押して、ワードアウトしたい単語の次のスペースまでカーソルを移動させます。
2. ワードアウトキーを押すと、単語が消去されます。
3. カーソルを確認します。<□>の点滅が挿入です。カーソルが<■>のときは、コードキーを押したままインサートキーを押して<□>に切り替えます。
4. 新しい単語“BROTHER”をタイプします。
5. リロケートキーを押すと、カーソルが修正前のもとの位置にもどります。

- 注) 1. カーソルが<□>のときは、タイプするとカーソルの前に文字が挿入されます。カーソルが<■>のときは、カーソル上の文字が書き換えられます。<インサートキー> (80ページ) 参照
2. 改行した場合はワードアウトできません。
 3. カーソルが単語の途中にあるときは、カーソルの前にある文字から単語の先頭までを消去します。

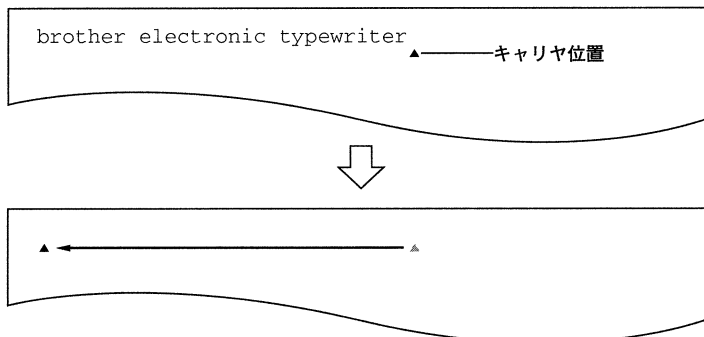
12. ラインアウトキー <LINE OUT>

タイプ中の行であれば、その行全体を削除することができます。

A 印字モードの場合

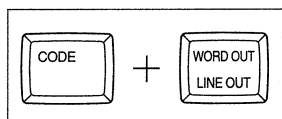


コードキーを押したままラインアウトキーを押します。
キャリヤの位置からその行の先頭の文字まで、連続して削除します。

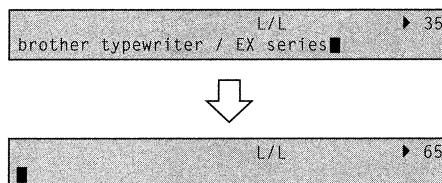


- 注) 1. コードキーを押したままマージンリリースキーを押して、マージンを越えてタイプした文字も削除できます。
2. ラインアウトキーで文章を削除中、途中で中止したいときはコレクションキーを押すと、その位置でキャリヤは止まります。

B 表示モードの場合



1. コードキーを押したままラインアウトキーを押します。
カーソルの前にある文字からその行の先頭まで、連続して消去します。



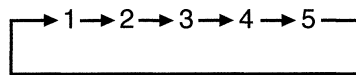
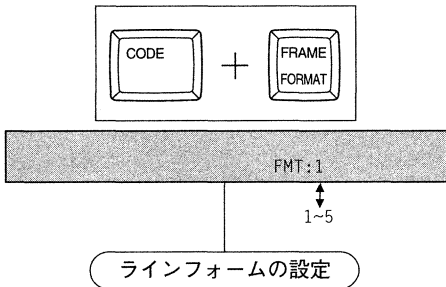
13. ラインフォーマット <FORMAT>

よく使われるラインフォームを、5種類登録することができます。

登録できるラインフォームは、ピッチ・ラインスペース・ホットゾーン・左マージン・右マージン・タブ・デシマルタブ・スタートライン・エンドラインです。これらのラインフォームは、いつでも呼び出すことができます。

<初期設定>	ピッチ	10	タブ	左右マージン間に10文字ごと
	ラインスペース	1	デシマルタブ	設定なし
	ホットゾーン	6	スタートライン	用紙上端より1インチ
	左マージン	10	エンドライン	設定なし
	右マージン	75		

A ラインフォーマットの登録

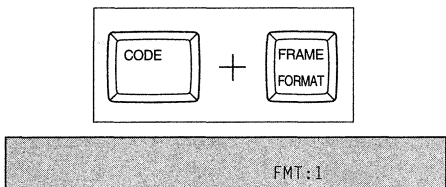


1. コードキーを押したままフォーマットキーを押して、登録したいフォーマットナンバーをディスプレイに表示させます。ディスプレイの<FMT>は次の順で切り替わります。

2. 登録したいラインフォームを設定します。

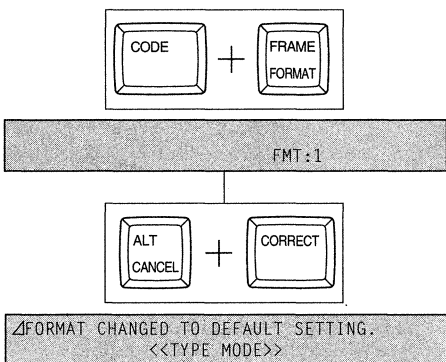
<ピッチセレクトキー>	(16ページ) 参照	<タブ>	(30ページ) 参照
<ラインスペースセレクトキー>	(14ページ) 参照	<デシマルタブ>	(31ページ) 参照
<ホットゾーン>	(19ページ) 参照	<スタートライン>	(46ページ) 参照
<マージン>	(17ページ) 参照	<エンドライン>	(46ページ) 参照

B ラインフォーマットの呼び出し



- コードキーを押したままフォーマットキーを押します。呼び出したいフォーマットナンバーがディスプレイに表示され、登録されているラインフォームが呼び出されます。

C ラインフォーマットのクリア

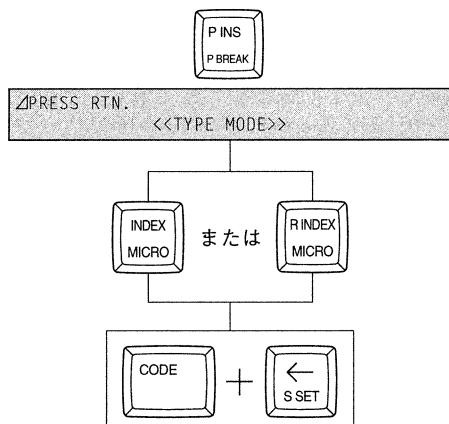


1. コードキーを押したままフォーマットキーを押して、クリアしたいフォーマットナンバーをディスプレイに表示させます。
2. アルトキーを押したままコレクションキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示され、登録されているラインフォーマットはクリアされます。

- 注) 1. アルトキーを押したままフォーマットキーを押して、フォーマットナンバーを切り替えることもできます。
 2. 現在のフォーマットナンバーに新しいラインフォームを登録すると、以前のラインフォームは解除されます。
 3. アルトキーを押すと、現在登録、呼び出し中のフォーマットナンバーを確認することができます。

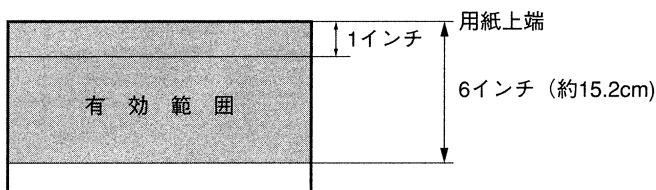
14. スタートラインセットキー <S SET>

スタートライン（最初のタイプ行）の設定ができます。



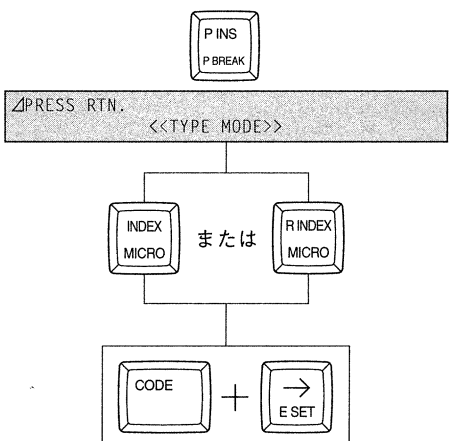
1. ペーパーインサートキーを押して用紙を自動挿入します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
2. インデックスキーまたはリバースインデックスキーを押して、タイプし始めたい位置まで用紙を送ります。
注) 微調整を行いたいときは、マイクロインデックスキー、マイクロリバースインデックスキーを押します。
3. コードキーを押したままスタートラインセットキーを押すと、新しいスタートラインが設定されます。

- 注) 1. 初期設定は、1インチ（約2.5cm）に設定されています。
2. スタートラインは次の範囲内で設定します。



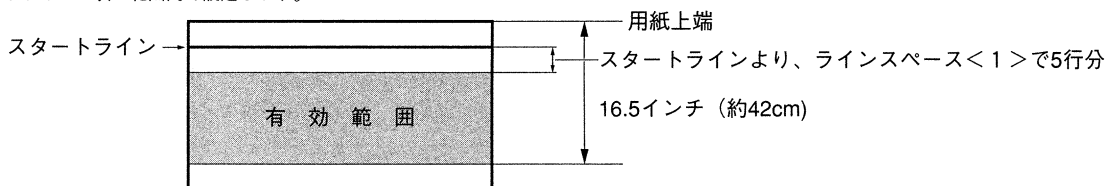
15. エンドラインセットキー <E SET>

エンドライン（ページの最終行）の設定ができます。



1. ペーパーインサートキーを押して用紙を自動挿入します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
2. インデックスキーまたはリバースインデックスキーを押して、用紙の印字最終行を設定したい位置まで用紙を送ります。
注) 微調整を行いたいときは、マイクロインデックスキー、マイクロリバースインデックスキーを押します。
3. コードキーを押したままエンドラインセットキーを押すと、エンドラインが設定されます。

- 注) 1. 初期状態ではエンドラインは設定されていません。
2. エンドラインは次の範囲内で設定します。



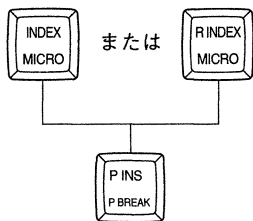
3. スタートラインを変更してもエンドラインの設定は変わりません。

16. ページエンド

TWモード中、エンドラインが設定された行に到達すると、ページエンド状態になり用紙交換を知らせます。

改行動作などにより、エンドラインを越えた場合、ディスプレイにメッセージ表示されます。メッセージ表示がされているときは、キーボードがロックされタイプできません。

△PAGE END. PRESS CORRECT TO CONTINUE.
<<TYPE MODE>>

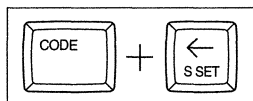


1. インデックスキーまたはリバースインデックスキーを押して、用紙を取り出します。
2. ペーパーインサートキーを押して、新しい用紙を自動挿入します。



● エンドラインを越えてタイプしたい場合

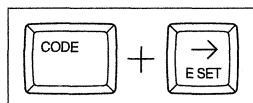
ディスプレイにメッセージ表示されているときに、コレクションキーを押すと、一時的にエンドラインが解除され、続けて1行タイプすることができます。また、その行が改行したときは再びディスプレイにメッセージ表示されます。



ディスプレイにメッセージ表示されているときに、コードキーを押したままスタートラインセットキーを押すと、一時的にエンドラインが解除され、もう1ページ分続けてタイプすることができます。

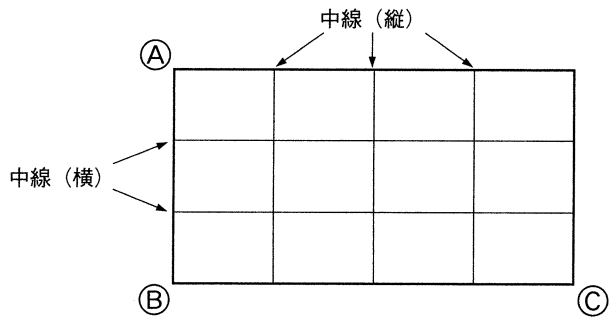
● エンドラインの解除

ディスプレイにメッセージ表示されているときに、コードキーを押したままエンドラインセットキーを押します。エンドラインが解除されます。



17. フレーミング <FRAME>

縦線・横線を引いて作表することができます。



- 注) 1. キーボードが<1>、<2>、<3>のいずれの場合でもフレーミング機能を使用することはできますが、キーボードが<1>の場合、縦線は点線となります。実線を引きたい場合はキーボードを<2>または<3>に切り替え、キーボードが<2>の場合はインターナショナルのデジターホイールカセットを、キーボードが<3>の場合はシンボルのデジターホイールカセットをセットしてください。
2. キーボードを<2>または<3>に切り替え、デジターホイールカセットをインターナショナルまたはシンボルに入れ替えた場合、横線で二重線を引くことができます。キーボード<1>では横線で二重線を引くことはできません。

A フレーミングの枠指定

- カーソルライトキー ()、カーソルレフトキー ()、インデックスキー ()、リバースインデックスキー ()、またはタブキー () 等のキャリヤ移動キーを押してフレーミング開始位置 (枠の左上端 (A)) までキャリヤを移動させます。

- フレームキーを押すと、枠の左上端 (A) が決定し、フレーミングモードとなります。ディスプレイにメッセージ表示されます。

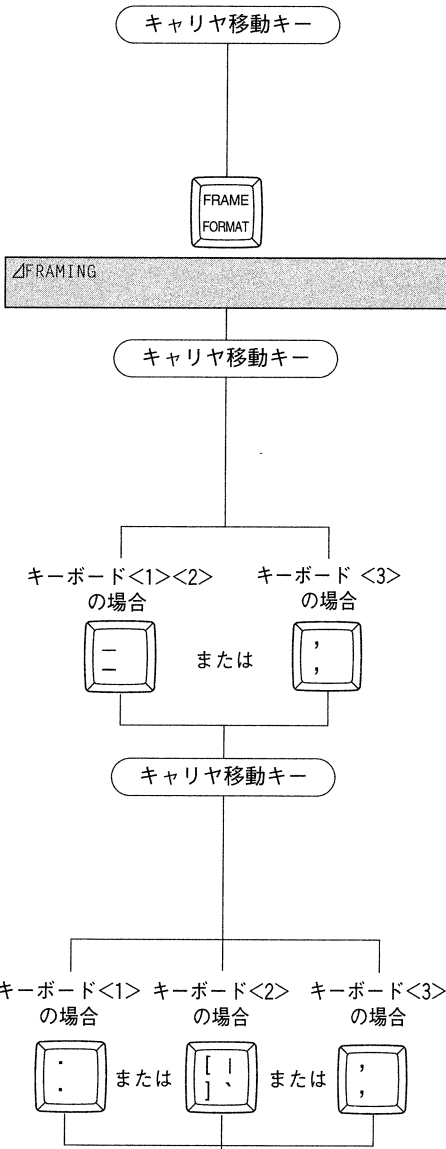
注) 横線のみ二重線にすることができます。二重線にしたい場合は、二重アンダーラインキー () を押します。

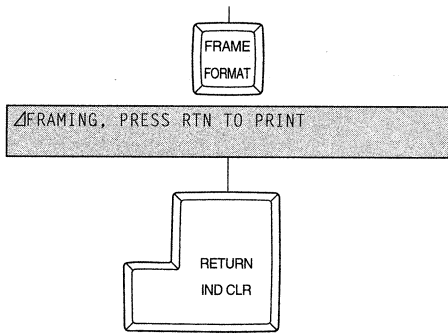
- インデックスキー ()、リバースインデックスキー ()、マイクロインデックスキー (+)、マイクロリバースインデックスキー (+)、またはリターンキー () 等のキャリヤ移動キーを押して、中線 (横) を引きたい位置までキャリヤを下に移動させます。

- 中線 (横) を引きたい位置までキャリヤを移動させたら、アンダーラインキャラクターキー (キーボード<1><2>の場合) またはピリオドキー (キーボード<3>の場合) を押します。このようにキャリヤを移動させながら中線 (横) を指定し、枠の下端 (B) までキャリヤを移動させます。

- 枠の左下端 (B) までキャリヤを移動させたら、カーソルライトキー ()、カーソルレフトキー ()、スペースバー ()、バックスペースキー ()、バックスペース1キー () またはタブキー () 等のキャリヤ移動キーを押して、中線 (縦) を引きたい位置までキャリヤを右方向に移動させます。

- 中線 (縦) を引きたい位置までキャリヤを移動させたら、ピリオドキー (キーボード<1>の場合)、バーチカルバー (キーボード<2>の場合) または、コンマキー (キーボード<3>の場合) を押します。このようにキャリヤを移動させながら中線 (縦) を指定し、枠の右下端 (C) までキャリヤを移動させます。

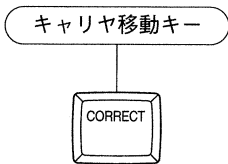




7. キャリヤを枠の右下端◎まで移動させたら、フレームキーを押します。キャリヤが自動的に枠の左上端㊸まで移動し、ディスプレイにメッセージ表示されます。

8. リターンキーを押すと枠のタイプを開始します。枠のタイプが終了すると、キャリヤは枠の左上端㊸まで移動しフレーミングモードは解除されます。

B フレーミングの枠指定の解除



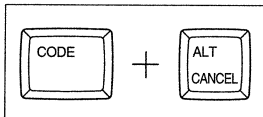
1. 一度指定した中線（縦、横）を解除したい場合は、キャリア移動キーを押して解除したい中線指定位置までキャリヤを移動させます。

2. コレクションキーを押すと、その点を通る中線が解除されます。

注) キャリヤが枠の左上端㊸あるいは枠の左下端㊹にあるときにコレクションキーを押すと、二重アンダーライン指定してあった場合に限り一重アンダーライン指定に変更されず。それ以外の場合は無効となります。

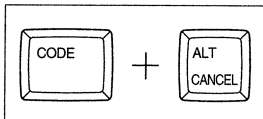
C フレーミングの中止

● 枠指定中のフレーミングの中止



フレーミングの枠指定中にコードキーを押したままキャンセルキーを押します。それまでの枠指定をすべて解除し、キャリヤは左マージン位置まで移動します。

● 枠タイプ中のフレーミングの中止



枠のタイプ中に、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。枠のタイプを中止し、キャリヤは左マージン位置まで移動します。

- 注) 1. フレーミングモード中は、左右マージンを越えてキャリヤ移動することができます。
 2. フレーミングモード中にキーボード切り替え、ピッチ切り替えはできません。
 3. 中線の指定は外枠も含めて横線が30箇所、縦線が70箇所まで指定できます。それ以上指定しようとした場合は電子音が鳴り指定できません。

18. TW (タイプライター) モードでのフレーズ短縮メモリーの呼び出し

WPモードで登録したフレーズ短縮メモリーをTWモードで呼び出しすることができます。

注) TWモードでもフレーズ短縮メモリーの登録、消去、フロッピーディスクへの登録、読みこみをすることができます。WPモードでの「フレーズ短縮メモリー」(69ページ)を参照してください。

例 “U.S.A” というフレーズ短縮名で登録されているフレーズ “United States of America” を呼び出します。

A 印字モードの場合

1. フレーズ短縮メモリーを呼び出したい位置で、コードキーを押したままアプリケーションキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

2. フレーズ短縮名 “U.S.A.” をタイプします。

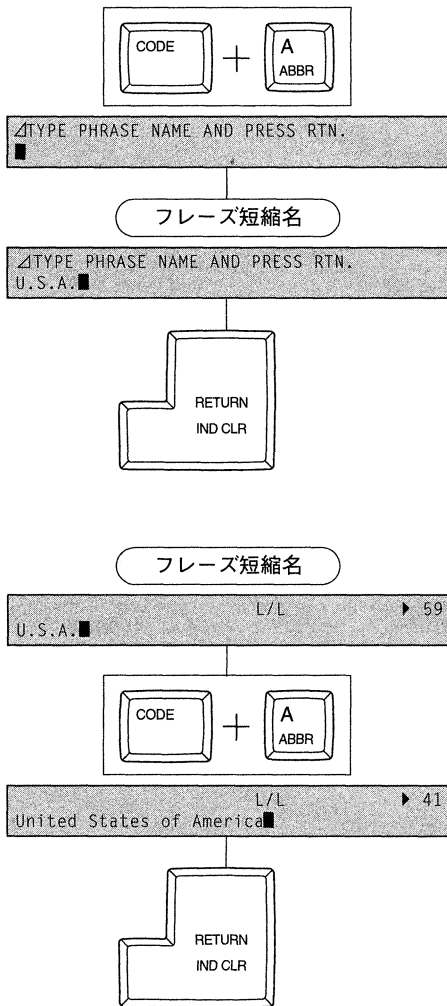
3. リターンキーを押すと、“United States of America” と印字されます。

B 表示モードの場合

1. フレーズ短縮メモリーを呼び出したい位置で、フレーズ短縮名 “U.S.A.” をタイプします。

2. コードキーを押したままアプリケーションキーを押します。“U.S.A” が “United States of America” に変わります。

3. リターンキーを押すと印字されます。



注) フレーズ短縮名は大文字・小文字の区別をしますので、登録してあるとおりにタイプします。

19. マルチリンガル

他の外国語の文章をタイプしようとした場合、タイプしたい外国語用のデジホイールカセットに入れ替えただけではタイプした文字と印字された文字が対応しませんので正確なタイピングができません。そのようなとき、マルチリンガルキーボード切り替え機能により、21種類のデジホイールカセットを使用することができ、使用するデジホイールカセットとキーボードを対応させ、正確なタイプ結果を得ることができます。

A マルチリンガルキーボードの設定

例 GERMAN（ドイツ語）に設定する場合

1. 使用する言語のデジホイールカセット（GERMAN 08）をセットします。

2. メインメニュー画面で、メニューキーを押して、セットアップ画面を表示させます。

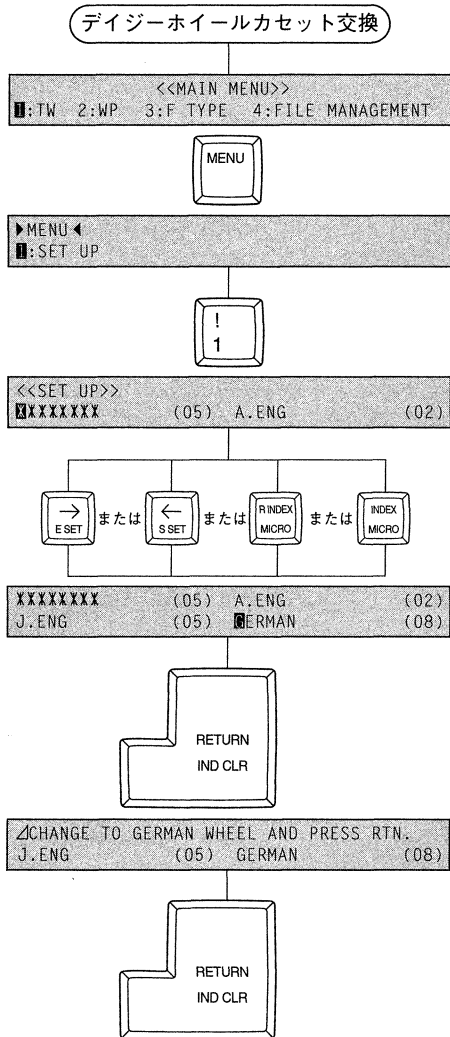
3. 数字キー“1”を押して<SET UP>を選択します。マルチリンガルキーボード設定画面が表示されます。

注) コードキーを押したままインパクトセレクトキーを押すと、ディスプレイはM⇒H⇒E（エクストラH）⇒Lと切り替わります。

4. カーソル移動キーを押して、設定したい言語（GERMAN）にカーソルを移動させます。

5. リターンキーを押すと、ディスプレイにメッセージ表示されます。

6. リターンキーを押します。マルチリンガルキーボード（GERMAN）が設定されます。



注) 1. 初期設定は日本英文（J.ENG）に設定されています。

2. 設定を中止したい場合は、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。

B マルチリンガルキーボードの解除

マルチリンガルキーボードを解除するには、電源スイッチを<OFF>にするか、マルチリンガルキーボードの設定を日本英文 (J.ENG) に設定します。

電源スイッチ<OFF>

または

マルチリンガルキーボード
設定をJ.ENGに設定

C マルチリンガルキー配列の印字

使用する言語のキー配列を印字することができます。

例 GERMAN (ドイツ語) のキー配列を印字する場合。

1. 使用する言語のデジザールカセット (GERMAN08) をセットします。

2. メインメニュー画面で、メニューキーを押して、セットアップ画面を表示させます。

3. 数字キー“1”を押して、<SET UP>を選択します。マルチリンガルキーボード設定画面が表示されます。

4. カーソル移動キーを押して、印字したい言語 (GERMAN) にカーソルを移動させます。

5. コードキーを押したままプリントキーを押します。ディスプレイにメッセージが表示されます。

6. ペーパーインサートキーを押して用紙を挿入します。

7. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

8. リターンキーを押します。設定されたキーボードに対応するキー配列を印字します。印字が終了すると、マルチリンガルキーボード設定画面にもどります。

デジザールカセット交換

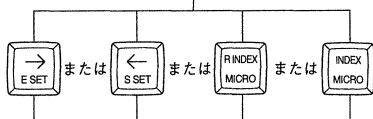
<<MAIN MENU>>
1:TW 2:WP 3:F TYPE 4:FILE MANAGEMENT



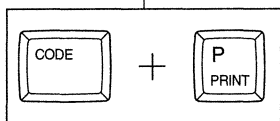
▶MENU◀
1:SET UP



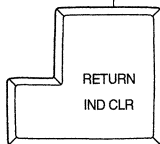
<<SET UP>>
XXXXXXXX (05) A.ENG (02)



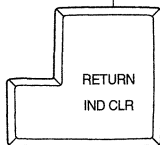
XXXXXXXX (05) A.ENG (02)
J.ENG (05) GERMAN (08)



△INSERT PAPER AND PRESS RTN.
J.ENG (05) GERMAN (08)



△CHANGE TO GERMAN WHEEL AND PRESS RTN.
J.ENG (05) GERMAN (08)



D キーボードコード表

使用する言語とデジザイルカセットは下記の通りです。

言語	キーボードコード	デジザイルラベル
A. ENG 基本英文	02	A.ENG 02
J. ENG 日本英文	05	J. ENG 05
GERMAN ドイツ	08	GERMAN 08
ENG イギリス英文	14	ENG 14
CAN カナダ	16	CAN 16
FRENCH フランス	20	FRENCH 20
L. SPA 中南米スペイン	27	L. SPA 27
TURKISH トルコ	29	TURKISH 29
S. AFR 南アフリカ	31	S. AFR 31
DUTCH オランダ	32	DUTCH 32
SWISS(KB1) スイス独文	36	SWISS 36
SWISS(KB2) スイス仏文	36	SWISS 36
GREEK ギリシャ	42	GREEK 42
ITALIAN イタリア	52	ITALIAN 52
LATIN ラテン	53	LATIN 53
FIN/SWE(SWE) スウェーデン	60	FIN/SWE 60
POR ポルトガル	64	POR 64
POR(BRAZIL) ブラジル	64	POR 64
NOR/DAN(NOR) ノルウェー	70	NOR/DAN 70
NOR/DAN(DAN) デンマーク	70	NOR/DAN 70
ICE アイスランド	74	ICE 74
SPA-II スペイン	76	SPA-II 76

E マルチリンガルキー配列

● 基本英文

° ±	1	@	#	\$	%	¢	&	*	()	-	=
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	½		±
A	S	D	F	G	H	J	K	L	:	;	'	"
Z	X	C	V	B	N	M	.	/	?	!	~	+

(P HY)

● 日本英文

° ±	1	@	#	\$	%	¥	&	*	()	-	=
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	½		±
A	S	D	F	G	H	J	K	L	:	;	'	"
Z	X	C	V	B	N	M	.	/	?	!	~	+

(P HY)

● ドイツ

° ±	1	"	\$	\$	%	¢	/	()	=	?	½
Q	W	E	R	T	Z	U	I	O	P	U	*	±
A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ö	Ä	:	;
Y	X	C	V	B	N	M	.	/	?	!	~	+

(P HY)

● イギリス英文

+	*	"	/	@	£	-	&	*	()	?	½
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	\$	½	±
A	S	D	F	G	H	J	K	L	:	;	'	"
Z	X	C	V	B	N	M	.	/	?	!	~	+

(P HY)

● カナダ

° ±	#	"	/	\$	%	*	&	()	-	=
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	½	
A	S	D	F	G	H	J	K	L	:	;	'
Z	X	C	V	B	N	M	.	/	?	!	~

(P HY)

● フランス

1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	°	+
½	*	é	"	'	(-	è)	ç	à)	=
A	Z	E	R	T	Y	U	I	O	P	.	Fr	\$
Q	S	D	F	G	H	J	K	L	M	%	ù	±
W	X	C	V	B	N	?	.	/	:	;	'	!

(P HY)

● 中南米スペイン

°	!	"	#	\$	%	&	'	()	+	-
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	=	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	°	#
A	S	D	F	G	H	J	K	L	N	:	;
Z	X	C	V	B	N	M	:	:	?	/	-

(PHY)

● トルコ

+	W	é	"	'	(/)	-	%	:	X	Q
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	=	-	-
F	G	ó	I	O	D	&	R	N	H	P	:	TL
U	i	E	A	Ü	T	K	M	L	Y	*	:	S
J	O	V	C	Ç	Z	S	B	?	:	-	-	-

(PHY)

● 南アフリカ

°	+	"	£	@	%	&	*	()	=	?	-
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	/	-	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	°	#	2
A	S	D	F	G	H	J	K	L	N	:	;	n
Z	X	C	V	B	N	M	:	:	-	-	-	-

(PHY)

● オランダ

f	"	£	\$	%	&	'	()	1	½	¼
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	¼
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	+	-
A	S	D	F	G	H	J	K	L	*	:	;
Z	X	C	V	B	N	M	?	:	/	-	-

(PHY)

● スイス独文 (KB1)

+	"	*	ç	%	&	/	()	=	?	-
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	/	-
Q	W	E	R	T	Z	U	I	O	P	é	ü
A	S	D	F	G	H	J	K	L	é	ä	£
Y	X	C	V	B	N	M	:	:	-	-	-

(PHY)

● スイス仏文 (KB2)

+	"	*	ç	%	&	/	()	=	?	-
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	/	-
Q	W	E	R	T	Z	U	I	O	P	ü	é
A	S	D	F	G	H	J	K	L	é	ä	£
Y	X	C	V	B	N	M	:	:	-	-	-

(PHY)

● ギリシャ

"	C	S	D	R	G	U	J	F	L	V	/	-
%	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0		-
Q	W	E	P	T	Y	U	I	O	Π	ι	()
A	Σ	Δ	Φ	Γ	H	Ξ	K	Λ	:	;	£	\$
Z	X	Ψ	Ω	B	N	M	:	:	+	=	-	-

(PHY)

● イタリア

\$	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	+
£	é	é	'	(-	ç	à)	-	-	-	-
Q	Z	E	R	T	Y	U	I	O	P	=	&	\$
A	S	D	F	G	H	J	K	L	M	%	:	ü
W	X	C	V	B	N	?	:	/	é	à	:	ü

(PHY)

● ラテン

½	+	"	%	\$	£	?	/	'	()	-	-
\$	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	&	°	*
A	S	D	F	G	H	J	K	L	:	=	:	;
Z	X	C	V	B	N	M	:	:	@	#	-	-

(PHY)

● スウェーデン

*	½	"	\$	%	&	/	()	=	?	'	-
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	+	-	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	A	ü	°
A	S	D	F	G	H	J	K	L	O	A	:	;
Z	X	C	V	B	N	M	:	:	-	-	-	-

(PHY)

● ポルトガル

-	*	+	=	"	()	/	%	&		£	\$	°
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	+	°		
A	Z	E	R	T	Y	U	I	O	P	.	-		
Q	S	D	F	G	H	J	K	L	M	;	:		
W	X	C	V	B	N	?	:						

(PHY)

● ブラジル

°		"	£	\$	%	&	/	()	=	?	√
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	!	'	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	.	*	+
A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ç	.	-	
Z	X	C	V	B	N	;	:					

(PHY)

● ノルウェー

*		"	£	\$	%	&	/	()	=	?	√
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	+	'	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	A	.	-
A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ø	Æ	.	-
Z	X	C	V	B	N	;	:					

(PHY)

● デンマーク

\$		"	£	\$	%	&	/	()	=	?	√
1/2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	+	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	A	.	-
A	S	D	F	G	H	J	K	L	Æ	Ø	.	-
Z	X	C	V	B	N	;	:					

(PHY)

● アイスランド

:		"	°	%	&	/	()	=	°	-
+	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	Ð	A
A	S	D	F	G	H	J	K	L	Æ	.	-
Z	X	C	V	B	N	?	:				

(PHY)

● スペイン

°		"	/	()	i	j	¿	?	\$	+	-
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	-	-	-
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	L	.	-
A	S	D	F	G	H	J	K	L	Ñ	Ç	.	-
Z	X	C	V	B	N	;	:			%	=	

(PHY)

第4章 WP (ワープロ) モード・ファイル機能編

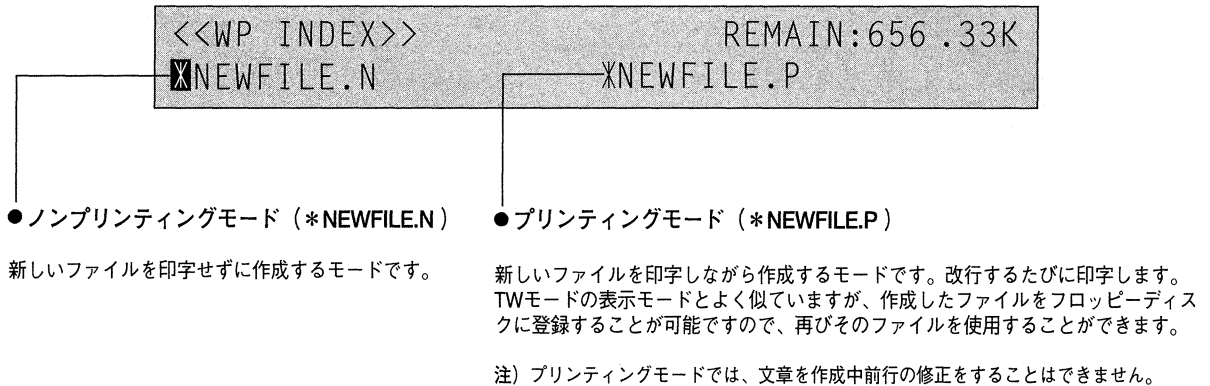
1. WP (ワープロ) モード

作成した文章 (ファイル) をフロッピーディスクに登録するモードです。一度登録したファイルは、簡単に編集ができ何度でも打ち出すことができます。

● WP (ワープロ) モードの選択

```
          <<MAIN MENU>>
1:TW  2:WP  3:F TYPE  4:FILE MANAGEMENT
```

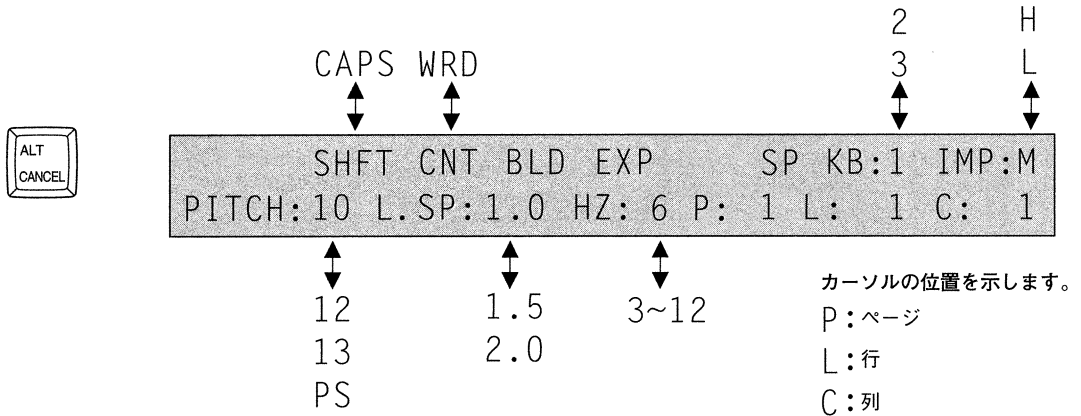
1. 電源スイッチを<ON>にするとディスプレイにはメインメニューが表示されます。



2. 数字キー“2”を押して<WP>を選択します。ディスプレイにはWPインデックス画面が表示されます。ワープロモードにはプリンティングモードとノンプリンティングモードがあり、いずれかをリターンキーを押して選択します。

2. WPディスプレイ表示

ファイル登録・編集時、ディスプレイは2行とも登録内容を表示するため、カーソル位置やラインフォーム設定、モードの状態を確認したいときはアルトキーを押します。アルトキーを押している間ディスプレイにモードとカーソル位置、ラインフォーム情報が表示されます。



PITCH	10, 12, 15, PS	ピッチ	SHIFT	シフト
L.SP	1.0, 1.5, 2.0	ラインスペース	CAPS	キャプス
HZ	3~12	ホットゾーン	CNT	オートアンダーラインコンティニュー
P		カーソル位置 (ページ)	WRD	オートアンダーラインワード
L		カーソル位置 (行)	BLD	ボールド
C		カーソル位置 (列)	EXP	エクスパンド
KB	1, 2, 3	キーボード	SP	ワードスペルチェック
IMP	M, H, L	インパクト		

注) 1. ラインスペースセレクトキーのステータスライン上の<L:>について：
テキストファイル登録、変更時ラインスペース<1.5><2.0>でタイプしていたり、1つの文章内にラインスペースの変更があっても、カーソル位置はすべてラインスペース<1.0>に換算して表示します。<L:>のカウントは次のように行います。

ラインスペース データエリアの行数	1.0	1.5	2.0
1	1	1	1
2	2	2	3
3	3	4	5
4	4	5	7
5	5	7	9

2. WPモードでのオペレートについて：
WPモードのオペレートはAUTとJSTの切り換えとなり、<JST:OFF>の場合はAUTモード、<JST:ON>の場合はJSTモードとなります。

3. テキストファイル中のファンクション表示

ファンクション操作を行うと、下記のコードをディスプレイに表示します。

	タブ・デシマルタブ		パラグラフインデント		ライトマージンフラッシュ
	ラインインデント		インデントクリア		パーマネントスペース
	リターン		センタリング		パーマネントハイフン
	スーパースクリプト		タブ間センタリング		
	サブスクリプト				

4. カーソル移動キー

WPモード中のカーソル移動キーは、下記のキーが有効となります。

	カーソルライトキー	カーソルが右方向に移動します。
	カーソルレフトキー	カーソルが左方向に移動します。
	カーソルアップキー	カーソルが前行に移動します。 注) プリンティングモードでは使用できません。
	カーソルダウンキー	カーソルがその次行に移動します。 注) プリンティングモードでは使用できません。
	トップオブラインキー	カーソルがその行頭に移動します。
	エンドオブラインキー	カーソルがその行末に移動します。
	トップオブテキストキー	カーソルがファイルの先頭に移動します。 注) プリンティングモードでは使用できません。
	エンドオブテキストキー	カーソルがファイルの最終位置に移動します。 注) プリンティングモードでは使用できません。
	エクスプレス バックスペースキー	プリンティングモードではトップオブラインキー、ノン プリンティングモードではトップオブテキストキーと同 じはたらきをします。
	リロケートキー	プリンティングモードではエンドオブラインキー、ノン プリンティングモードではエンドオブテキストキーと同 じはたらきをします。

5. ファイルについて

A ファイルの種類

● テキストファイル

任意のテキストファイルネームによってフロッピーディスクに登録することができます。文書・ラインフォーム・ページレイアウト・ヘッダー・フッターが登録でき、その他ファンクションも登録できます。

● フレーズ短縮メモリー

よく使用する文章や単語を任意のフレーズ短縮名によって登録することができます。

B フロッピーディスク容量について

一枚のフロッピーディスクにテキストファイルは112ファイル（フォームタイピングファイル含む）まで登録でき、1つのファイル容量は、約32,000文字です。

C オートセーブ

フロッピーディスクをセットして文章を作成中、約2,000キー以上タイプすると、一時的にフロッピーディスクに登録されます。このときディスプレイに<AUTO SAVING FILE...PLEASE WAIT.>と表示され、キーボードがロックされます。オートセーブ終了後、一度登録されると電源スイッチを<OFF>にしても消去されません。

⚠POWER FAILURE...RECOVER AUTO SAVE FILE?
PRESS RTN OR CANCEL.

登録された文章を使用したいときは、フロッピーディスクをセットしたあとで電源スイッチを<ON>にします。ディスプレイに左記のメッセージが表示されます。リターンキーを押すと登録された文章が表示されます。使用しない場合は、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。

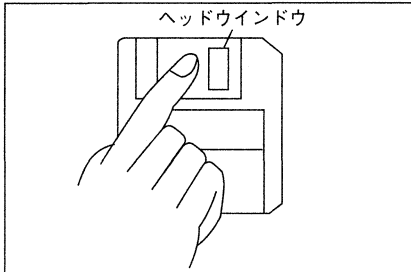
6. フロッピーディスク

3.5型フロッピーディスクを使ってWPモードで作成した文章をフロッピーディスクに記憶・保存することができます。
なお、3.5型フロッピーディスクは5種類ありますが、使用できるのはそのうちの2種類です。フロッピーディスクは当社指定のものをお使いください。

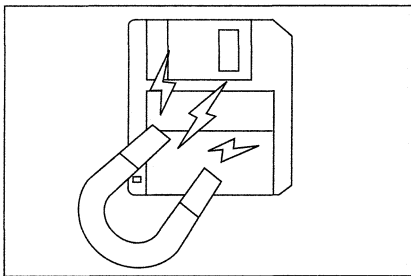
<使用できるフロッピーディスク>
<使用できないフロッピーディスク>

MF-2DD、MF-1DD
MF-2HD、MF-2D、MF-1D

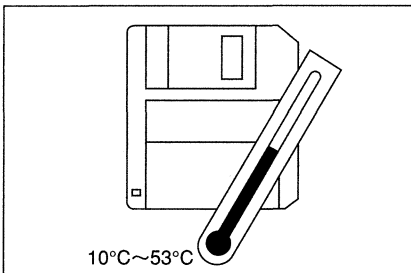
A フロッピーディスク取り扱い上のご注意



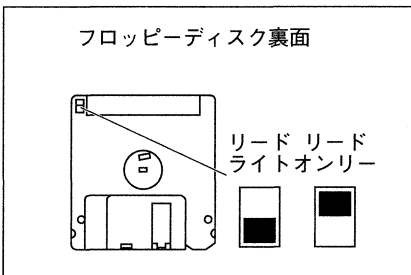
ヘッドウインドウを指でさわらないでください。
汚れや傷がついて誤動作を起こしたり、フロッピーディスクが使用不能になってしまいます。



磁気を帯びたものを近づけないでください。
フロッピーディスク内の文書が破壊されることがあります。



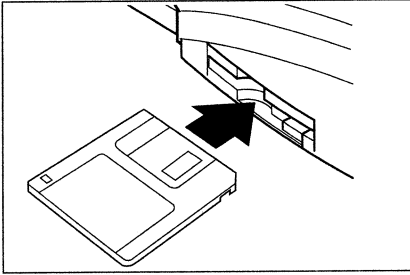
温度が極端に高いところや低いところにフロッピーディスクを保管しないでください。
フロッピーディスクの使用適温は10度から53度です。この範囲外では、フロッピーディスクが変形して、使用不能になることがあります。



フロッピーディスクの裏表を間違えないでください。故障の原因になります。
誤消去防止機構（ライトプロテクト）
フロッピーディスクは、プロテクトをリードオンリー側にする、読み込みしかできなくなります。したがって、誤って文書を消去してしまう心配がなくなります。
あらたに書き込みをする場合は、プロテクトをリードライト側にしてください。

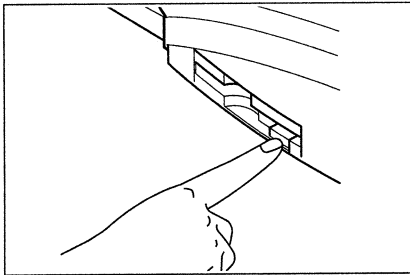
B フロッピーディスクのセットと取り出し

● セット



フロッピーディスクのラベルを上に向け、ヘッドウインドウを先にして挿入します。このときカチッと音がするまで差し込んでください。

● 取り出し



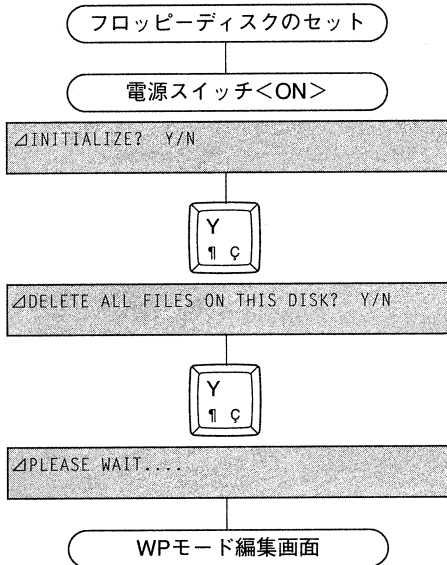
イジェクトボタンを押すと、フロッピーディスクが取り出せます。

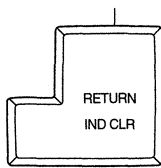
注) フロッピーディスクの動作中にフロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスク内の文書が破壊されることがあります。

C フロッピーディスクの初期化

新しいフロッピーディスクを使用する場合は、初期化が必要です。

1. 電源スイッチを<OFF>にして、フロッピーディスクをセットします。
2. 電源スイッチを<ON>にします。ディスプレイにメッセージ表示されます。
3. 文字キー“Y”を押すと、ディスプレイにメッセージ表示されます。
4. 文字キー“Y”を押すとディスプレイにメッセージ表示されます。フロッピーディスクの初期化が始まります。
5. 初期化を終了するとWPモードの編集画面が表示されます。



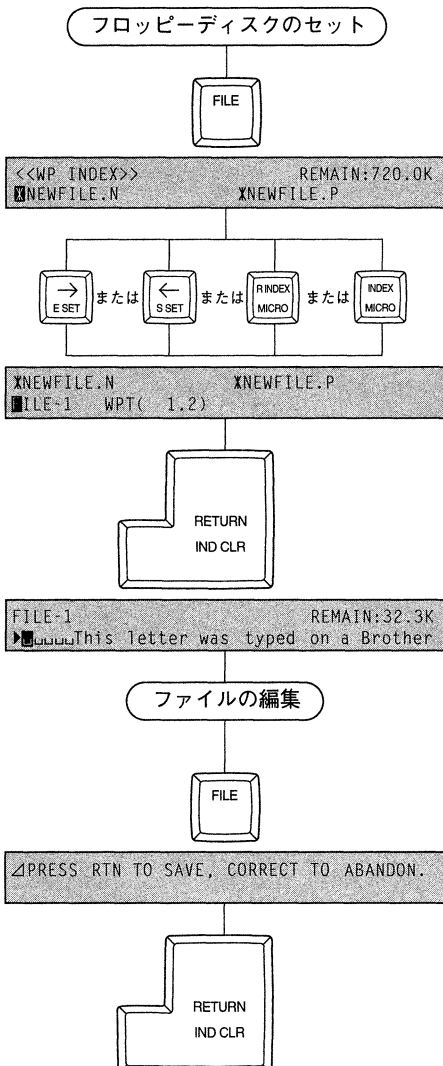


11. リターンキーを押すと、テキストファイルが登録されます。

- 注) 1. すでに登録されている文書と同じファイルネームをタイプしてリターンキーを押すと、ディスプレイに<ΔFILE EXISTS. PRESS RTN TO OVERWRITE.>とメッセージ表示されます。リターンキーを押すと、すでに登録されているファイルに置き換えて登録します。
2. フロッピーディスクがセットされていない場合は、ディスプレイに<ΔINSERT DISK AND PRESS RTN.>とメッセージ表示されます。フロッピーディスクをセットしてリターンキーを押すと登録を開始します。
3. フロッピーディスクのライトプロテクトがリードオンリー側になっている場合は、ディスプレイに<ΔWRITE PROTECTED DISK. MOVE PROTECT TAB, PRESS RTN TO RETRY.>とメッセージ表示されます。フロッピーディスクをリードライト側に合わせてセットし、リターンキーを押すと、登録を開始します。<フロッピーディスク取り扱い上のご注意> (60ページ) 参照
4. フロッピーディスクのファイル数が113個になる場合は、ディスプレイに<ΔTOO MANY FILES ON DISK. INSERT NEW DISK AND PRESS RTN.>とメッセージ表示されます。フロッピーディスクを交換してリターンキーを押すと、登録を開始します。
5. 登録するファイルの容量がフロッピーディスクの残容量を越える場合は、ディスプレイに<ΔDISK FULL. INSERT NEW DISK AND PRESS RTN.>とメッセージ表示されます。フロッピーディスクを交換してリターンキーを押すと、登録を開始します。

B テキストファイルの編集

登録済みのテキストファイルの内容を編集します。



1. フロッピーディスクをセットします。
2. ファイルキーを押して、WPインデックス画面を表示させます。
3. カーソル移動キーを押して、編集したいテキストファイルネームにカーソルを移動させます。
4. リターンキーを押すと、登録されているテキストファイルが呼び出されます。
5. カーソル移動キーを押して、編集したい位置にカーソルを移動させ、テキストファイルの編集を行います。<カーソル移動キー> (58ページ) 参照
6. ファイルキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
7. リターンキーを押すとテキストファイルが登録されます。

C テキストファイルのコピー

テキストファイルを編集するとき、もとのファイルを残しておきたい場合はファイルコピーをします。

1. ファイルキーを押して、WPインデックス画面を表示させます。

2. カーソル移動キーを押して、コピーしたいテキストファイルネームにカーソルを移動させます。

3. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

4. 数字キー“1”を押して、<COPY>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

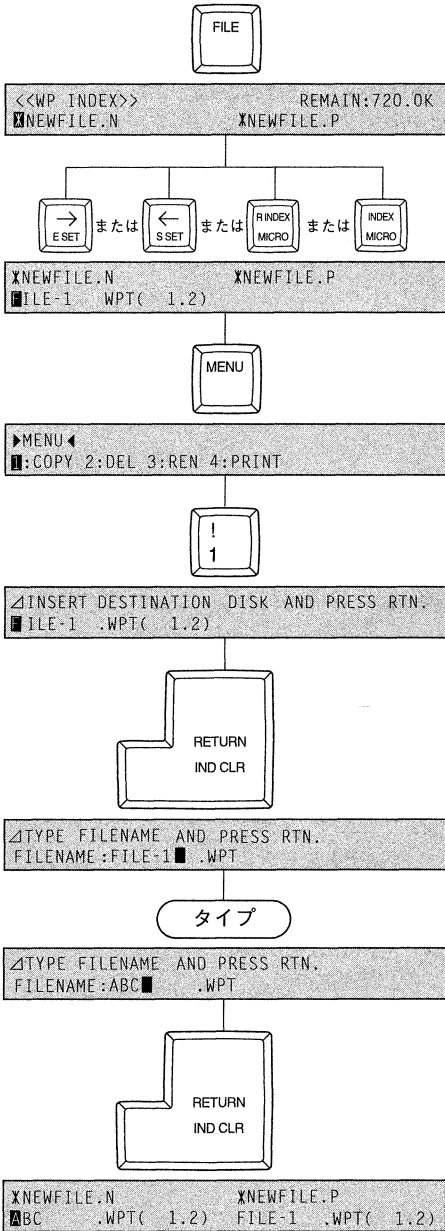
注) 別のフロッピーディスクにコピーしたいときは、フロッピーディスクを入れ替えます。

5. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

6. テキストファイルネームをタイプします。
アルファベット・数字・ハイフンが使用できます。

注) ファイルネームの文字数は最大8文字です。

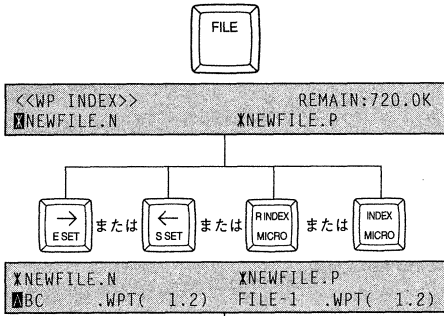
7. リターンキーを押すと、指定したテキストファイルがコピーされます。



D テキストファイルの消去

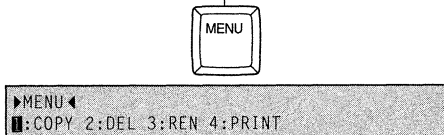
登録済みのテキストファイルを消去します。

1. ファイルキーを押して、WPインデックス画面を表示させます。

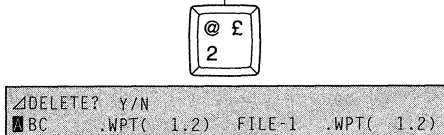


2. カーソル移動キーを押して、消去したいテキストファイルネームにカーソルを移動させます。

3. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

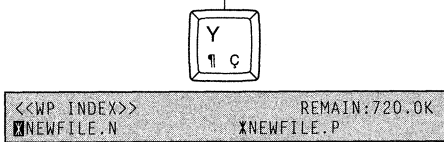


4. 数字キー“2”を押して、を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。



5. 文字キー“Y”を押すと、指定したテキストファイルが消去されます。

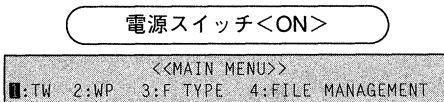
注) 消去を中止したい場合は文字キー“N”を押します。



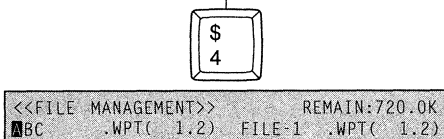
● テキストファイルの全消去

フロッピーディスクに登録されている、テキストファイルやユーザー辞書など、すべての内容を消去できます。

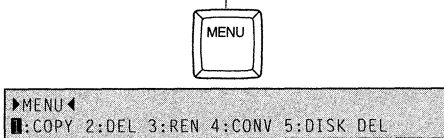
1. 電源スイッチを<ON>にするとディスプレイにメインメニュー画面が表示されます。

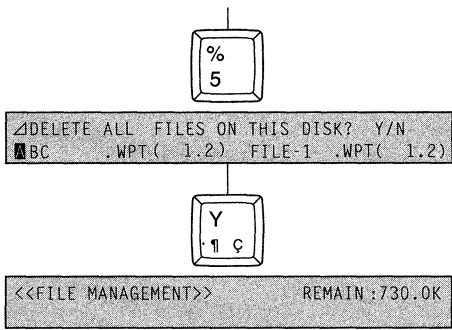


2. 数字キー“4”を押して、<FILE MANAGEMENT>を選択します。ディスプレイにファイルマネジメント画面が表示されます。



3. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。





4. 数字キー“5”を押して、<DISK DEL>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

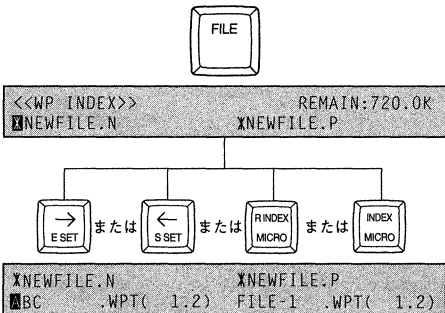
5. 文字キー“Y”を押すと、フロッピーディスクに登録されている全ファイルが消去されます。

注) 消去を中止したい場合は文字キー“N”を押します。

E テキストファイルのリネーム

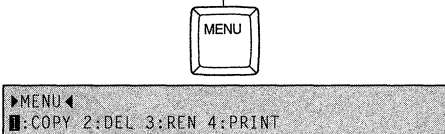
登録済みのテキストファイル名を変更することができます。

1. ファイルキーを押してWPインデックス画面を表示させます。

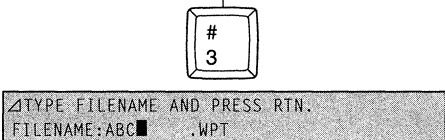


2. カーソル移動キーを押して、リネームしたいテキストファイル名にカーソルを移動させます。

3. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

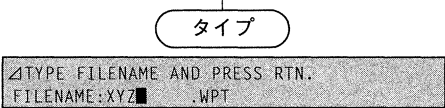


4. 数字キー“3”を押して、<REN>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。



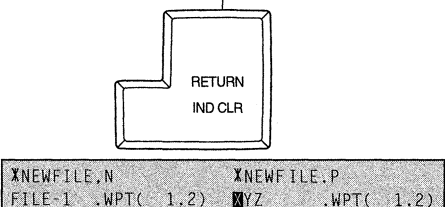
5. 新しいテキストファイル名をタイプします。
アルファベット・数字・ハイフンが使用できます。

注) ファイル名の文字数は最大8文字です。



6. リターンキーを押すと、テキストファイル名が置き換わります。

注) フロッピーディスク内に同じテキストファイル名がすでに登録されている場合は、ディスプレイに<FILENAME ALREADY EXIST.>とメッセージ表示されます。テキストファイル名をタイプし直します。



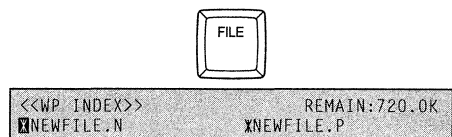
F テキストファイルの打ち出し

テキストファイル編集中にそのページを打ち出したり登録したあとで文書全体を打ち出したりすることができます。

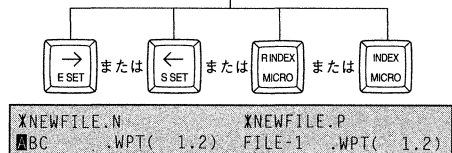
(1) ファイルプリント

登録したファイルを打ち出します。何ページにもわたっているテキストファイルの場合は、全ページの打ち出しから、指定ページの打ち出し、打ち出し部数の実施などが設定できます。

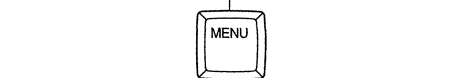
1. ファイルキーを押して、WPインデックス画面を表示させます。



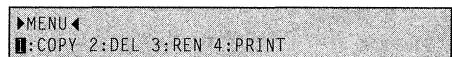
2. カーソル移動キーを押して、打ち出したいテキストファイルにカーソルを移動させます。



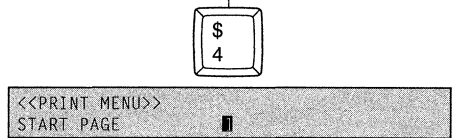
3. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。



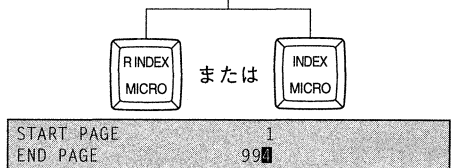
4. 数字キー“4”を押して、<PRINT>を選択します。ディスプレイにプリントメニューが表示されます。



5. カーソルアップキーまたはカーソルダウンキーを押して、設定したい項目にカーソルを移動させます。



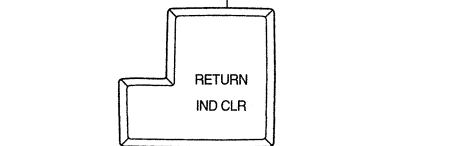
6. 数字キーを押して、設定範囲を変更します。



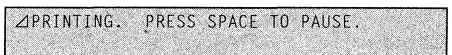
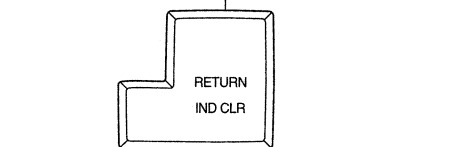
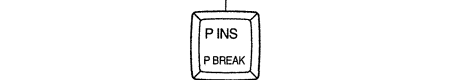
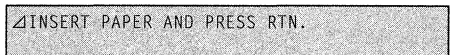
7. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージが表示されます。



8. ペーパーインサートキーを押して、用紙を挿入します。

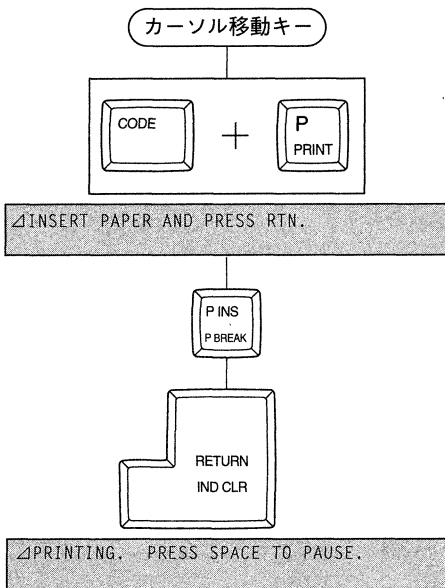


9. リターンキーを押すと、打ち出しを開始します。1ページ目の打ち出しが終わると、ディスプレイに<INSERT PAPER AND PRESS RTN.>とメッセージ表示されます。ペーパーインサートキーを押して用紙を挿入し、リターンキーを押すと2ページ目の打ち出しを開始します。



(2) ページプリント

テキストファイル編集に、カーソルのあるページを打ち出しすることができます。

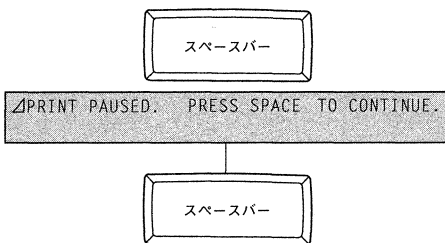


1. テキストファイル編集中にカーソル移動キーを押して、打ち出したいページにカーソルを移動させます。〈カーソル移動キー〉(58ページ) 参照
 2. コードキーを押したまま、プリントキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
 3. ペーパーインサートキーを押して用紙を挿入します。〈用紙の挿入〉(4ページ) 参照
 4. リターンキーを押すと、打ち出しを開始します。
- 注) 1. 初めて打ち出しするときは、ディスプレイに〈CHANGE TO KB:X XX WHEEL AND PRESS RTN.〉とメッセージ表示されます。再びリターンキーを押すと、打ち出しを開始します。
2. 打ち出し中にコードキーを押したままキャンセルキーを押すと、打ち出しを中止します。

● プリントメニュー設定項目

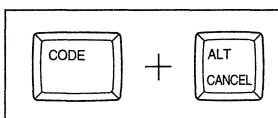
設定項目	内容	初期設定	設定範囲	設定使用キー
START PAGE	打ち出し開始ページ	1ページ	1~999ページ	数字キー
END PAGE	打ち出し終了ページ	999ページ	1~999ページ	
NUMBER OF COPIES	打ち出し部数	1部	1~99部	
HEADER PRINT	ヘッダーの打ち出し	YES	YES: 打ち出しする NO: 打ち出ししない	スペースバー
FOOTER PRINT	フッターの打ち出し	YES	YES: 打ち出しする NO: 打ち出ししない	
PAUSE FOR KB CHANGE	キーボードセレクトキーの切り替え位置での打ち出しの中断	YES	YES: 中断する NO: 中断しない	
FORM FEED	打ち出し終了後の用紙の自動排出	AUTO	AUTO: 自動排出する MANUAL: 自動排出せず 打ち出し終了時の位置で終了する	

● 打ち出しの中断



1. テキストファイルの打ち出し中、打ち出しを中断したいときは、スペースバーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
2. 打ち出しを再開するときは、もう一度スペースバーを押します。打ち出しが再開されます。

● 打ち出しの中止



テキストファイルの打ち出し中、打ち出しを中止したいときは、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。WPインデックス画面が表示されます。

8. フレーズ短縮メモリー

よく使うフレーズや長い単語は、頭文字などに短縮して記憶させておくで頭文字をタイプしただけで、フレーズや単語を印字することができ便利です。

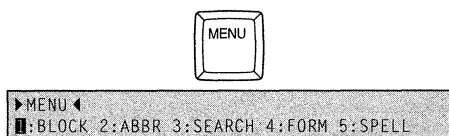
29文字平均の単語またはフレーズ（フレーズ短縮名含む）を最大30個まで登録できます。

- 注) 1. 本体メモリー内のフレーズ短縮メモリーはバックアップされます。必要に応じてフロッピーディスクに保存するようにしてください。
2. 1つのフロッピーディスクの登録できるフレーズ短縮メモリーは1つです。すでにフレーズ短縮メモリーが登録してあるフロッピーディスクに、あらたにフレーズ短縮メモリーを登録すると、前にあったフレーズ短縮メモリーは新しい内容に書き替えられます。また、本体メモリー内にフレーズ短縮メモリーを作成したあとで、フロッピーディスクからフレーズ短縮メモリーを読み込むと、本体メモリー内のフレーズ短縮メモリーは読み込まれた内容に書き替えられます。

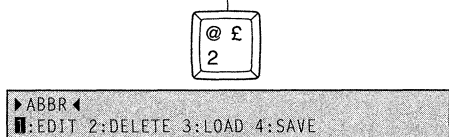
A フレーズ短縮メモリーの登録

例 “United States of America” というフレーズを “U.S.A.” というフレーズ短縮名で登録します。

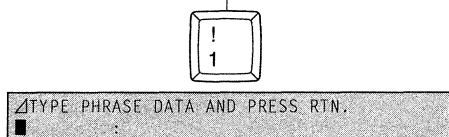
1. テキストファイル編集画面で、メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。



2. 数字キー “2” を押して、<ABBR> を選択します。

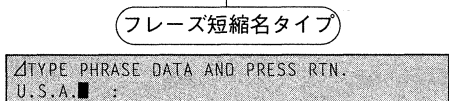


3. 数字キー “1” を押して、<EDIT> を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

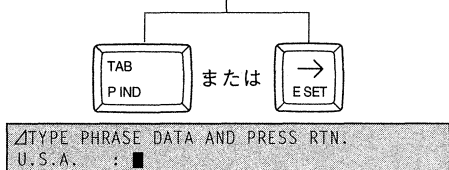


注) すでにフレーズ短縮メモリーが登録されている場合は <EDIT AND PRESS RTN.> とメッセージ表示され、すでに登録されているフレーズ短縮メモリーが表示されます。コードキーを押したまま、カーソルダウンキーを押すと、新規データ入力画面が表示されません。

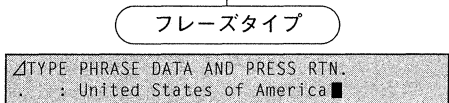
4. フレーズ短縮名入力ゾーンにフレーズ短縮名 “U.S.A.” をタイプします。フレーズ短縮名には、文字・数字・ピリオドが使用できます。



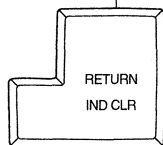
5. タブキーまたはカーソルライトキーを押して、カーソルをフレーズ入力ゾーンに移動させます。



6. フレーズ “United States of America” をタイプします。



7. リターンキーを押すと、フレーズ短縮メモリーを登録し、テキストファイル編集画面にもどります。

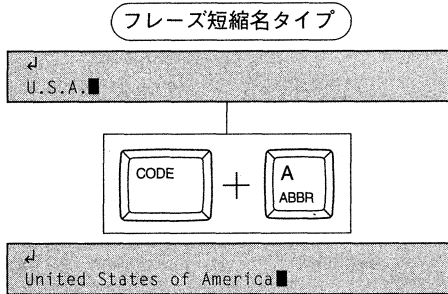


注) フレーズ短縮メモリーは、最高30個まで登録できます。また、フレーズ短縮名は8文字以内、1つのフレーズに最大67文字まで登録できます。

B フレーズ短縮メモリーの呼び出し

例 “U.S.A.” とタイプして “United States of America” を呼び出します。

1. テキストファイル編集画面で、登録したフレーズ短縮メモリーを呼び出したい位置で、フレーズ短縮名 “U.S.A.” をタイプします。
注) フレーズ短縮名は大文字・小文字の区別をしますので、登録してあるとおりにタイプします。
2. コードキーを押したままアプリケーションキーを押します。
“U.S.A.” が “United States of America” に変わります。



C フレーズ短縮メモリーの消去

1. テキストファイル編集画面で、メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
2. 数字キー “2” を押して、<ABBR> を選択します。

3. 数字キー “2” を押して、<DELETE> を選択します。

4. 数字キー “1” を押して、<DEL ONE> を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

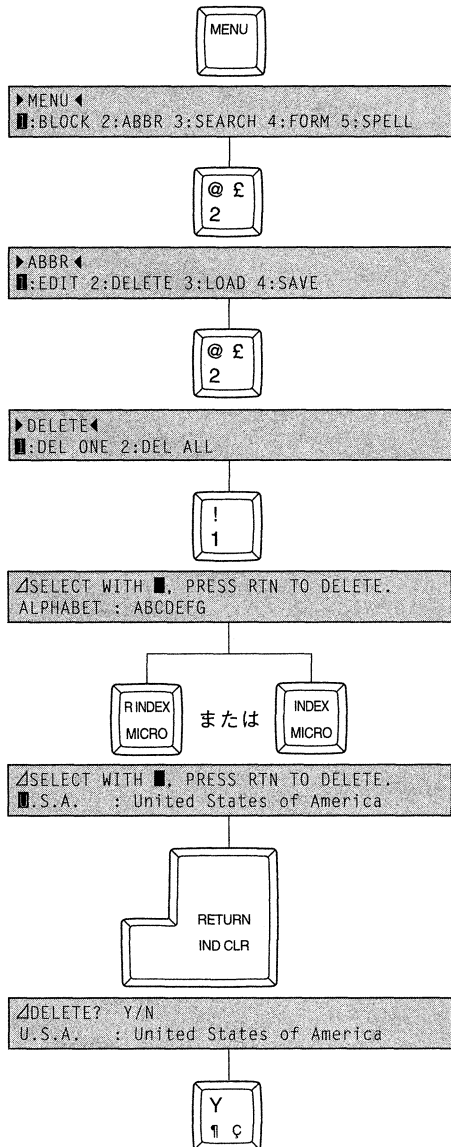
注) 全てのフレーズ短縮メモリーを消去したいときは数字キー “2” を押して、<DEL ALL> を選択します。

5. カーソルアップキーまたはカーソルダウンキーを押して、消去したいフレーズ短縮名にカーソルを移動させます。

6. リターンキーを押すと、ディスプレイにメッセージ表示されます。

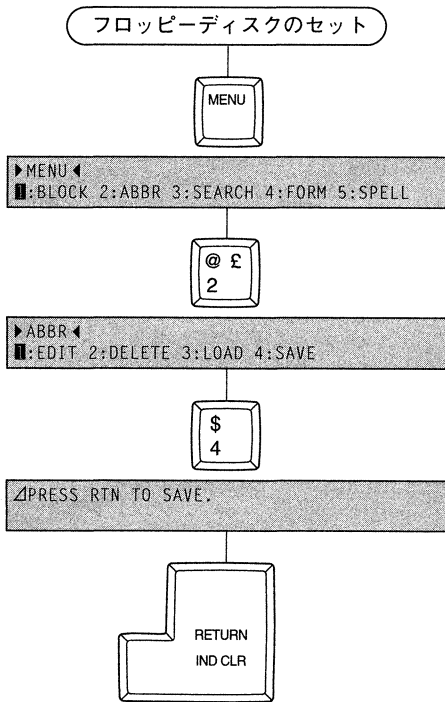
7. 文字キー “Y” を押すと、フレーズ短縮メモリーが消去され、テキストファイル編集画面にもどります。

注) 文字キー “N” を押すと、フレーズ短縮メモリーの消去がキャンセルされます。



D フレーズ短縮メモリのフロッピーディスクへの登録

本体メモリー内のフレーズ短縮メモリーは、バックアップされます。
本体メモリー内のフレーズ短縮メモリーは必要に応じてフロッピーディスクに登録します。



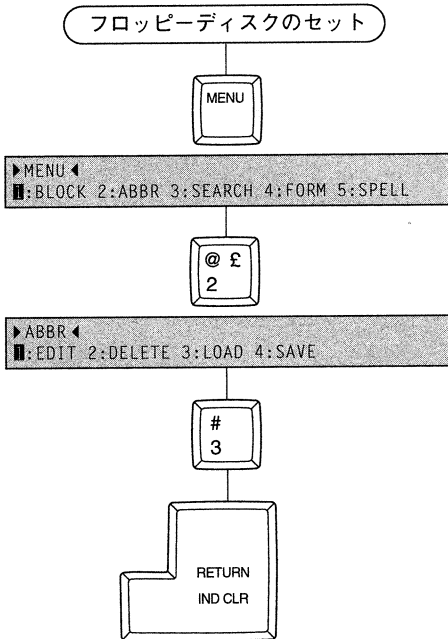
1. フロッピーディスクをセットします。
2. テキストファイル編集画面で、メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
3. 数字キー“2”を押して、<ABBR>を選択します。
4. 数字キー“4”を押して、<SAVE>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
5. リターンキーを押すと、フロッピーディスクに登録されます。

注) 一枚のフロッピーディスクに持てるフレーズ短縮メモリーは1つです。すでにフレーズ短縮メモリーが登録されているフロッピーディスクに登録しようとする、電子音が鳴りディスプレイに<△PHRASE MEMORY FILE ALREADY EXISTS. PRESS RTN TO OVERWRITE.>とメッセージ表示されます。リターンキーを押すと新しいフレーズ短縮メモリーに書き替われます。中止したいときはコードキーを押したままキャンセルキーを押します。

E フレーズ短縮メモリーの読み込み

フレーズ短縮メモリーを使って文書を作成する場合、フロッピーディスクに入っているフレーズ短縮メモリーを本体メモリーに読み込ませます。

1. フロッピーディスクをセットします。
2. テキストファイル編集画面で、メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
3. 数字キー“2”を押して、<ABBR>を選択します。
4. 数字キー“3”を押して、<LOAD>を選択します。
5. リターンキーを押すと、フロッピーディスクから読み込みます。



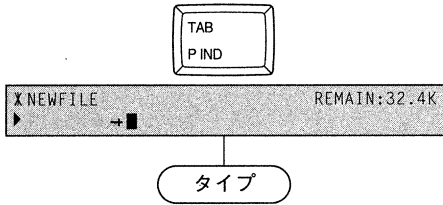
- 注) 1. 本体メモリー内にすでにフレーズ短縮メモリーがあるときに読み込もうとすると、電子音が鳴りディスプレイには<∠PHRASE MEMORY FILE ALREADY EXISTS. PRESS RTN TO OVERWRITE.>とメッセージ表示されます。リターンキーを押すと、新しいフレーズ短縮メモリーに置き換えられます。中止したいときは、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。
2. フロッピーディスク内にフレーズ短縮メモリーが存在しないときは、<∠INSERT DISK WITH ABBREVIATED PHRASE AND PRESS RTN.>とメッセージ表示されます。

1. タブ <TAB>

● タブの実施

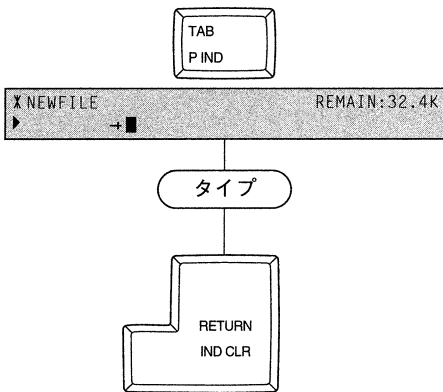
<NEWFILE.N>の場合

1. タブキーを押すと、ディスプレイにタブコード<+>が表示されます。
2. 文章をタイプします。



<NEWFILE.P>の場合

1. タブキーを押すと、キャリヤはすぐ右のタブ設定位置まで移動します。ディスプレイにタブコード<+>が表示されます。
2. 文章をタイプします。タイプした文章はディスプレイに表示され、タイプするたびにキャリヤは右に1文字ずつ移動します。
3. リターンキーを押します。タイプした文字が印字されます。



2. デシマルタブ <D TAB>

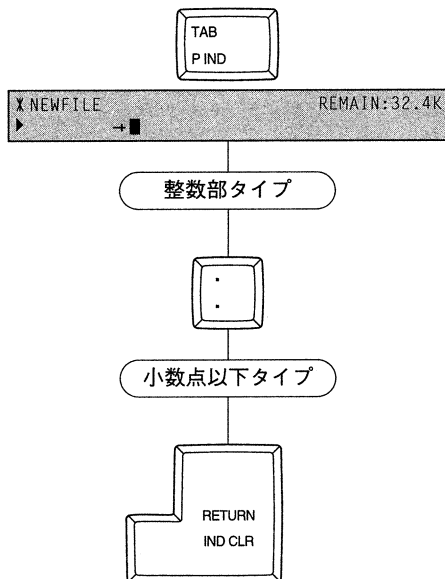
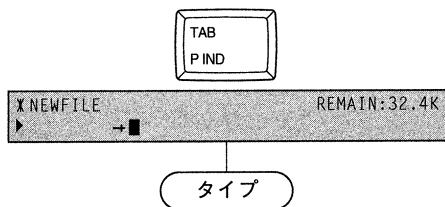
● デシマルタブの実施

<NEWFILE.N>の場合

1. タブキーを押すと、ディスプレイにタブコード<+>が表示されます。
2. 数字（文字も含む）をタイプします。

<NEWFILE.P>の場合

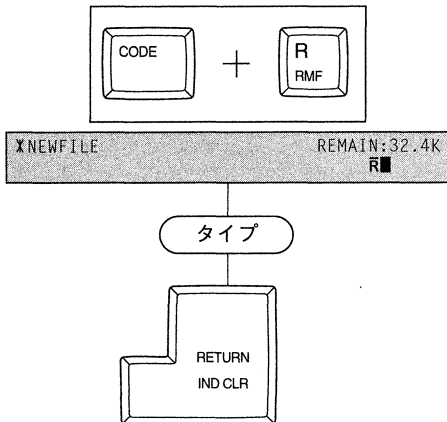
1. タブキーを押すと、キャリヤはすぐ右のデシマルタブ位置まで移動します。ディスプレイにタブコード<+>が表示されます。
2. 整数部（文字を含む）をタイプします。タイプした文字はディスプレイに表示され、タイプするたびにキャリヤは左に1文字ずつ移動します。
3. 小数点をタイプします。キャリヤはデシマルタブの設定位置より1文字分右に移動します。
4. 小数点以下をタイプします。タイプした文字はディスプレイに表示されます。タイプするたびにキャリヤは右に1文字ずつ移動します。
5. リターンキーを押します。タイプした文字が印字されます。



3. ライトマージンフラッシュキー <RMF>

A ライトマージンフラッシュの設定

<NEWFILE.N>の場合

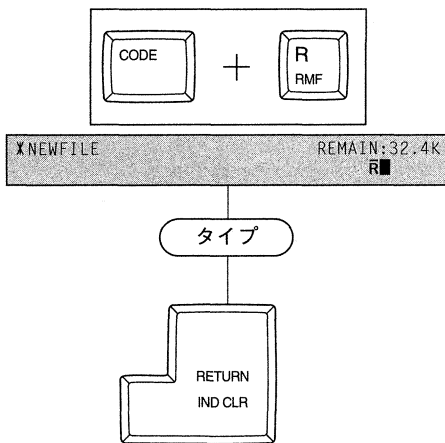


1. コードキーを押したままライトマージンフラッシュキーを押します。カーソルは右マージンまで移動して、ディスプレイにライトマージンフラッシュコード < R > が表示されます。

2. 文章をタイプします。

3. リターンキーを押します。

<NEWFILE.P>の場合



1. コードキーを押したままライトマージンフラッシュキーを押します。キャリヤは右マージンまで移動して、ディスプレイにライトマージンフラッシュコード < R > が表示されます。

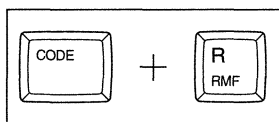
2. 文章をタイプします。タイプした文章はディスプレイに表示され、タイプするたびにキャリヤは左に1文字ずつ移動します。

3. リターンキーを押します。タイプした文字が印字されます。

注) タイプ中に電子音が鳴った時は、すでにタイプ済みの隣りの文字との間隔が1文字しかない時です。これ以上タイプできません。

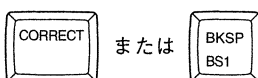
● ライトマージンフラッシュコード < R > の挿入 (<NEWFILE.P> では使用できません。)

ライトマージンフラッシュコードを挿入したい位置で、コードキーを押したままライトマージンフラッシュキーを押します。カーソル以降の文章が右マージンまで移動し、その先頭にライトマージンフラッシュコード < R > が表示されます。

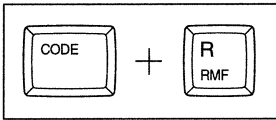


● ライトマージンフラッシュコード < R > の削除 (<NEWFILE.P> では使用できません。)

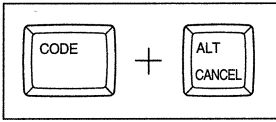
削除したいライトマージンフラッシュコード < R > の次の位置でコレクションキーまたはバックスペースキーを押します。ライトマージンフラッシュコード < R > が削除されます。カーソル以降の文章が左に移動します。



B ライトマージンフラッシュの解除



または



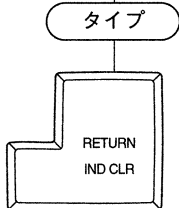
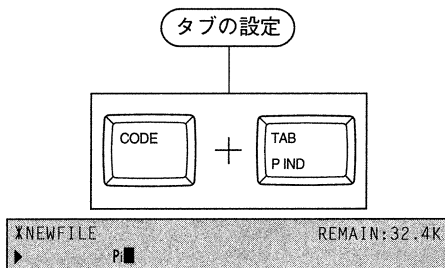
コードキーを押したままライトマージンフラッシュキー、またはコードキーを押したままキャンセルキーを押します。ライトマージンフラッシュモードは解除されません。

4. パラグラフインデントキー <P IND>

A パラグラフインデントの設定

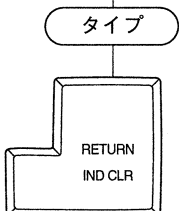
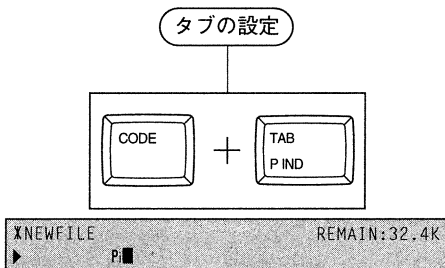
<NEWFILE.N>の場合

1. あらかじめパラグラフインデントを実施したい位置に、タブを設定しておきます。<タブの設定> (30ページ) 参照
2. コードキーを押したままパラグラフインデントキーを押します。カーソルは1.で設定したタブ位置まで移動し、ディスプレイにパラグラフインデントコード <P_i>が表示されます。(デシマルタブは無視します。) この位置が仮の左マージンになります。
3. 文章をタイプします。タイプした文章はディスプレイに表示されます。
4. リターンキーを押します。以後、改行動作が行われるたびに、カーソルは自動的にパラグラフインデントの設定位置に移動します。



<NEWFILE.P>の場合

1. あらかじめパラグラフインデントを実施したい位置に、タブを設定しておきます。<タブの設定> (30ページ) 参照
2. コードキーを押したままパラグラフインデントキーを押します。キャリヤは1.で設定したタブ位置まで移動し、ディスプレイにパラグラフインデントコード <P_i>が表示されます。(デシマルタブは無視します。) この位置が仮の左マージンになります。
3. 文章をタイプします。タイプした文章はディスプレイに表示されます。
4. リターンキーを押します。タイプした文字が印字され、以後改行動作が行われるたびに、キャリヤは自動的にパラグラフインデントの設定位置に移動します。



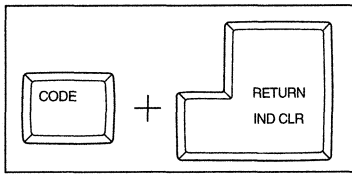
注) 1. パラグラフインデントを実施する場合は、必ずタブを設定しておいてください。タブがいくつも設定してあるときは、現在のカーソルのすぐ右のタブ位置がパラグラフインデントの設定位置になります。

2. ホットゾーン内では設定できません。

76 3. パラグラフインデント中、アルトキーを押すと、ディスプレイに<PIND>を表示します。

B パラグラフインデントの解除

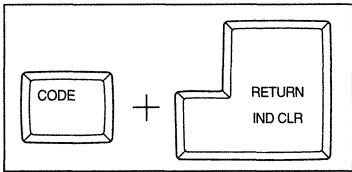
<NEWFILE.N>の場合



ith the Paragraph Indent function.↓

コードキーを押したままインデントクリアキーを押します。行末にインデントクリアコード<↓>が表示され、改行し、カーソルが左マージンまで移動します。

<NEWFILE.P>の場合



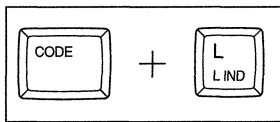
ith the Paragraph Indent function.↓

コードキーを押したままインデントクリアキーを押します。ディスプレイに表示されている文字が印字され行末にインデントクリアコード<↓>が表示されカーソルが左マージンまで移動します。

- 注) 1. パラグラフインデントが解除されると、アルトキーを押したとき、ディスプレイの<PIND>は消えます。
2. パラグラフインデントコード<pi>やインデントクリアコード<↓>を削除するには、削除したいコードの次の位置にカーソルを移動させ、コレクションキーまたはバックスペースキーを押すと削除されます。

5. ラインインデントキー <L IND>

<NEWFILE.N>の場合



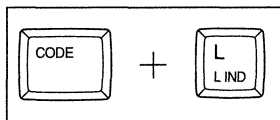
NEWFILE REMAIN:32.4K
▶■■■■■

タイプ

1. コードキーを押したままラインインデントキーを押します。カーソルは5文字分右に移動し、ディスプレイにラインインデントコード<■■■■■>が表示されます。

2. 文章をタイプします。

<NEWFILE.P>の場合



NEWFILE REMAIN:32.4K
▶■■■■■

タイプ

1. コードキーを押したままラインインデントキーを押します。キャリヤは5文字分右に移動し、ディスプレイにラインインデントコード<■■■■■>が表示されます。

2. 文章をタイプします。

6. センタリング <CTR>

A マージン間のセンタリング

<NEWFILE.N>の場合

1. コードキーを押したままセンタリングキーを押します。カーソルはマージン間の中央まで移動し、ディスプレイにマージン間センタリングコード< c >が表示されます。

2. 文章をタイプします。タイプした文章はディスプレイに表示され、1文字おきに左へ移動します。

注) タイプした文字を削除したいときコレクションキーまたはバックスペースキーを押します。

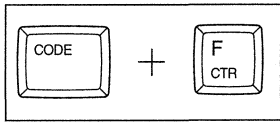
3. リターンキーを押します。

<NEWFILE.P>の場合

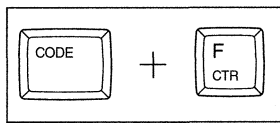
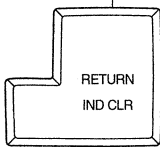
1. コードキーを押したままセンタリングキーを押します。キャリヤはマージン間の中央まで移動し、ディスプレイにマージン間センタリングコード< c >が表示されます。

2. 文章をタイプします。タイプした文章はディスプレイに表示され、タイプするたびにキャリヤは1/2文字分ずつ左へ移動します。

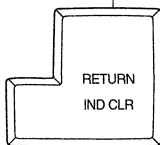
3. リターンキーを押します。タイプした文字が印字されます。



タイプ

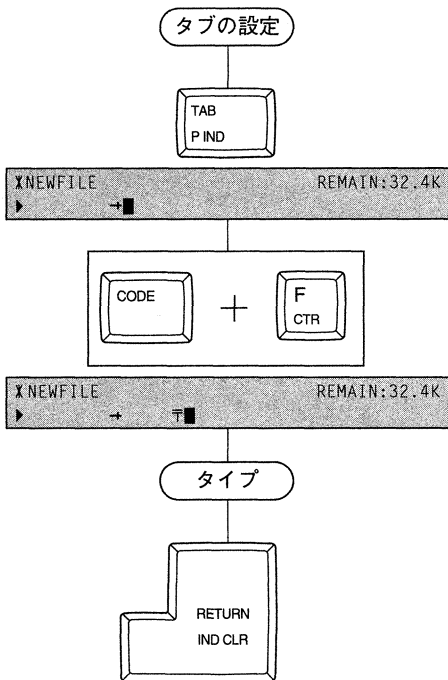


タイプ



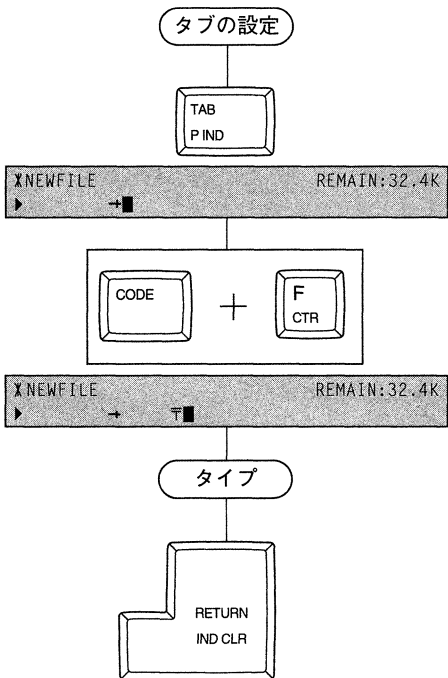
B タブ間のセンタリング

<NEWFILE.N>の場合



1. あらかじめタブ間のセンタリングを行いたい位置にタブを設定しておきます。
<タブの設定> (30ページ) 参照
 2. タブキーを押して、カーソルをタブ位置まで移動させます。ディスプレイにタブコード<▮>が表示されます。
 3. コードキーを押したままセンタリングキーを押します。カーソルはタブ間の中央まで移動し、ディスプレイにタブ間センタリングコード<〒>が表示されます。
 4. 文章をタイプします。タイプした文章はディスプレイに表示され、1文字おきに左へ移動します。
 5. リターンキーを押します。
- 注) タブキーを押して、センタリングコードを終了することもできます。カーソルは次のタブ位置まで移動します。

<NEWFILE.P>の場合

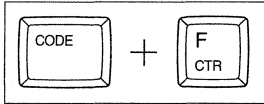


1. あらかじめタブ間のセンタリングを行いたい位置にタブを設定しておきます。
<タブの設定> (30ページ) 参照
 2. タブキーを押して、キャリヤをタブ位置まで移動させます。ディスプレイにタブコード<▮>が表示されます。
 3. コードキーを押したままセンタリングキーを押します。キャリヤはタブ間の中央まで移動し、ディスプレイにタブ間センタリングコード<〒>が表示されます。
 4. 文章をタイプします。タイプした文章はディスプレイに表示され、タイプするたびにキャリヤは左に1/2文字ずつ移動します。
 5. リターンキーを押します。タイプした文字が印字されます。
- 注) タブキーを押して、センタリングコードを終了することもできます。カーソルは次のタブ位置まで移動します。

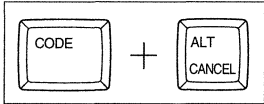
- 注) 1. デシマルタブの設定位置にカーソルがあるときはセンタリングできません。
2. カーソルより右側にタブを設定していないときは、右マージンとの中央にカーソルが移動します。

C センタリングの解除

<NEWFILE.N>の場合

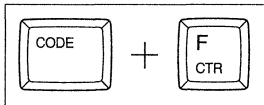


または

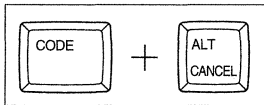


コードキーを押したままセンタリングキー、またはコードキーを押したままキャンセルキーを押します。マージン間センタリングコード<☐>、またはタブ間センタリングコード<〒>が削除されます。

<NEWFILE.P>の場合



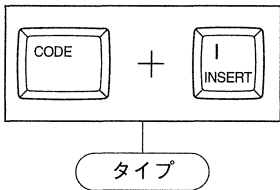
または



コードキーを押したままセンタリングキー、またはコードキーを押したままキャンセルキーを押します。キャリヤが左マージンまたはタブ位置まで移動し、マージン間センタリングコード<☐>、またはタブ間センタリングコード<〒>が削除されます。

7. インサートキー <INSERT>

文章中に単語や文章を挿入することができます。

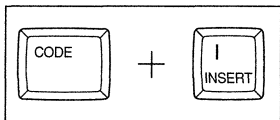


A インサートモードの設定

1. コードキーを押したままインサートキーを押します。カーソルの表示は<■>から<☐>へと変わります。
2. 文字をタイプすると、カーソル右側の文章が右に移動し、あらたにタイプした文字を挿入します。

B インサートモードの解除

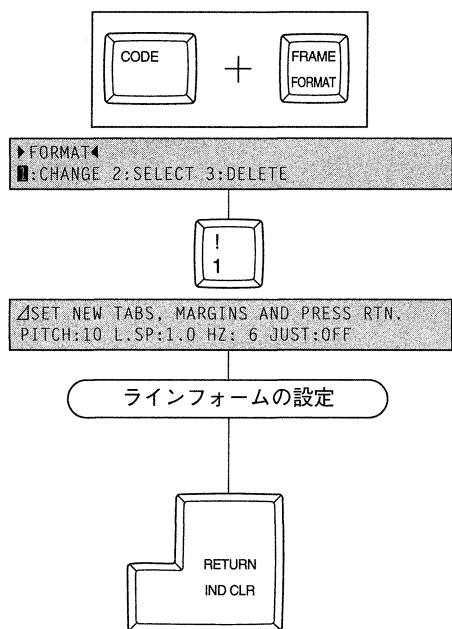
もう一度、コードキーを押したままインサートキーを押します。カーソルの表示は<☐>から<■>へもどります。



注) カーソルが<■>のときは、タイプするとカーソルの前に文字が挿入されます。
カーソルが<☐>のときは、カーソルの文字が置き換えられます。

8. テキストファイル中のラインフォームの変更

テキストファイル登録、編集中にラインフォームを変更することができます。

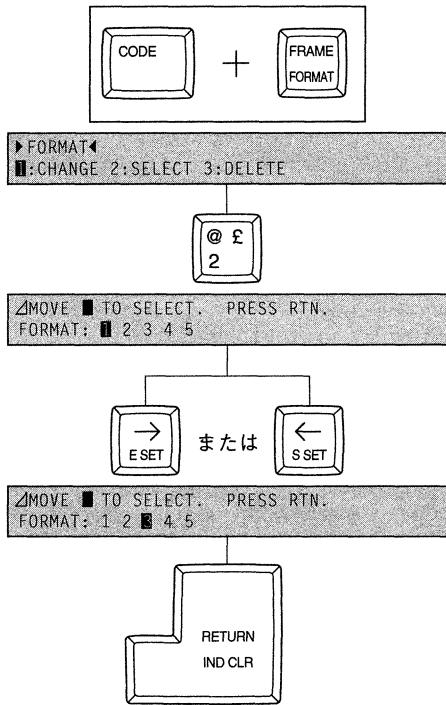


1. ラインフォームを変更したい位置で、コードキーを押したままフォーマットキーを押して、フォーマット画面を表示させます。
2. 数字キー“1”を押して、<CHANGE>を選択します。キャリヤは左マージンまで移動し、ディスプレイにメッセージ表示されます。
3. ラインフォームを設定します。ピッチ、ラインスペース、左マージン、右マージン、タブ、デシマルタブ、オペレートが設定できます。
4. リターンキーを押すと、新しいラインフォームがセットされ、ディスプレイはもとにもどります。キャリヤは新しい左マージン位置に移動し、新しいラインフォームが設定された行のデッドカラムにはフォーマットコード (▶) が表示されます。

- 注) 1. カーソルが左マージン位置にないときは、ラインフォームの変更はできません。
2. カーソル位置以降にタイプした文章がある場合は、次のフォーマットコード (▶) の前行までを変更します。
 3. 1つのテキストファイルに最大100個のフォーマットコード (▶) を登録することができます。

9. テキストファイル中のラインフォーマットの呼び出し

テキストファイル登録、編集中にTWモードで登録したラインフォーマットを呼び出すことができます。

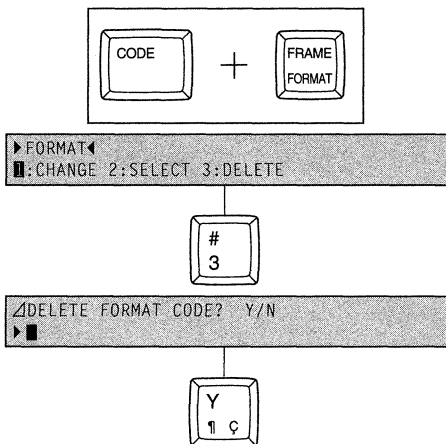


1. ラインフォーマットを呼び出したい行頭にカーソルを移動させ、コードキーを押したままフォーマットキーを押します。ディスプレイにはフォーマット画面が表示されます。
2. 数字キー“2”を押して、<SELECT>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
3. カーソルライトキーまたはカーソルレフトキーを押して、呼び出したいフォーマットナンバーにカーソルを移動させます。
4. リターンキーを押します。ディスプレイにフォーマットコード(▶)が表示され、カーソルは新しい左マージン位置へ移動します。

- 注) 1. フォーマットナンバー<1~5>はTWモードで登録されたフォーマットナンバーを示します。
2. カーソルが左マージン位置にないときは、ラインフォーマットの呼び出しはできません。

10. テキストファイル中のフォーマットコードの消去

テキストファイル編集中にフォーマットコードを消去することができます。



1. 消去したいフォーマットコード(▶)の行頭にカーソルを移動させ、コードキーを押したままフォーマットキーを押します。ディスプレイにフォーマット画面が表示されます。
 2. 数字キー“3”を押して、<DELETE>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。ディスプレイの下行には対象となる文章を行頭から表示します。
 3. 文字キー“Y”を押すと、フォーマットコード(▶)が消去され、ディスプレイはテキストファイル編集画面にもどります。
- 注) 文字キー“N”を押すと、フォーマットコード(▶)の消去がキャンセルされます。

- 注) カーソルが左マージン位置にないときは、フォーマットコードの消去はできません。

11. ブロック

テキストファイル内の文章の一部をブロック指定して、複写（コピー）・消去（デリート）・移動（ムーブ）することができます。

A ブロックコピー

ファイル中のブロック指定した文章を、他の位置に複写します。

1. カーソル移動キーを押して、ブロック指定したい最初の位置にカーソルを移動させます。

2. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

3. 数字キー“1”を押して、<BLOCK>を選択します。

4. 数字キー“1”を押して、<COPY>を選択します。

5. カーソル移動キーを押して、ブロックコピーしたい範囲を指定します。ブロック指定された範囲は、あみがけで点滅表示されます。

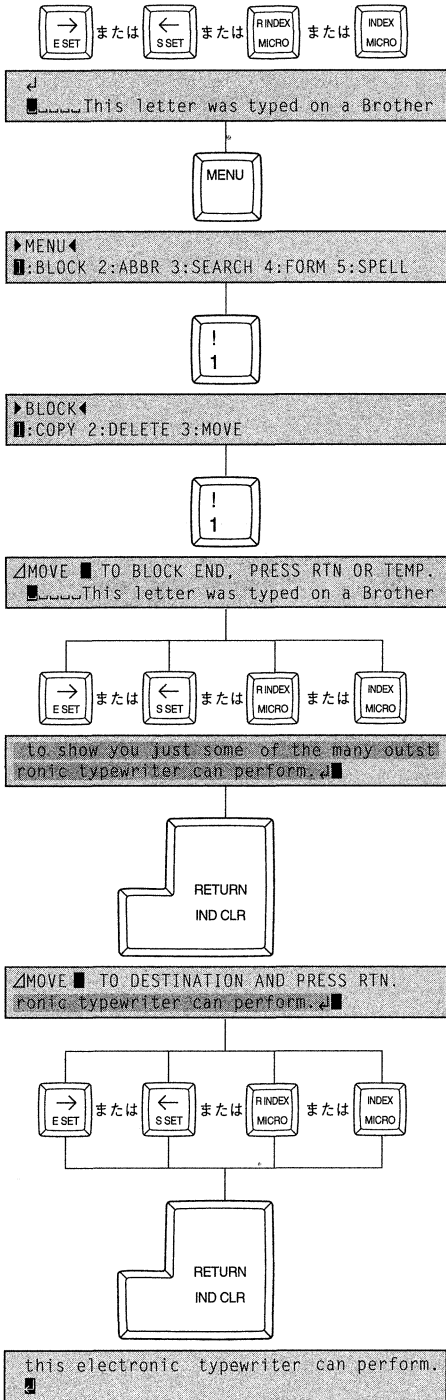
注)途中で中止したいときは、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。

6. リターンキーを押してブロックコピーする範囲を確定します。

7. カーソル移動キーを押して、コピーしたい位置へカーソルを移動させます。

注)ブロック指定範囲内にブロックコピーはできません。

8. リターンキーを押すと、カーソルの直前にブロック指定した文章が挿入されます。

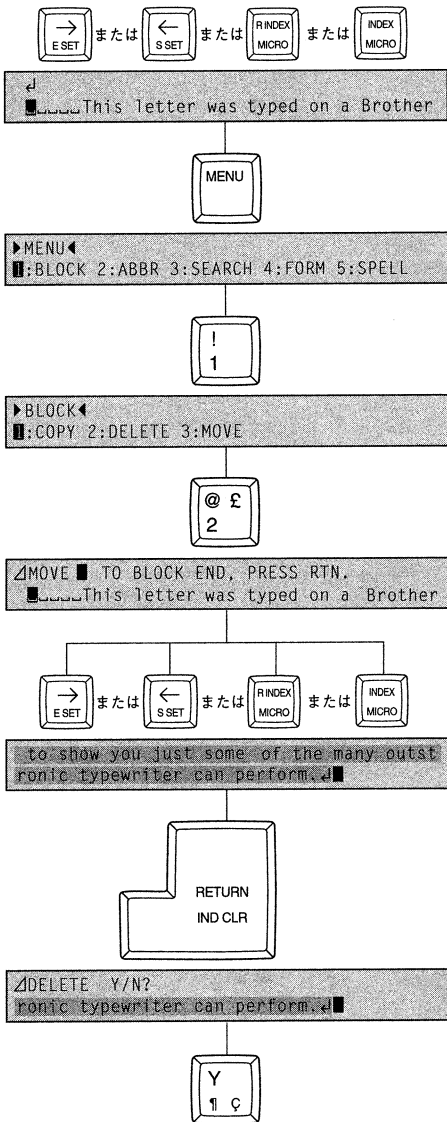


注) 1. フォーマットコード (▶) を含んでブロック指定した場合、フォーマットコードより前の文章は移動先のラインフォームになり、移動先のカーソル以降の文章は、ブロックで挿入されたラインフォームに変更されます。

2. メモリー残容量が不十分な場合は、ディスプレイに <NOT ENOUGH MEMORY REMAINING.> とメッセージ表示されます。

B ブロックデリート

ファイル中のブロック指定した文章を消去します。



1. カーソル移動キーを押して、ブロック指定したい最初の位置にカーソルを移動させます。
2. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
3. 数字キー“1”を押して、<BLOCK>を選択します。
4. 数字キー“2”を押して、<DELETE>を選択します。
5. カーソル移動キーを押して、ブロックデリートしたい範囲を指定します。ブロック指定された範囲は、あみがけで点滅表示されます。
注)途中で中止したいときは、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。
6. リターンキーを押してブロックデリートする範囲を確定します。
7. 文字キー“Y”を押すと、ブロック指定した文章を消去します。ブロックデリートを中止したい場合は文字キー“N”を押します。

注) フォーマットコード (▶) を含んでブロック指定した場合、カーソル以降の文章は消去したフォーマットコードの直前のラインフォームに変更されます。

C ブロックムーブ

ファイル中のブロック指定した文章を、他の位置に移動します。

1. カーソル移動キーを押して、ブロック指定したい最初の位置にカーソルを移動させます。

2. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

3. 数字キー“1”を押して、<BLOCK>を選択します。

4. 数字キー“3”を押して、<MOVE>を選択します。

5. カーソル移動キーを押して、ブロックムーブしたい範囲を指定します。ブロック指定された範囲は、あみがけで点滅表示されます。

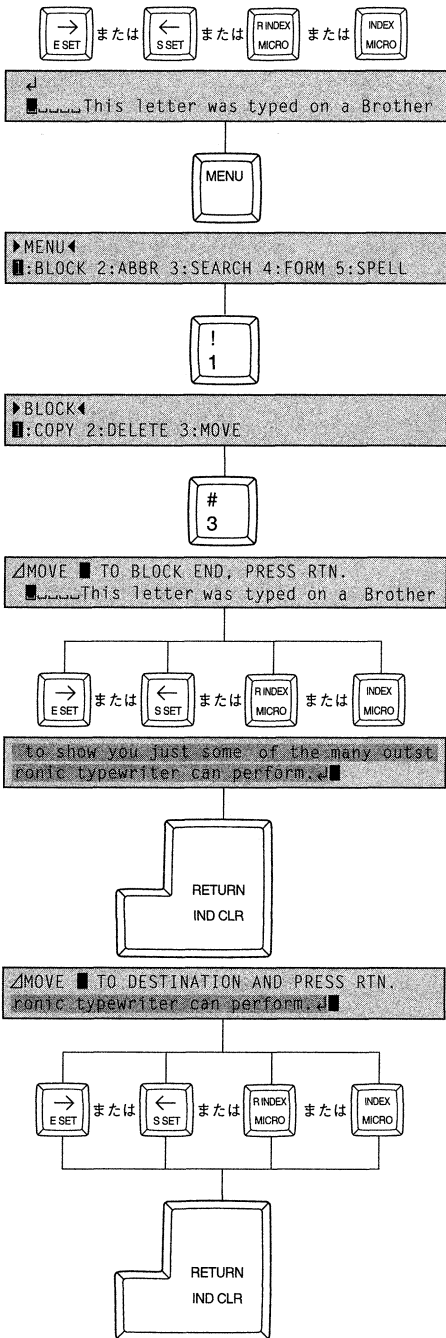
注) 途中で中止したいときは、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。

6. リターンキーを押してブロックムーブする範囲を確定します。

7. カーソル移動キーを押して、ムーブしたい位置へカーソルを移動させます。

注) ブロック指定内にブロックムーブはできません。

8. リターンキーを押すと、カーソルの直前にブロック指定した文章が移動します。



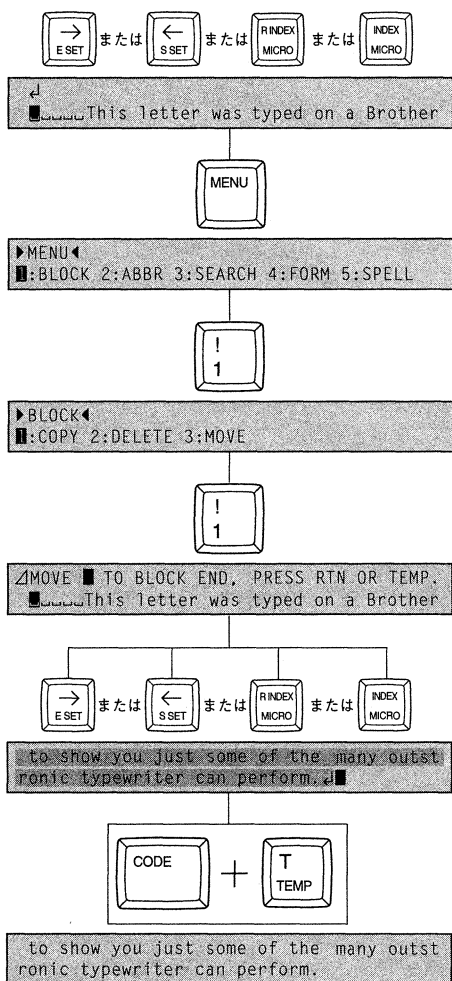
注) フォーマットコード (▶) を含んでブロック指定した場合、カーソル以降の文章は移動したフォーマットコードの直前のラインフォームに変更されます。

12. テンポラリーメモリー<TEMP>

テキストファイル中のブロック指定した文章を、別のテキストファイルに複写することができます。

注) テンポラリーメモリーの容量は約4Kで電源スイッチを<OFF>にするまで何度でも呼び出すことができます。

A テンポラリーメモリーの登録



1. カーソル移動キーを押して、ブロック指定したい最初の位置にカーソルを移動させます。

2. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

3. 数字キー“1”を押して、<BLOCK>を選択します。

4. 数字キー“1”を押して、<COPY>を選択します。

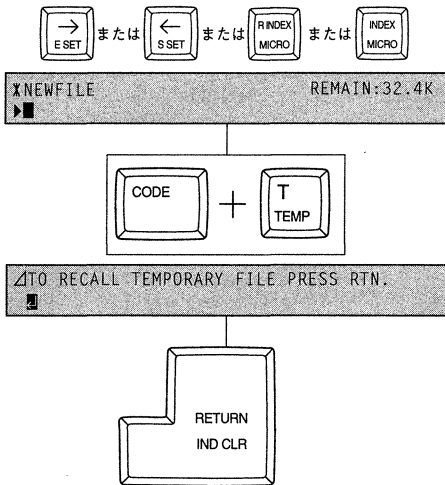
5. カーソル移動キーを押して、テンポラリーメモリーに登録したい範囲を指定します。ブロック指定された範囲は、あみがけで点滅表示されます。

注) 途中で中止したいときは、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。

6. コードキーを押したままテンプキーを押すと、テンポラリーメモリーに文章が登録されます。

注) すでにテンポラリーメモリーに文章が登録されている場合は、新しく登録した文章に置き替わります。

B テンポラリーメモリーの呼び出し

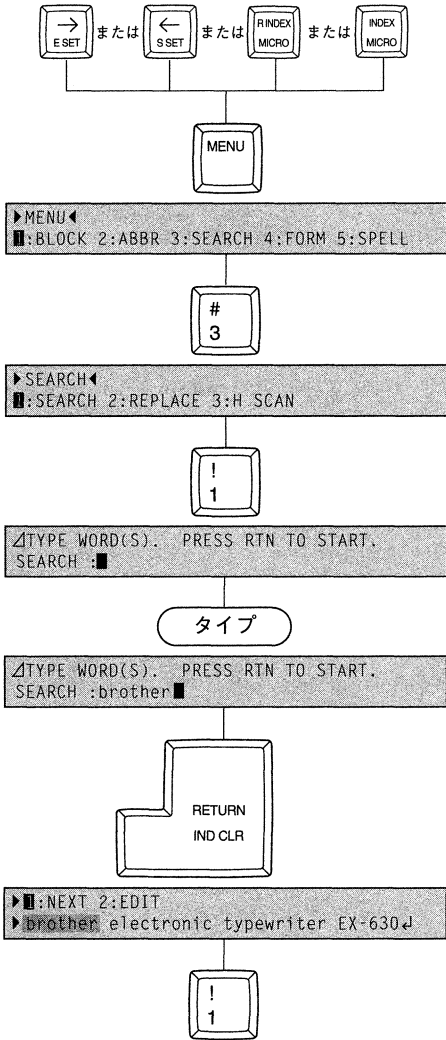


1. カーソル移動キーを押して、登録したテンポラリーメモリーを呼び出したい位置にカーソルを移動させます。
2. コードキーを押したままテンプキーを押すと、ディスプレイにメッセージ表示されます。
3. リターンキーを押すと、ディスプレイに呼び出されたテンポラリーメモリーが表示されます。

- 注) 1. フォーマットコード (▶) を含んでテンポラリーメモリーに文章を登録した場合、フォーマットコードより前の文章は移動先のラインフォームになり、移動先のカーソル以降の文章は呼び出したテンポラリーメモリーの最後のラインフォームに変更されます。
2. メモリー残容量が不十分な場合は、ディスプレイに<△NOT ENOUGH MEMORY REMAINING.>とメッセージ表示されます。
 3. テンポラリーメモリーの呼び出しは、同じテキストファイル内でも行えます。

13. サーチ

修正したい語句をテキストファイル内から探し出します。



1. カーソル移動キーを押して、語句を捜し始めたい位置にカーソルを移動させます。

2. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

3. 数字キー“3”を押して、<SEARCH>を選択します。

4. 数字キー“1”を押して<SEARCH>を選択します。

5. 捜したい語句をタイプします。

注) 1. 語句は最大63文字まで登録できます。

2. 前に登録した語句が残っている場合は、ワードアウトキーなどを押して消去します。

6. リターンキーを押すと、カーソル位置から語句を捜し始めます。サーチ語句を見つけ出すと、サーチ語句があみがけで点滅表示されます。

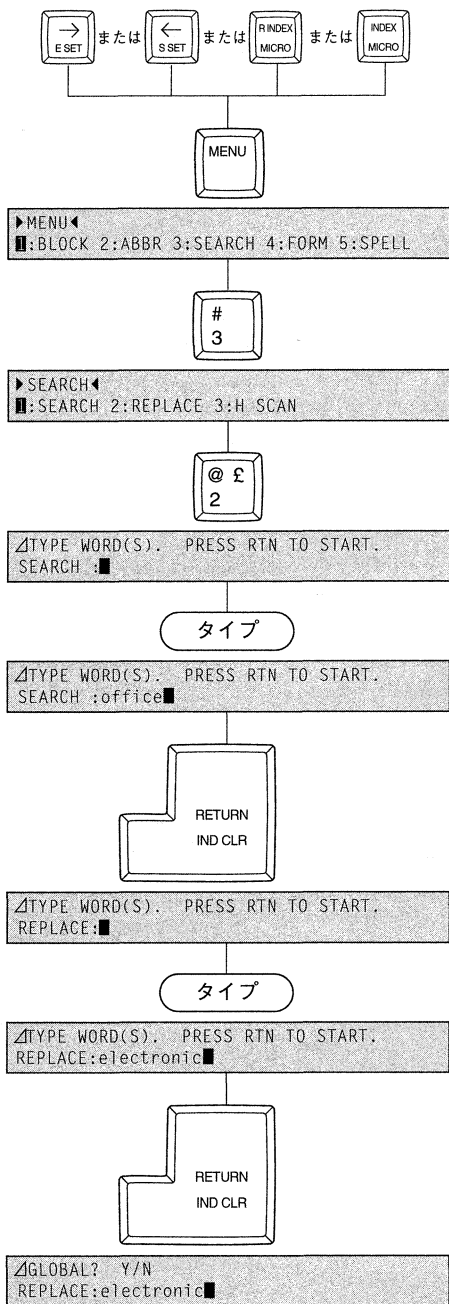
7. 数字キー“1”を押して<NEXT>を選択すると、サーチが続行されます。

注) 数字キー“2”を押して<EDIT>を選択すると、ディスプレイはテキストファイル編集画面にもどります。

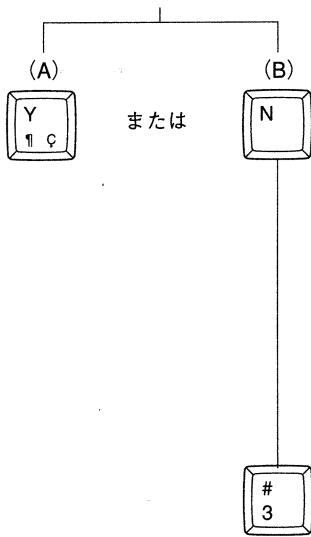
- 注) 1. サーチ語句がカーソル以降にないときは、ディスプレイに<△WORD(S) NOT FOUND.>とメッセージ表示されます。
2. ファイル中のアンダーライン付きの文字、ボールド文字、スーパーSCRIPT・サブSCRIPT文字は通常の文字として扱われます。
3. 一度登録された語句は、電源スイッチを<OFF>にするまで記憶していますので、他のテキストファイルでも操作することができます。
4. 重ね文字とデッド文字は、そのとおりにタイプしてサーチします。また、ストップコード<␣>もサーチできます。
5. サーチは指定したとおりの語句で捜しますので“Necklace”を指定したときには“necklace”や“NECKLACE”は捜しません。必要があるときはそれぞれ別々にサーチしてください。
6. 例えば“at”をサーチすると“hat”や“attack”なども捜します。

14. リプレース

修正したい語句をテキストファイル内から探し出し、新しい語句に置き換えます。



1. カーソル移動キーを押して、語句を捜し始めたい位置にカーソルを移動させます。
2. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
3. 数字キー“3”を押して、<SEARCH>を選択します。
4. 数字キー“2”を押して<REPLACE>を選択します。
5. 捜したい語句をタイプします。
注) 1. 語句は最大63文字まで登録できます。
2. 前に登録した語句が残っている場合は、ワードアウトキーなどを押して消去します。
6. リターンキーを押すと、ディスプレイにメッセージ表示されます。
7. 置き換えたい新しい語句をタイプします。
注) 1. 語句は最大63文字まで登録できます。
2. 前に登録した語句が残っている場合は、ワードアウトキーなどを押して消去します。
8. リターンキーを押すと、ディスプレイにメッセージ表示されます。



9. (A) 文字キー“Y”を押すと、カーソル位置からテキストファイルの最終ページまでの語句を一括してリプレース語句に置き換えます。ディスプレイにメッセージ表示されます。

GLOBAL REPLACE COMPLETED.

- (B) 文字キー“N”を押すと、サーチされた語句があみがけで点滅表示されま
す。ディスプレイにメッセージ表示されます。

▶NEXT 2:EDIT 3:REPLACE
brother office typewriter EX-630d

10. 数字キー“3”を押して<REPLACE>を選択すると、サーチされた語句をリプ
レース語句に置き換えて、次のサーチ語句があみがけで点滅表示されます。

- 注) 1. 数字キー“1”を押して、<NEXT>を選択すると、置き換えを行わず、次にサーチさ
れた語句があみがけで点滅表示されます。
2. 数字キー“2”を押して、<EDIT>を選択すると、ディスプレイはテキストファイル
編集画面にもどります。

- 注) 1. サーチ語句がカーソル以降にないときは、ディスプレイに<WORD(S) NOT FOUND.>とメッセージ表示されます。
2. ファイル中のアンダーライン付きの文字、ボールド文字、スーパーSCRIPT・サブSCRIPT文字は通常の文字として扱われます。
3. 一度登録された語句は、電源スイッチを<OFF>にするまで記憶していますので、他のテキストファイルでも操作することができます。
4. 重ね文字とデッド文字はそのとおりにタイプしてサーチします。また、ストップコード<☐>もサーチできます。
5. サーチは指定した通りの語句で捜しますので、“Necklace”と指定したときには“necklace”や“NECKLACE”は捜しません。必要があるとき
は、それぞれ別々にサーチしてください。

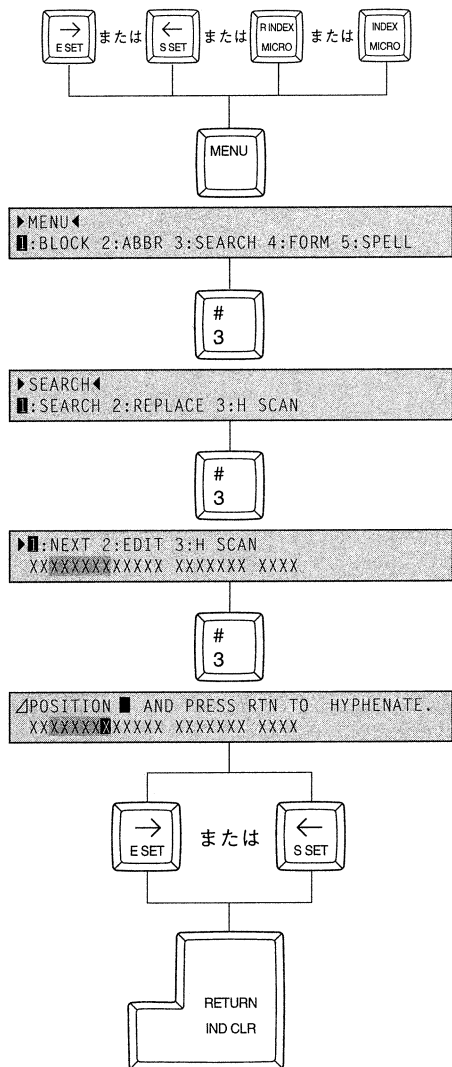
15. ワードラップ

ワードラップとはホットゾーン内で単語が右マージンを越えてしまいそうなとき、その単語とカーソルを自動的に次行へ移動させる機能です。この機能により、オートキャリヤリターンを気にせずに、続けて1段落分をタイプすることができます。ワードラップ機能はWPモード中はいつもはたらきます。

16. ハイフンスキャン

左右のマージンの間隔が狭かったり、長い単語をたくさんタイプすると、ワードラップ機能ではタイプした行に入りきれない単語を次の行に移動させるため、スペースが入りすぎて見づらくなることがあります。

ハイフンスキャン機能では、長いスペースを見つけ長い単語にハイフンを挿入し、スペースを短くして文章を見やすくします。



1. カーソル移動キーを押して、ハイフンスキャンを始めたい位置にカーソルを移動させます。

2. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

3. 数字キー“3”を押して、<SEARCH>を選択します。

4. 数字キー“3”を押して<H SCAN>を選択すると、カーソル位置からホットゾーンの6カラム分よりも長いスペースのある行を捜し始めます。捜し出すとワードラップで次の行に移動された長い単語があみかけで点滅表示されます。

5. 数字キー“3”を押して<H SCAN>を選択すると、ハイフン挿入モードになります。

注) 1. 数字キー“1”を押して、<NEXT>を選択すると、ハイフン挿入を行わずに、次の該当単語を捜します。

2. 数字キー“2”を押して、<EDIT>を選択すると、ディスプレイはテキストファイル編集画面にもどります。

6. カーソルライトキーまたはカーソルレフトキーを押して、ハイフンを挿入したい位置までカーソルを移動させます。

7. リターンキーを押します。ハイフンがタイプされ、ハイフンより左側の単語は前行に移動します。そして次の該当単語のサーチを開始します。

注) リターンキーの代わりにコードキーを押したままキャンセルキーを押すと、ハイフンスキャンモードを終了してディスプレイはテキストファイル編集画面にもどります。

17. ゴートウーキー <GO TO>

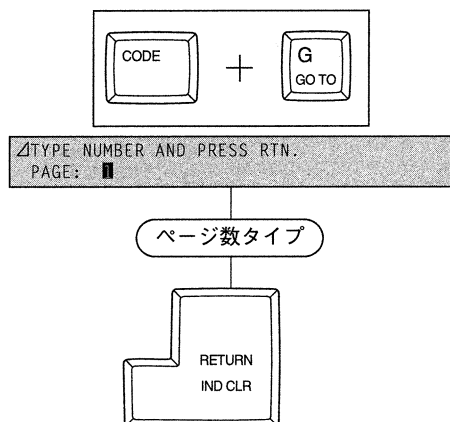
テキストファイル編集時に、同じテキストファイル内であれば任意のページを指定して、そのページを先頭から表示させることができます。

● ゴートウーキーの設定

1. コードキーを押したままゴートウーキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

2. 数字キーを押して、表示させたいページ数をタイプします。

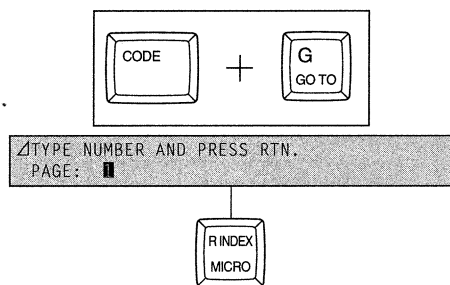
3. リターンキーを押すと、指定したページが先頭から表示されます。



● カーソルのあるページの先頭を表示させるには

1. コードキーを押したままゴートウーキーを押します。

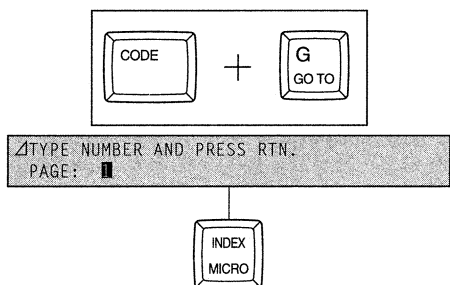
2. カーソルアップキーを押すと、カーソルのあるページの先頭が表示されます。カーソルがページの先頭にある場合は、1ページ前の先頭を表示します。



● カーソルのあるページの次ページの先頭を表示させるには

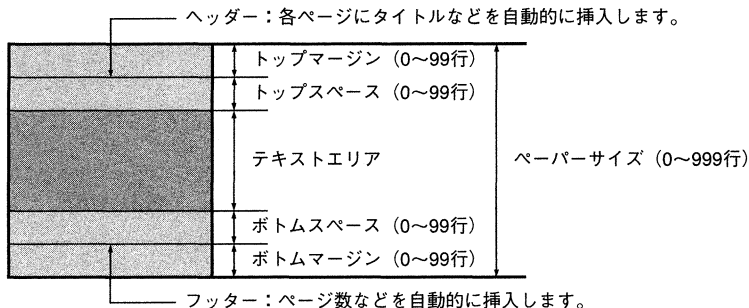
1. コードキーを押したままゴートウーキーを押します。

2. カーソルダウンキーを押すと、カーソルのあるページの次のページの先頭が表示されます。



18. ペーパーサイズ

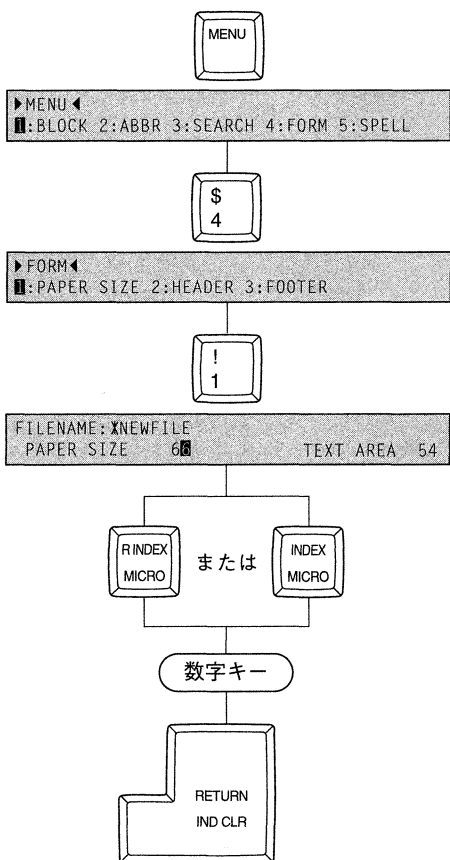
打ち出す用紙に合わせて、1ページ内の総行数や打ち始め位置などを設定します。この機能により何ページにもわたる文書のレイアウトが統一できます。初期設定は、A4サイズに合わせたページレイアウトに設定してあります。



- 注) 1. 行数表示はラインスペースが<1.0>のときの行数です。ラインスペース<2.0>でタイプすると、設定行数の半分で次のページに変わります。
 2. 行数表示の1は約4.2mmです。

● ペーパーサイズの設定

1. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
2. 数字キー“4”を押して、<FORM>を選択します。
3. 数字キー“1”を押して<PAPER SIZE>を選択します。ディスプレイにページサイズ設定項目が表示されます。
4. カーソルアップキーまたはカーソルダウンキーを押して、設定したい項目にカーソルを移動させます。
5. 数字キーを押して行数を設定します。
6. リターンキーを押すとページサイズが設定され、ディスプレイはテキストファイル編集画面にもどります。

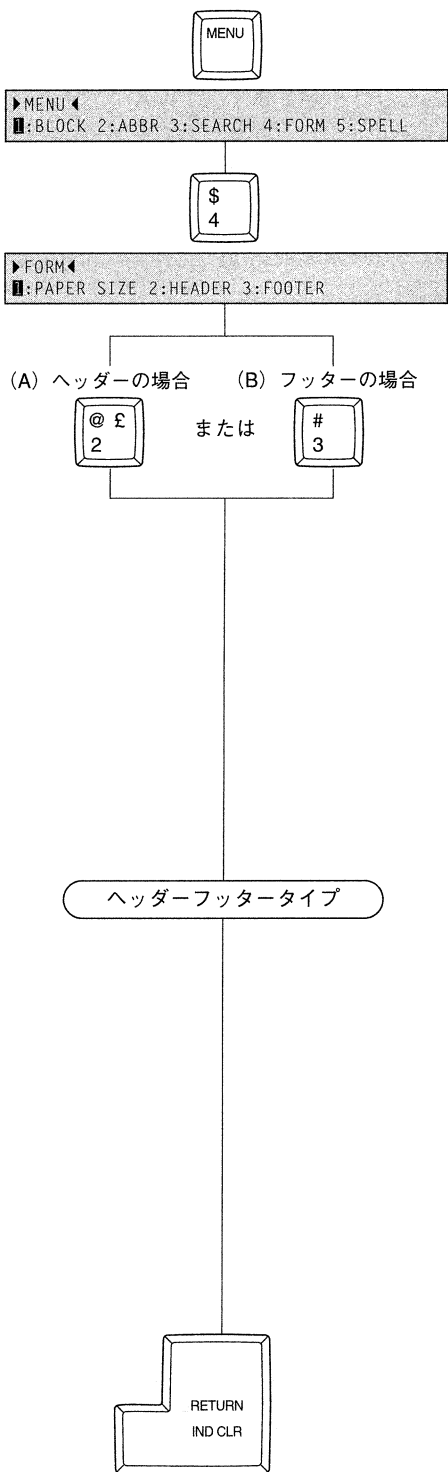


● ページサイズ設定項目

設定項目	内容	初期設定	設定範囲
PAPER SIZE	用紙全体の長さ	66行	0 ~ 999行
TEXT AREA	文章をタイプできる行数	54行	1 ~ 999行
TOP MARGIN	用紙の上端と、ヘッダーまたは文章の最上段との間隔	6行	0 ~ 99行
TOP SPACE	ヘッダーと文章の1行目との間隔	0行	0 ~ 99行
BOTTOM SPACE	文章の最終行とフッターとの間隔	0行	0 ~ 99行
BOTTOM MARGIN	フッターまたは文章の最下段と、用紙の下端との間隔	6行	0 ~ 99行

19. ヘッダー・フッター

何ページにもわたる文書を打ち出すときに、タイトルやページ数を自動的に印字する機能です。ページ数はナンバリング開始NO. を指定するだけであとはページごとに数字が替わります。



1. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

2. 数字キー“4”を押して、<FORM>を選択します。

3. (A) ヘッダーの場合
数字キー“2”を押して<HEADER>を選択します。

ENTER HEADER TEXT AND PRESS RTN.
▶

(B) フッターの場合
数字キー“3”を押して、<FOOTER>を選択します。

ENTER FOOTER TEXT AND PRESS RTN.
▶

注) ヘッダーまたはフッターを登録するとペーパーサイズのテキストエリアが<0>になる場合、<△NO TEXT AREA>とメッセージ表示されます。ペーパーサイズを変更してから行います。<ペーパーサイズ> (93ページ) 参照

4. タイトルやナンバリングを入力します。
ページ数は、ナンバリング開始ページ (4桁以内) をタイプして、数字をダブルコーテーション“>で囲みます。

- 例
- “1”とタイプした場合・・・1, 2, 3,・・・と印字します。
 - PAGE-“10”とタイプした場合・・・PAGE-10, PAGE-11, PAGE-12・・・と印字します。
 - “101”とタイプした場合・・・101, 102, 103・・・と印字します。

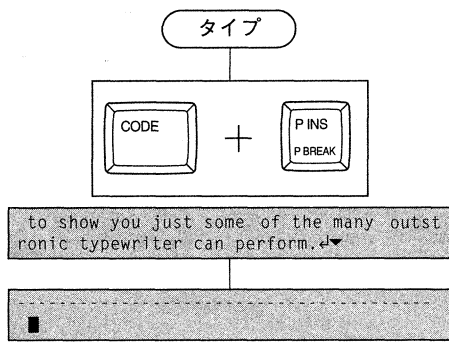
- 注)
- ヘッダー・フッターとも2行以上のタイプはできません。また印字可能文字数は、テキストファイルのマージンになります。
 - タイプした文字を削除したいときは、コレクションキーまたはバックスペースキーを押します。
 - マージン間のセンタリング、ライトマージンフラッシュ、オートアンダーライン、ボールド、スーパーSCRIPT、サブSCRIPTの機能が使用できます。
 - 途中で中止したいときはコードキーを押したままキャンセルキーを押します。

5. リターンキーを押すと、ヘッダーまたはフッターの登録を終了します。ディスプレイはテキストファイル編集画面にもどります。

注) 1. 登録したヘッダー・フッターはファイルプリント時に印字するかしないかを設定することができます。<ファイルプリント> (67ページ) 参照
2. ヘッダー・フッターを登録したあとで、テキストファイルのマージンを変更しても、ヘッダー・フッターのマージンは変わりません。

20. ページブレイクキー <P BREAK>

テキストファイル内の1ページ内にはいる行数はあらかじめ設定されていますが、強制的にページを区切りたいときにページブレイク機能を使います。



1. ページを区切りたい位置までタイプします。
2. コードキーを押したままページブレイクキーを押します。カーソル位置にページエンドコード<▼>が表示され、次行にページラインが表示されます。カーソルは次ページの先頭に移動します。

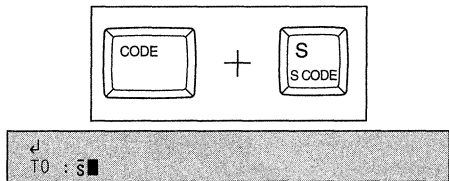
- 注) 1. ページエンドコードを削除するには、削除したいページエンドコードの次の位置、または次ページの先頭にカーソルを移動させ、コレクションキー、またはバックスペースキーを押します。
2. 次のページの先頭にフォーマットコード<▶>が表示されているときはページエンドコードを削除することはできません。

21. ストップコードキー <S CODE>

テキストファイル編集に、文章の途中にストップコードを登録しておく、登録位置でファイルプリントを中断させ、デジタイザカセットの交換や文章の追加ができます。

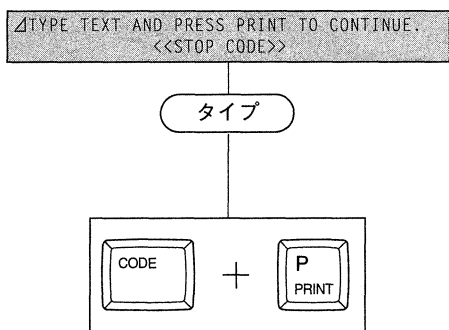
● ストップコードの登録

打ち出しを中断させたい位置で、コードキーを押したままストップコードキーを押します。ディスプレイにストップコード<§>が表示されます。



- 注) センタリング・ライトマージンフラッシュ・デシマルタブ中にストップコード<§>の登録はできません。

● 打ち出し中のストップコード



1. ファイルプリント中、ストップコード<§>が設定されている位置で打ち出しを自動的に中断します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
2. 文章のタイプまたはデジタイザカセットの交換などを行います。
- 注) 1. ストップコード以前に打ち出した文字のオートコレクションはできません。
2. マージンやタブ位置などのラインフォームは変更できません。
3. コードキーを押したまま、プリントキーを押すとストップコード以降の文章を打ち出します。ディスプレイにタイプした文字を表示しているときは（表示モードの場合）、それを印字してからストップコード以降の文章を打ち出します。

- 注) ページプリントで打ち出した場合、打ち出しの中断はできません。スペースとして扱います。

第6章 フォームタイピングモード

伝票や定型用紙などあらかじめ印刷されたような様式の帳票にも、指定した位置に文字や数字をうち込むようにすることができます。

1. F TYPE ディスプレイ表示

フォームタイピングモードでは、下記ディスプレイが表示されます。

● アイテム位置入力画面

```
△MOVE CARRIAGE AND PRESS RTN.  
ITEM 1:      ( 0, 48) LEFT
```

用紙の左端
からの位置 用紙の右端
からの位置 印字位置
の設定

● ポジションセット画面

```
▶ POSITION SET ◀  
1: LEFT 2: RIGHT 3: CTR 4: DTAB 5: S CODE
```

キャリヤの位置
から右へ印字 キャリヤの位置
に右寄せ印字 キャリヤの位置を
中心として印字 キャリヤの位置に
小数点ぞろえで印字 キャリヤの位置に
ストップコードを設定

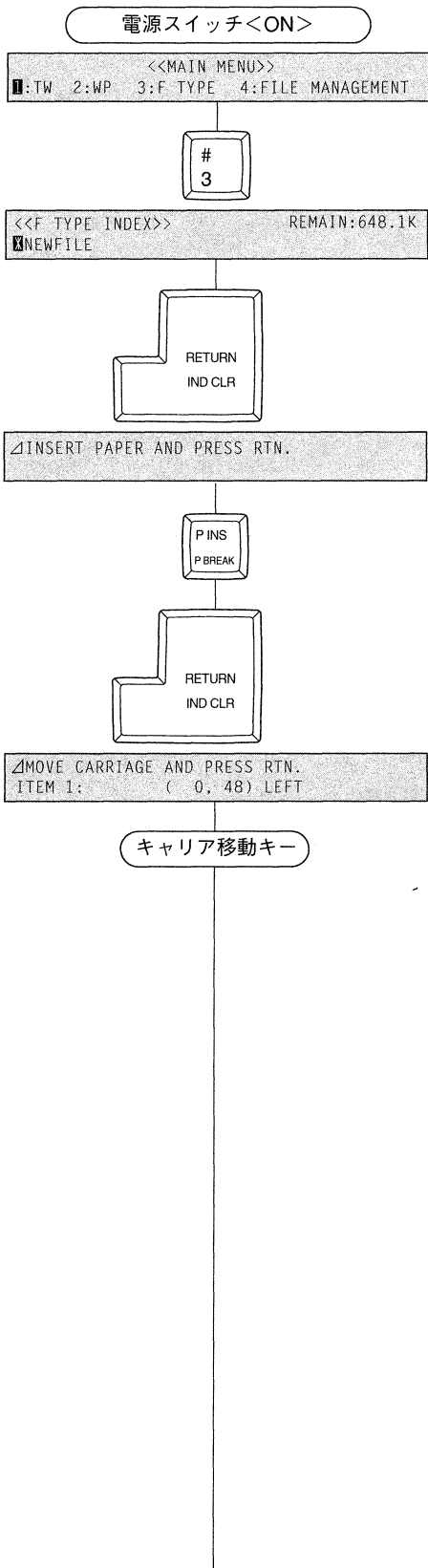
● フィルイン入力画面

```
ITEM 1 NAME: _____  
DATA: ■ _____
```

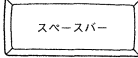



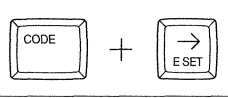
フィルインデータ：印字したい文字を
タイプします。

アイテムネーム：フィルインデータに名前を
つけます。（印字されません。）

2. フォームタイピングファイルの作成



1. 電源スイッチを<ON>にするとメインメニューが表示されます。
 2. 数字キー“3”を押して、<F TYPE>を選択します。フォームタイピングインデックス画面が表示されます。
 3. カーソルを<NEWFILE>にあわせてリターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
 4. ペーパーインサートキーを押して、用紙を挿入します。
 5. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示され、アイテム位置入力画面が表示されます。
- 注) カッコ内の数字は、用紙の上端左端からの距離を示します。左側のパラメーターは用紙の左端からの距離、(1/60インチ単位) 右側のパラメーターは用紙の上端からの距離 (1/48インチ単位) を表示します。また最大右端720/60インチ、下端999/48インチまで移動します。
6. 以下のキャリア移動キーを使用して最初のアイテムを印字したい位置までキャリアを移動させます。

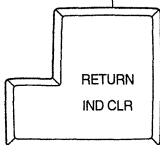
キー	キー	キャリアの移動
	スペースバー	1文字分右へ移動します。
	バックスペースキー	1文字分左へ移動します。
	カーソルライトキー	1文字分右へ移動します。
	カーソルレフトキー	1文字分左へ移動します。
	マイクロスペースキー	1/120インチ右へ移動します。

	マイクロバック スペースキー	1/48インチ左へ移動しま す。
	インデックスキー	1/12インチ下へ移動しま す。
	リバース インデックスキー	1/12インチ上へ移動しま す。
	マイクロ インデックスキー	1/48インチ下へ移動しま す。
	マイクロリバース インデックスキー	1/48インチ下へ移動しま す。



▶POSITION SET◀
■:LEFT 2:RIGHT 3:CTR 4:DTAB 5:S CODE

数字キー



ITEM 1 NAME:
DATA:■

フィルインデータ入力

ITEM 1 NAME:
DATA:EX-630■

7. メニューキーを押してポジションセット画面を表示させます。

8. 数字キーを押して印字位置の設定を選択します。

- 1: LEFT キャリヤの位置から右へ印字します。
- 2: RIGHT キャリヤの位置に右寄せ印字します。
- 3: CTR キャリヤの位置を中心として印字します。
- 4: DTAB キャリヤの位置に小数点そろえて印字します。
- 5: S CODE キャリヤの位置にストップコードを設定します。

注) 1. 初期設定は<LEFT>に設定されていますので、キャリヤの位置から右へ印字したい場合はこの操作は必要ありません。

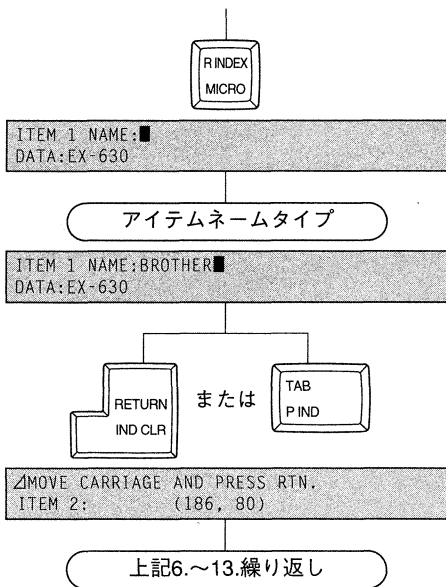
2. コードキーを押したまま以下のキーを押してそれぞれの印字位置を設定することができます。

- 1: LEFT タブセットキー
- 2: RIGHT ライトマージンフラッシュキー
- 3: CTR センタリングキー
- 4: DTAB デシマルタブセットキー
- 5: S CODE ストップコードキー

9. リターンキーを押します。ディスプレイにフィルイン入力画面が表示されます。

10. フィルインデータを入力します。

注) フィルインデータは最大120文字まで入力できます。



11. リバースインデックスキーを押して、カーソルを上段に移動させます。

12. アイテムネームをタイプします。

注) アイテムネームの文字数は最大8文字です。アルファベット・数字・ハイフンが使用できます。印字されませんので、必要がなければ、タイプする必要はありません。

13. リターンキーまたはタブキーを押すと、フィルインデータを印字してディスプレイにアイテム2のポジションセット画面が表示されます。

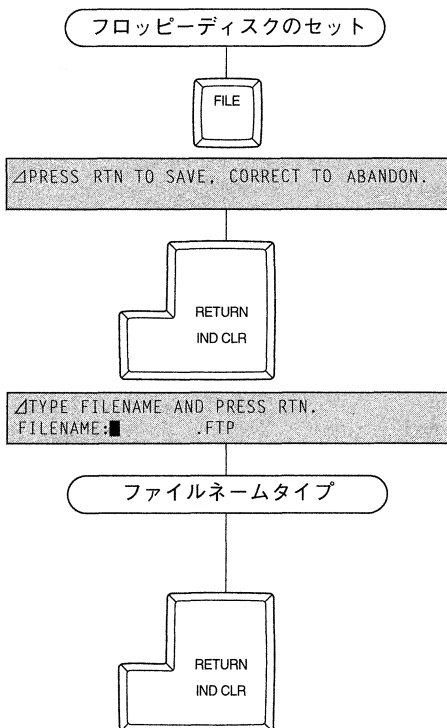
注) コードキーを押したままリターンキーまたはタブキーを押すと、フィルインデータを印字しないでディスプレイにアイテム2のポジションセット画面が表示されます。

14. 上記6.~13.の操作を繰り返します。

注) アイテムは最大80まで設定できます。80アイテムすべて登録すると、ディスプレイに<ΔMAX. NUMBER OF ITEMS EXCEEDED. PRESS RTN TO RESTART.>とメッセージ表示されます。その後、続けてアイテムの登録をすると、すでに登録されているアイテムに置き換えて登録されます。

3. フォームタイピングファイルの登録

作成したフォームタイピングファイルをフロッピーディスクに登録します。1枚のフロッピーディスクに112ファイル（テキストファイル含む）まで登録できます。



1. フロッピーディスクをセットします。

2. すべてのアイテムの設定が終了したら、ファイルキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

3. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

注) コレクションキーを押すと、作成したファイルは登録されずにフォームタイピングインデックス画面が表示されます。

4. フォームタイピングファイルネームをタイプします。

注) フォームタイピングファイルネームの文字数は最大8文字です。アルファベット、数字、ハイフンが使用できます。

5. リターンキーを押すと、フォームタイピングファイルがフロッピーディスクに登録されます。

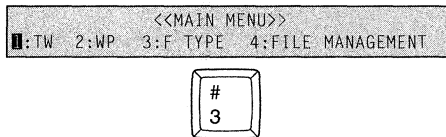
注) すでに登録されているファイルと同じファイルネームをタイプしてリターンキーを押すと、ディスプレイに<ΔFILE EXISTS. PRESS RTN TO OVERWRITE.>とメッセージ表示されます。リターンキーを押すと、すでに登録されているフォームタイピングファイルに置き換えて登録します。

4. フォームタイピングファイルの編集

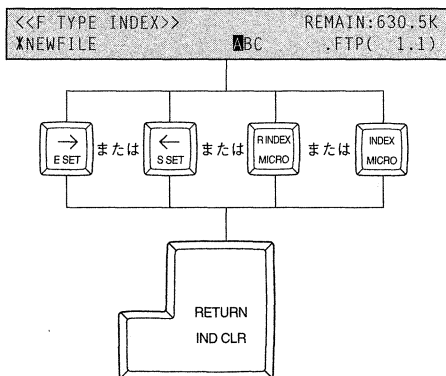
A フィルインデータの修正

登録済みのフィルインデータを変更することができます。

1. メインメニュー画面より、数字キー“3”を押して、<FTYPE>を選択します。フォームタイピングインデックス画面が表示されます。



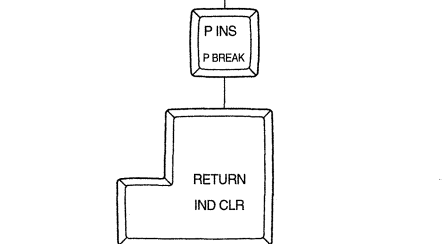
2. カーソル移動キーを押して、編集したいフォームタイピングファイルネームにカーソルを移動させます。



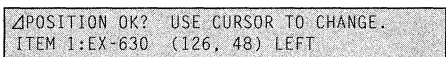
3. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。



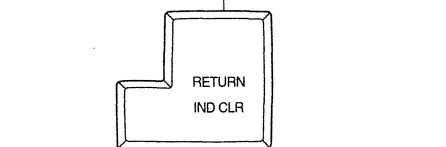
4. ペーパーインサートキーを押して、用紙を挿入します。



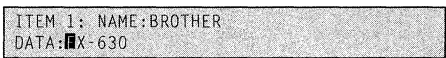
5. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。



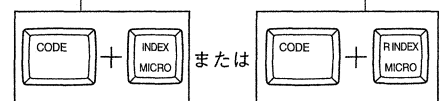
6. 基準位置を微調整したい場合は、カーソル移動キーを押してキャリヤ位置を調整し、リターンキーを押します。微調整がない場合は、そのままリターンキーを押します。アイテム1のフィルイン入力画面が表示されます。



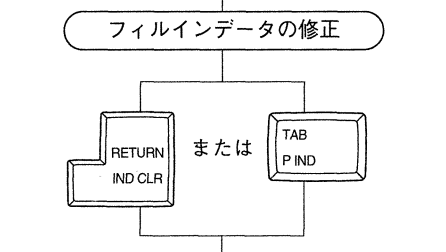
注) 基準位置の微調整は呼び出したファイル全体に反映されます。



7. コードキーを押したままインデックスキーまたはリバースインデックスキーを押して、変更したいアイテムのフィルイン入力画面を表示させます。



8. フィルインデータを修正します。



9. リターンキーまたはタブキーを押します。フィルインデータを印字して次のアイテムのフィルイン入力画面が表示されます。

注) コードキーを押したままリターンキーまたはタブキーを押すと、データは印字されません。

上記7.~9.繰り返し



△PRESS RTN TO SAVE, CORRECT TO ABANDON.

<フォームタイピングファイル
の登録>3.~5.参照

10. 上記7.~9.を繰り返します。

11. 修正が終了したらファイルキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

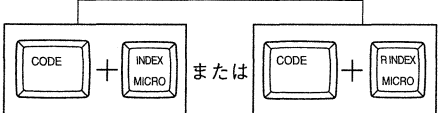
注) 以降の操作につきましては、<フォームタイピングファイルの登録> (99ページ) の3.~5.を参照してください。

B 印字位置の変更

アイテムの印字位置を変更することができます。

<フィルインデータの修正>
1.~6.参照

ITEM 1: NAME:BROTHER
DATA: X-630



ITEM 3 NAME:MODEL
DATA: Electronic typewriter

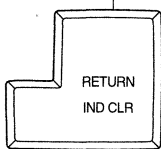


▶ FILL IN ◀
■: POSITION SET 2: DEL ALL (FILL IN)



△MOVE CARRIAGE AND PRESS RTN.
ITEM 3:MODEL (0, 64) LEFT

キャリヤ移動キー



上記2.~6.繰り返し



△PRESS RTN TO SAVE, CORRECT TO ABANDON.

1. <フィルインデータの修正>の1.~6.の操作を行い、アイテム1のフィルイン入力画面を表示させます。

2. コードキーを押したままインデックスキーまたはリバースインデックスキーを押して、印字位置を変更したいアイテムのフィルイン入力画面を表示させます。

3. メニューキーを押すと、ディスプレイにメッセージ表示されます。

4. 数字キー“1”を押して、<POSITION SET>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

5. キャリヤ移動キーを押して設定したい位置までキャリヤを移動させます。

6. リターンキーを押します。変更したいアイテムの印字位置を変更して、そのアイテムのフィルイン入力画面が表示されます。

7. 上記2.~6.の操作を繰り返します。

8. 変更が終了したら、ファイルキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

注) 以降の操作につきましては<フォームタイピングファイルの登録> (99ページ) の3.~5.を参照してください。

C アイテムネームの変更

アイテムネームを変更することができます。

1. <フィルインデータの修正>の1.~6.の操作を行い、アイテム1のフィルイン入力画面を表示させます。

2. コードキーを押したままインデックスキーまたはリバースインデックスキーを押して、アイテムネームの変更したいアイテムのフィルイン入力画面を表示させます。

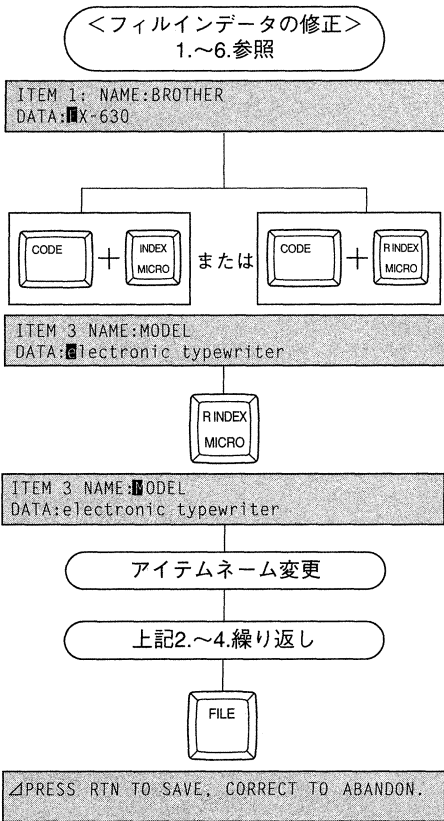
3. リバースインデックスキーを押して、カーソルを上段へ移動させます。

4. アイテムネームを修正します。

5. 上記2.~4.の操作を繰り返します。

6. 変更が終了したら、ファイルキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

注) 以降の操作につきましては、<フォームタイピングファイルの登録> (99ページ) の3.~5.を参照してください。



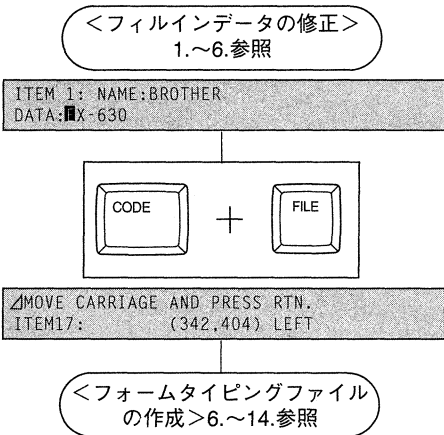
D アイテムの追加

アイテム数の追加を行うことができます。

1. <フィルインデータの修正>の1.~6.の操作を行い、アイテム1のフィルイン入力画面を表示させます。

2. コードキーを押したままファイルキーを押すと、追加アイテム作成モードが表示されます。登録されている最終アイテムの印字位置にキャリヤが移動し、その次のアイテムのポジションセット画面が表示されます。

3. 以降の操作につきましては、<フォームタイピングファイルの作成>の6.~14.の操作 (97ページ) を参照してください。



E データの全消去

ファイル中に入力されたデータをすべて消去することができます。

＜フィルインデータの修正＞
1.～6.参照

ITEM 1: NAME:BROTHER
DATA: X-630



▶FILL IN◀
■:POSITION SET 2:DEL ALL(FILL IN)



△DELETE ALL FILL IN DATA? Y/N



1. <フィルインデータの修正>の1.～6.の操作を行い、アイテム1のフィルイン入力画面を表示させます。

2. メニューキーを押します。ディスプレイにフィルイン画面が表示されます。

3. 数字キー“2”を押して、<DEL ALL(FILL IN)>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

4. 文字キー“Y”を押すと、ファイル中のデータがすべて消去されます。

注) 1. 文字キー“N”を押すと、消去は実行されずにフィルイン入力画面にもどります。

2. アイテムネームは消去されません。

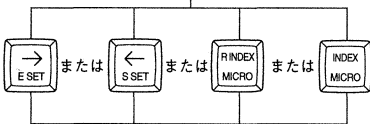
5. フォームタイピングファイルのコピー

フォームタイピングファイルを編集するとき、もとのファイルを残しておきたい場合はファイルコピーをします。

<<MAIN MENU>>
■:TW 2:WP 3:F TYPE 4:FILE MANAGEMENT



<<F TYPE INDEX>> REMAIN:630.5K
XNEWFILE ■BC .FTP(1.1)



▶MENU◀
■:COPY 2:DEL 3:REN 4:PRINT



△INSERT DESTINATION DISK AND PRESS RTN.
XNEWFILE ■BC .FTP(1.1)

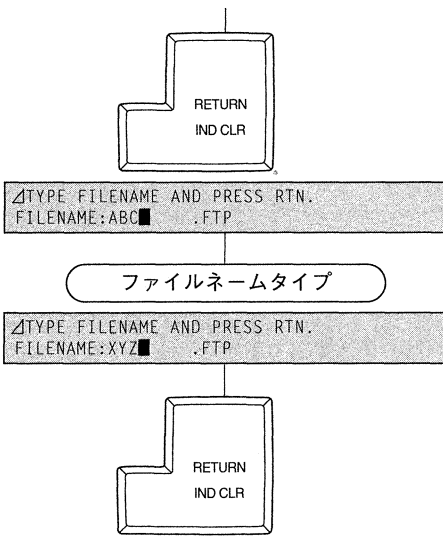
1. メインメニュー画面より、数字キー“3”を押して、<F TYPE>を選択します。フォームタイピングインデックス画面が表示されます。

2. カーソル移動キーを押して、コピーしたいフォームタイピングファイルネームにカーソルを移動させます。

3. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

4. 数字キー“1”を押して、<COPY>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

注) 別のフロッピーディスクにコピーしたいときは、フロッピーディスクを入れ替えます。



5. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

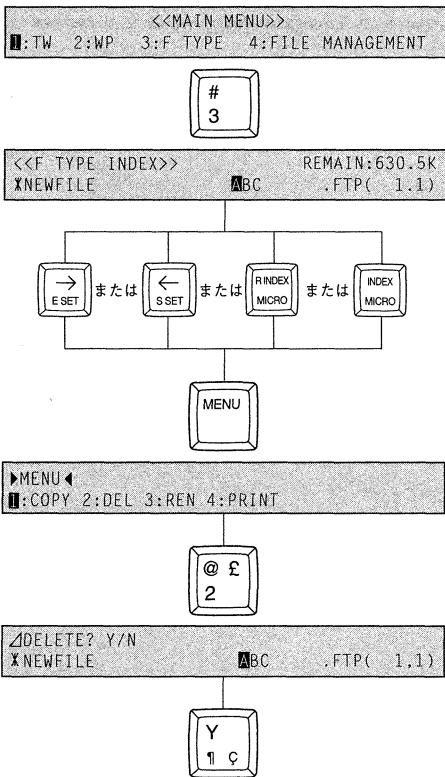
6. フォームタイピングファイルネームをタイプします。

注) フォームタイピングファイルネームの文字数は最大8文字です。アルファベット・数字・ハイフンが使用できます。

7. リターンキーを押すと、指定したフォームタイピングファイルがコピーされます。

6. フォームタイピングファイルの消去

登録済みのフォームタイピングファイルを消去します。



1. メインメニュー画面より、数字キー“3”を押して、<F TYPE>を選択します。フォームタイピングインデックス画面が表示されます。

2. カーソル移動キーを押して、消去したいフォームタイピングファイルネームにカーソルを移動させます。

3. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

4. 数字キー“2”を押して、を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

5. 文字キー“Y”を押すと、指定したフォームタイピングファイルが消去されます。

注) 消去を中止したい場合は、文字キー“N”を押します。

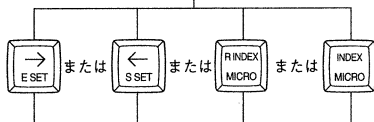
7. フォームタイピングファイルのリネーム

登録済みのフォームタイピングファイルネームを変更することができます。

<<MAIN MENU>>
1:TW 2:WP 3:F TYPE 4:FILE MANAGEMENT

3

<<F TYPE INDEX>> REMAIN:630.5K
XNEWFILE ABC .FTP(1.1)



MENU

▶MENU◀
1: COPY 2: DEL 3: REN 4: PRINT

3

∇TYPE FILENAME AND PRESS RTN.
FILENAME:ABC .FTP

ファイルネームタイプ

∇TYPE FILENAME AND PRESS RTN.
FILENAME:XYZ .FTP

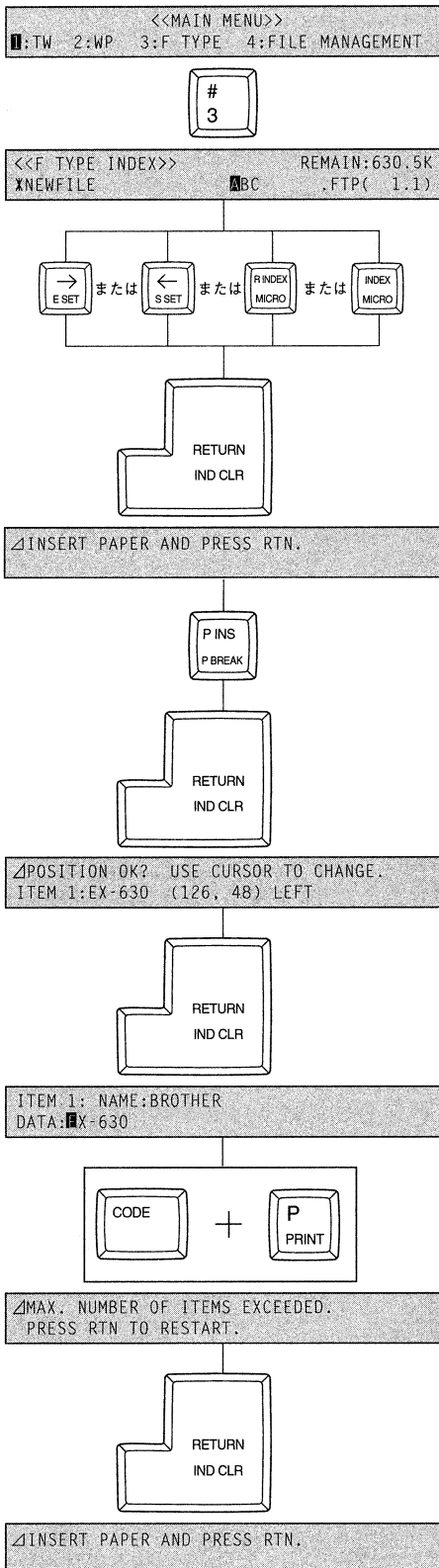
RETURN
IND CLR

1. メインメニュー画面より、数字キー“3”を押して、<F TYPE>を選択します。フォームタイピングインデックス画面が表示されます。
2. カーソル移動キーを押して、リネームしたいフォームタイピングファイルネームにカーソルを移動させます。
3. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
4. 数字キー“3”を押して、<REN>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
5. 新しいフォームタイピングファイルネームをタイプします。
注) フォームタイピングファイルネームの文字数は最大8文字です。アルファベット・数字・ハイフンが使用できます。
6. リターンキーを押すと、フォームタイピングファイルネームが置き替わります。

注) フロッピーディスク内に同じテキストファイルネームがすでに登録されている場合は、ディスプレイに<∇FILE NAME ALREADY EXISTS.>とメッセージ表示されます。フォームタイピングファイルネームをタイプし直します。

8. フォームタイピングファイルの打ち出し

A 編集画面からのプリント



1. メインメニュー画面より、数字キー“3”を押して、<F TYPE>を選択します。フォームタイピングインデックス画面が表示されます。

2. カーソル移動キーを押して、打ち出したいフォームタイピングファイルにカーソルを移動させます。

3. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

4. ペーパーインサートキーを押して、用紙を挿入します。

5. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

6. 基準位置を微調整したい場合は、カーソル移動キーを押してキャリヤ位置を調整し、リターンキーを押します。微調整がない場合は、そのままリターンキーを押します。アイテム1のフィルイン入力画面が表示されます。

注) 基準位置の微調整は呼び出したファイル全体に反映されます。

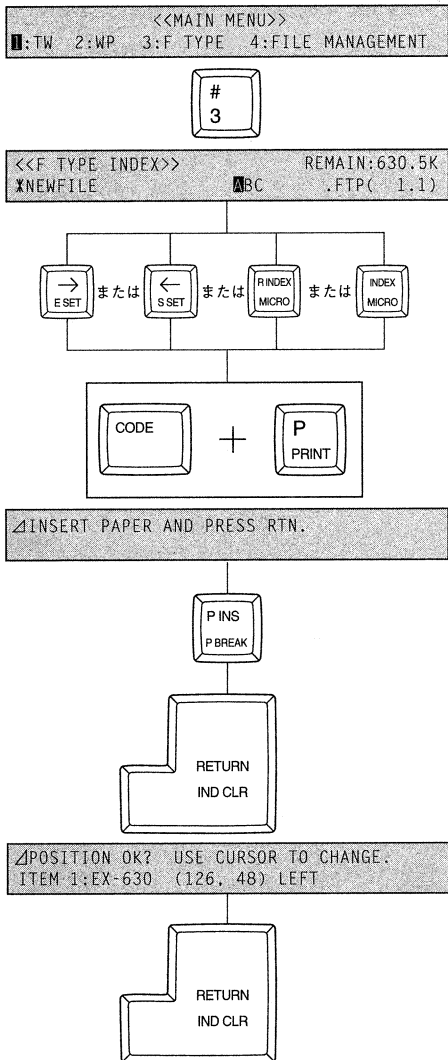
7. コードキーを押したままプリントキーを押すと、打ち出しが開始されます。打ち出しが終了すると、ディスプレイにメッセージ表示されます。

8. リターンキーを押すと、用紙を排出してディスプレイにメッセージ表示されず。編集・印字を続けます。

注) 1. ファイルキーを押すと、用紙を排出しないでディスプレイに、<ΔPRESS RTN TO SAVE, CORRECT TO ABANDON.>とメッセージ表示されます。

2. コードキーを押したままキャンセルキーまたはリバースインデックスキーを押すと、登録されている最終アイテムのフィルイン入力画面にもどります。

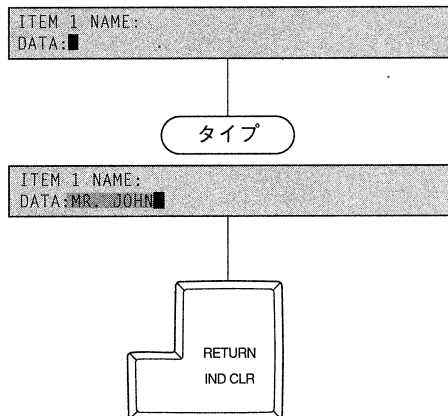
B ファイルプリント



1. メインメニュー画面より、数字キー“3”を押して<F TYPE>を選択します。フォームタイピングインデックス画面が表示されます。
2. カーソル移動キーを押して、打ち出したいフォームタイピングファイルにカーソルを移動させます。
3. コードキーを押したままプリントキーを押すと、ディスプレイにメッセージ表示されます。
注) メニューキーを押して、メニュー画面を表示させ、数字キー“4”を押して<PRINT>を選択してもファイルプリントできます。
4. ペーパーインサートキーを押して、用紙を挿入します。
5. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
6. 基準位置を微調整したい場合は、カーソル移動キーを押してキャリヤ位置を調整し、リターンキーを押します。微調整がない場合は、そのままリターンキーを押します。打ち出しを開始します。
注) 基準位置の微調整は呼び出したファイル全体に反映されます。

C 打ち出し中のストップコード

編集画面からのプリント、ファイルプリントを行うと、ストップコードの設定位置で打ち出しを中断します。中断中は、フィルインデータの追加やデジタイザカセットの交換などが自由に行えます。



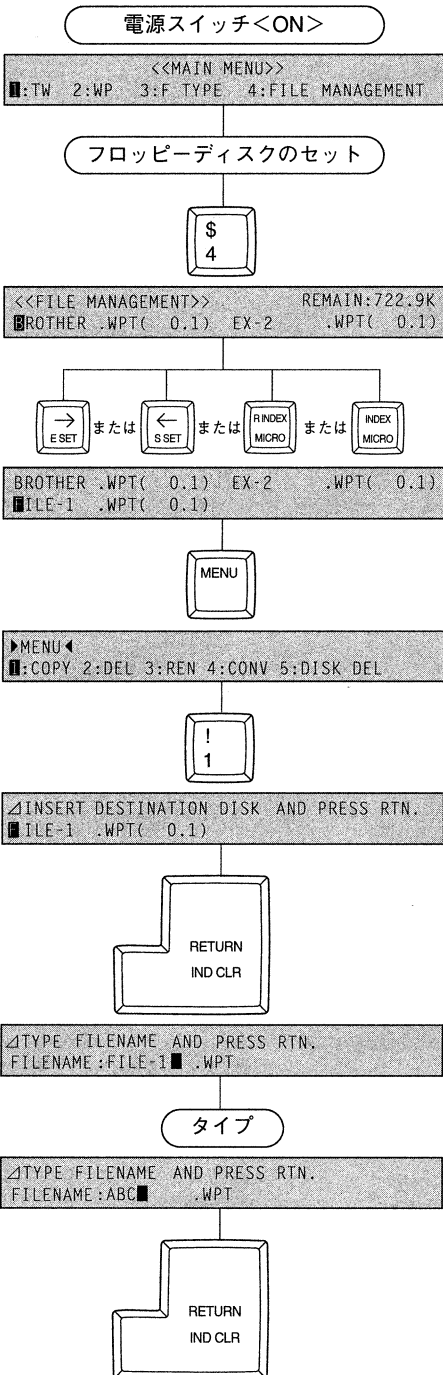
1. プリント中、ストップコードが設定されている位置で打ち出しを自動的に中断します。ディスプレイに、ストップコードが設定されているフィルイン入力画面が表示されます。
2. フィルインデータの追加やデジタイザカセットの交換などを行います。ストップコードが登録されているアイテムのフィルイン入力画面でデータを入力すると、入力されたデータがみががけで点滅表示されます。
注) 入力したデータは記憶されません。
3. リターンキーを押します。入力したフィルインデータが打ち出しされ、それ以降のフィルインデータも打ち出されます。

第7章 ファイルマネジメントモード

ファイルマネジメントモードでは、「EX-630」で作成したテキストファイル等をコピー、消去、リネーム、コンバートすることができます。

1. ファイルのコピー

ファイルのコピーを行います。

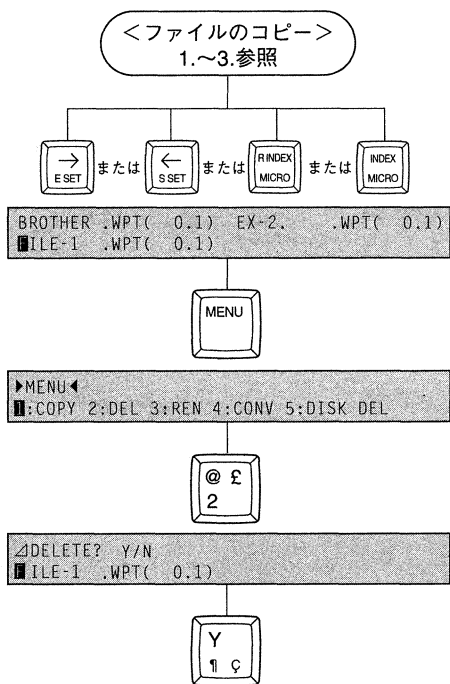


1. 電源スイッチを<ON>にすると、メインメニューが表示されます。
2. フロッピーディスクをセットします。
3. 数字キー“4”を押して<FILE MANAGEMENT>を選択します。ファイルマネジメント画面が表示されます。
4. カーソル移動キーを押して、コピーしたいファイルネームにカーソルを移動させます。
5. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
6. 数字キー“1”を押して、<COPY>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
注) 1. 別のフロッピーディスクにコピーしたい時は、フロッピーディスクを入れ替えます。
2. コピーを中止したいときは、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。
7. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
8. ファイルネームをタイプします。
注) ファイルネームの文字数は最大8文字です。アルファベット・数字・ハイフンが使用できません。
9. リターンキーを押すと、指定したファイルがコピーされます。

- 注) 1. ファイルのコピーが可能なファイルは、「EX-630」のテキストファイル、フォームタイピングファイル、ASCIIファイルとなり、「CX-1000α」のテキストファイルは、コピーできません。
2. すでに登録されている文書と同じファイルネームをタイプしてリターンキーを押すと、ディスプレイに<△FILE EXISTS. PRESS RTN TO OVERWRITE.>とメッセージ表示されます。リターンキーを押すと、すでに登録されているファイルに置き換えて登録します。
3. ファイルマネジメント画面を終了するには、ファイルキーを押します。ディスプレイにメインメニュー画面が表示されます。

2. ファイルの消去

ファイルの消去を行います。

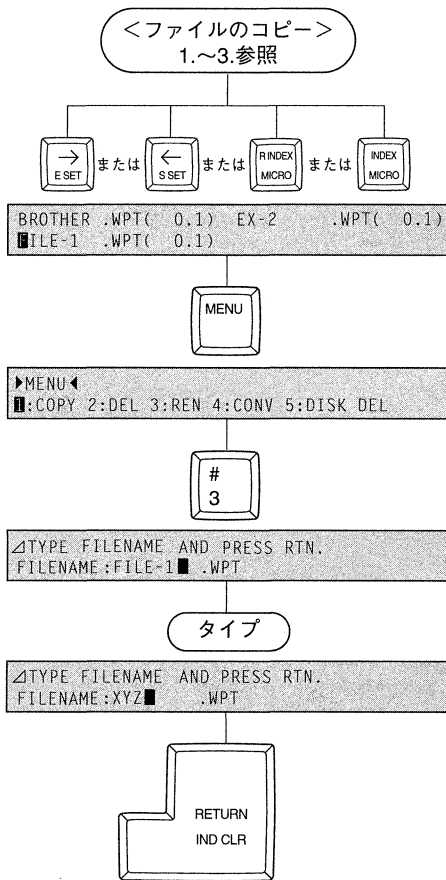


1. <ファイルのコピー>の1.~3.の操作を行い、ファイルマネジメント画面を表示させます。
2. カーソル移動キーを押して、消去したいファイルネームにカーソルを移動させます。
3. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
4. 数字キー“2”を押して、を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
5. 文字キー“Y”を押すと、指定したファイルが消去されます。
注) 消去を中止したい場合は文字キー“N”を押します。

注) ファイルのデリートが可能なファイルは、「EX-630」のテキストファイル、フォームタイピングファイル、ASCIIファイルとなり、「CX-1000α」のテキストファイルは消去できません。

3. ファイルのリネーム

ファイル名の変更を行います。



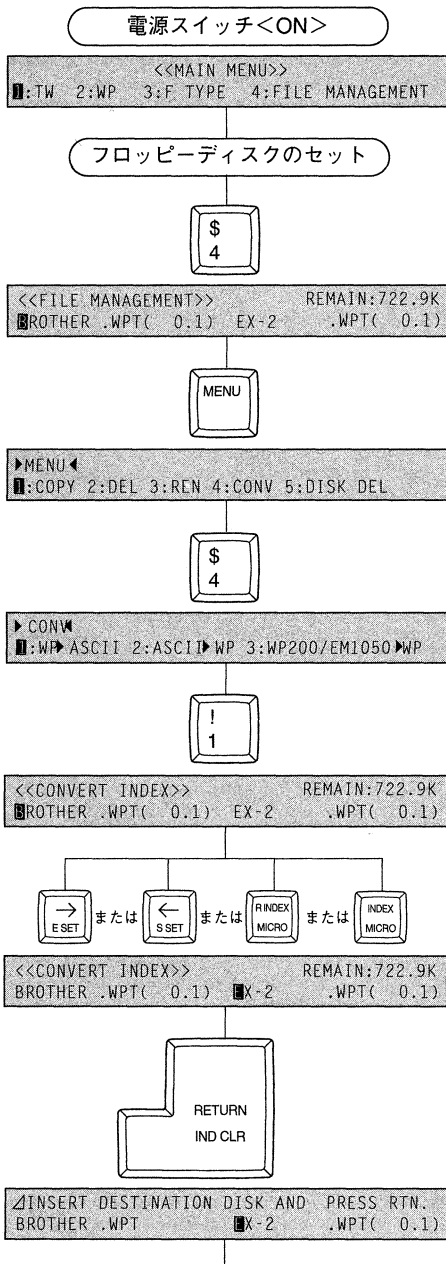
1. <ファイルのコピー>の1.~3.の操作を行い、ファイルマネジメント画面を表示させます。
2. カーソル移動キーを押して、リネームしたいファイルネームにカーソルを移動させます。
3. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
4. 数字キー“3”を押して、<REN>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
注) リネームを中止したいときはコードキーを押したままキャンセルキーを押します。
5. 新しいファイルネームをタイプします。
注) ファイルネームの文字数は最大8文字です。アルファベット・数字・ハイフンが使用できます。
6. リターンキーを押すと、ファイルネームが置き換わります。
注) フロッピーディスク内に同じファイルネームがすでに登録されている場合は、ディスプレイに<FILENAME ALREADY EXIST.>とメッセージ表示されます。ファイルネームをタイプし直します。

注) ファイルのリネームが可能なのは、「EX-630」のテキストファイル、フォームタイピングファイル、ASCIIファイルとなり、「CX-1000α」のテキストファイルは、リネームできません。

4. ファイルのコンバート

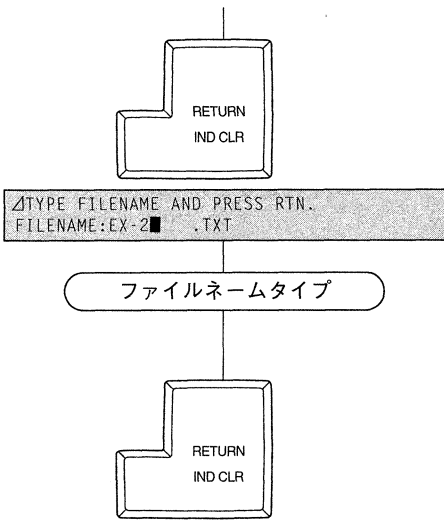
「EX-630」以外で作成したファイルをEX-630のテキストファイルとして呼び出したり、「EX-630」のテキストファイルをASCIIファイルにコンバートしたりすることができます。

A 「EX-630」のテキストファイルからASCIIファイルへのコンバート



1. 電源スイッチを<ON>にすると、メインメニューが表示されます。
2. フロッピーディスクをセットします。
3. 数字キー“4”を押して<FILE MANAGEMENT>を選択します。ファイルマネジメント画面が表示されます。
4. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
5. 数字キー“4”を押して<CONV>を選択します。コンバート画面が表示されません。
6. 数字キー“1”を押して、<WP▶ASCII>を選択します。コンバートインデックス画面が表示されます。
注) 「EX-630」のテキストファイルの拡張子はWPTで、ASCIIファイルの拡張子はTXTです。
7. カーソル移動キーを押して、ASCIIファイルにコンバートしたいファイルにカーソルを移動させます。
8. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。別のフロッピーディスクにコンバートしたファイルを登録したいときは、フロッピーディスクを入れ替えます。

9. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。



10. ASCIIファイル名をタイプします。

注) ASCIIファイル名の文字数は最大8文字です。アルファベット、数字、ハイフンが使用できます。

11. リターンキーを押すと、ASCIIファイルにコンバートされます。

注) すでに登録されているファイルと同じファイル名をタイプしてリターンキーを押すと、ディスプレイに<FILE EXISTS. PRESS RTN TO OVERWRITE.>とメッセージ表示されます。リターンキーを押すと、すでに登録されているASCIIファイルに置き換えて登録します。

● WP→ASCIIのコード変換処理

1. 基本的にはASCIIコードテーブルに従います。
ASCIIコードテーブルが無いときは、スペースに置き換わります。
2. KB:3のコードはすべてスペース扱いとなります。
3. ボールド、アンダーライン、スーパー/サブスクリプト等は無視されます。
4. デッド文字、重ね文字は基本的にベース文字のみ変換されます。
5. ファンクションコードは下記の様に変換されます。

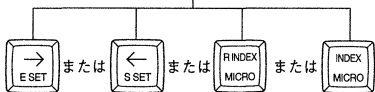
WPテキストコード	ASCIIコード
タブ、パラグラフインデント	タブ
リターン、インデントクリア	リターン
ページブレイク	無視
センタリング	無視
ライトマージンフラッシュ	無視
ストップコード	無視
ジャスティフィケーション	無視
ヘッダー、フッター	無視

B ASCIIファイルから「EX-630」のテキストファイルへのコンバート

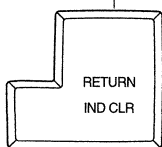
＜EX-630のテキストファイルからASCIIファイルへのコンバート＞1.～5.参照



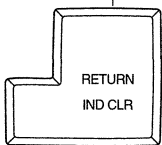
<<CONVERT INDEX>> REMAIN:722.9K
 ■BROTHER .TXT EX-2 .TXT



<<CONVERT INDEX>> REMAIN:722.9K
 BROTHER .TXT ■X-2 .TXT

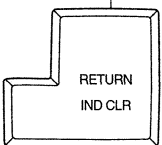


△INSERT DESTINATION DISK AND PRESS RTN.
 BROTHER .TXT ■X-2 .TXT



△TYPE FILENAME AND PRESS RTN.
 FILENAME:EX-2■ .WPT

ファイルネームタイプ



1. ＜「EX-630」のテキストファイルからASCIIファイルへのコンバート＞の1.～5.までの操作を行い、コンバート画面を表示させます。

2. 数字キー“2”を押して＜ASCII▶WP＞を選択します。コンバートインデックス画面が表示されます。

注) ASCIIファイルの拡張子はTXTで、「EX-630」のテキストファイルの拡張子はWPTです。

3. カーソル移動キーを押して、「EX-630」のテキストファイルにコンバートしたいファイルにカーソルを移動させます。

4. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。別のフロッピーディスクにコンバートしたファイルを登録したいときは、フロッピーディスクを入れ替えます。

5. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

6. テキストファイルネームをタイプします。

注) ファイルネームの文字数は最大8文字です。アルファベット、数字、ハイフンが使用できません。

7. リターンキーを押すと、EX-630のテキストファイルにコンバートされます。

注) ASCIIファイルの容量が32KBを越えているときは、途中でコンバートを中止し、ディスプレイに＜FILE SIZE TOO BIG TO CONVERT.＞とメッセージ表示されます。リターンキー、またはコードキーを押したままキャンセルキーを押すと、コンバートインデックス画面にもどります。

● ASCII→WPのコード変換処理

1. 基本的にはブラザー内部コードテーブルに従います。ブラザー内部コードテーブルに無いときは、スペースに置き換わります。
2. ASCIIファイルから「EX-630」のテキストファイルにコンバートすると、下記のようなラインフォーマットに設定されます。

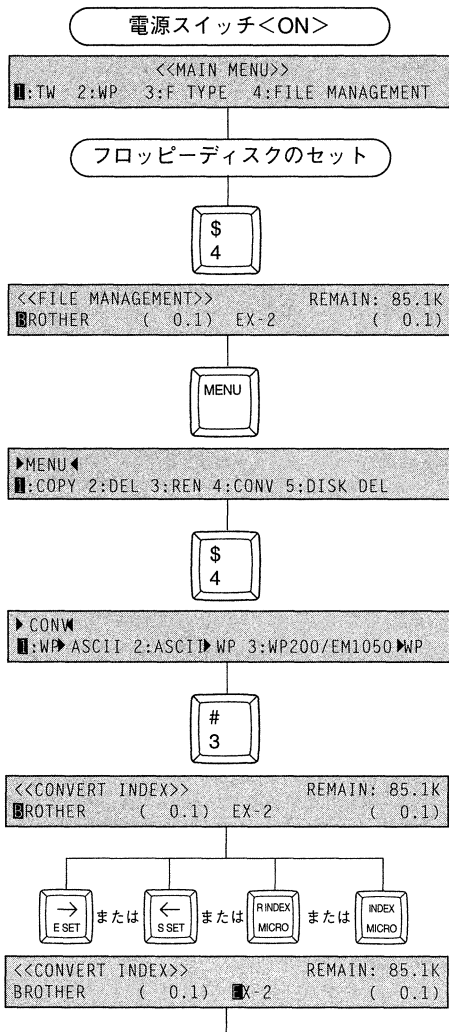
ラインフォーマット	設定値
文字ピッチ	10
ラインスペース	1
左マージン	10
右マージン	75
タブ	左右のマージン間に8文字ごと

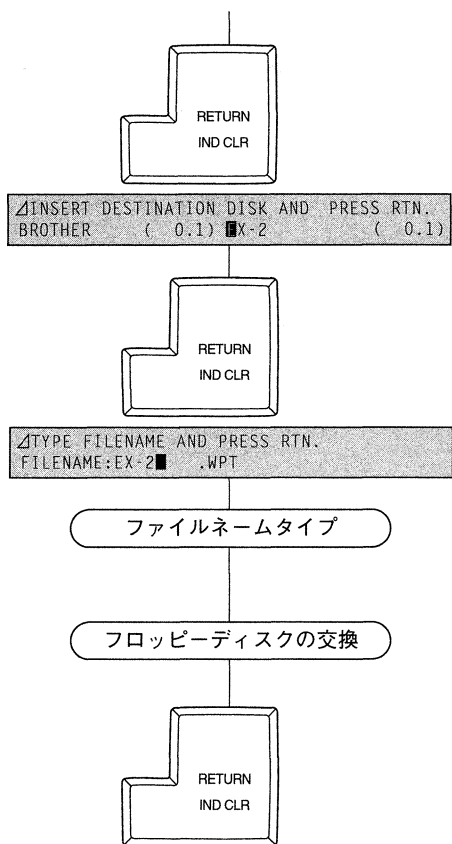
3. デッド文字、重ね文字は基本的にベース文字のみ変換されます。
4. ファンクションコードは、下記のように変換されます。

ASCIIコード	WPテキストコード
タブ	タブ
リターン	リターン

C 「CX-1000α」のテキストファイルから「EX-630」のテキストファイルへのコンバート

1. 電源スイッチを<ON>にするとメインメニューが表示されます。
 2. フロッピーディスクをセットします。
 3. 数字キー“4”を押して<FILE MANAGEMENT>を選択します。ファイルマネジメント画面が表示されます。
 4. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
 5. 数字キー“4”を押して、<CONV>を選択します。コンバート画面が表示されます。
 6. 数字キー“3”を押して、<WP200/EM1050▶WP>を選択します。コンバートインデックス画面が表示されます。
- 注) 「CX-1000α」のテキストファイルには拡張子がありません。「EX-630」のテキストファイルの拡張子はWPTです。
7. カーソル移動キーを押して、「EX-630」のテキストファイルにコンバートしたいファイルにカーソルを移動させます。





8. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

9. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

10. テキストファイルネームをタイプします。

注) ファイルネームの文字数は最大8文字です。アルファベット、数字、ハイフンが使用できません。

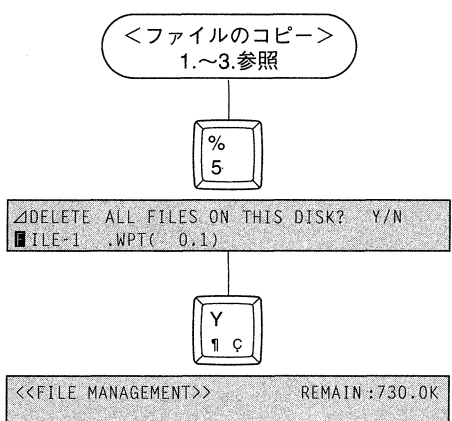
11. 「EX-630」で初期化したフロッピーディスクに交換します。〈フロッピーディスクの初期化〉(61ページ) 参照

12. リターンキーを押すと、「EX-630」のテキストファイルにコンバートされません。

注) 「CX-1000α」のテキストファイルを「EX-630」のテキストファイルにコンバートしたときのラインフォーマットは「CX-1000α」のテキストファイルで設定したラインフォーマットに従います。

5. ファイルの全消去

フロッピーディスクに登録されているファイルやユーザー辞書など、すべての内容を消去できます。



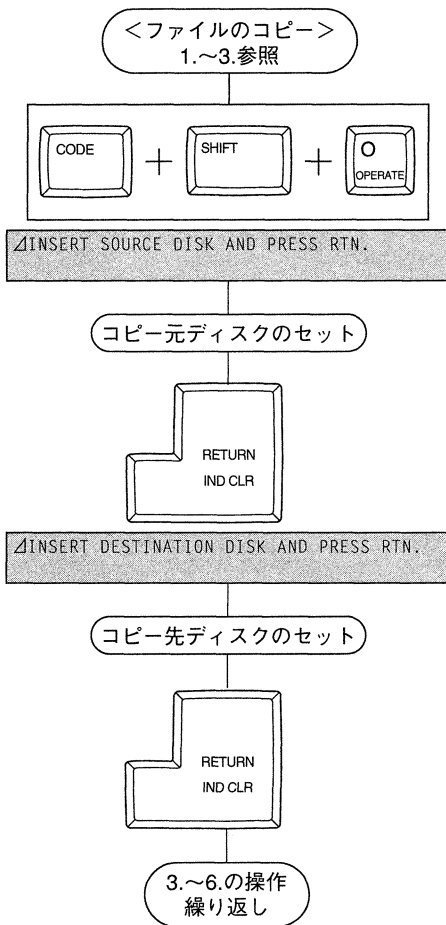
1. <ファイルのコピー>の1.~3.の操作を行い、ファイルマネジメント画面を表示させます。

2. 数字キー“5”を押して、<DISK DEL>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

3. 文字キー“Y”を押すと、フロッピーディスクに登録されている全ファイルが消去されます。

注) 消去を中止したい場合は文字キー“N”を押します。

6. ディスクコピー（隠し機能）



1. <ファイルのコピー>の1.~3.の操作を行い、ファイルマネジメント画面を表示させます。

2. コードキーと、シフトキーを押したまま文字キー“O”を押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

注) ディスクコピーを中止したい場合は、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。

3. コピー元ディスク (SOURCE DISK)をセットします。

4. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

注) ディスクコピーを中止したい場合は、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。

5. コピー先ディスク (DESTINATION DISK) をセットします。

6. リターンキーを押します。

7. 3.~6.の操作を数回繰り返します。ディスクコピーが終了すると、ディスプレイにファイルマネジメント画面が表示されます。

注) 1. コピー元ディスクとコピー先ディスクとの入れ替えが正しく行われなかった場合、ディスプレイに<ΔINCORRECT DISK. INSERT SOURCE DISK AND PRESS Δ.><ΔINCORRECT DISK. INSERT DESTINATION DISK AND PRESS Δ.>とメッセージ表示されます。もう一方のディスクに入れ替えてください。

2. コピー元ディスクが未初期化の場合、ディスプレイに<ΔUNIDENTIFIED DISK ERROR. INSERT NEW DISK AND PRESS Δ.>とメッセージ表示されます。コピー元ディスクを初期化してください。

第8章 ワードスペルチェック機能

ワードスペルチェック機能は、ミスの少ない文章を作成するための機能です。

1. ワードスペルチェック

長い文章をタイプすると、ついタイプミスをしてしまうことがあります。中にはうろ覚えのスペルの単語もあり、いちいち辞書で調べるのも面倒です。

ワードスペルチェックは、87,000語のアメリカ英語の辞書を内蔵しており、タイプした単語のスペルをチェックします。さらに正しいスペルを表示させ簡単に修正することもできます。

また、タイプミスとして同じ単語を続けて2回以上タイプすることがありますが、そのような箇所もチェックします。

内蔵辞書にない独自の単語はユーザー辞書に登録することができます。

A TW (タイプライター) モードでのワードスペルチェック

(1) ワンワードモード

● 印字モードの場合

1. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

2. 数字キー“3”を押して、<SPELL>を選択します。

3. 数字キー“2”を押して、<ONE WORD ON/OFF>を選択します。ディスプレイに<SP>と表示されます。

注) コードキーまたはアルトキーを押したままワードスペルチェックキーを押してもワードスペルチェックモードになります。

4. 文章をタイプします。タイプした単語がミススペルの場合、電子音が鳴り、ディスプレイにワードスペルチェックメニューが表示されます。

例 “The quick broen” をタイプしてスペースバーを押します。

<SUSPECT> ・ミススペルの単語を表示します。

・次のようなメニューがあります。

<IGNORE> ・タイプしたスペルをそのままにして次に進みたいときに選択します。

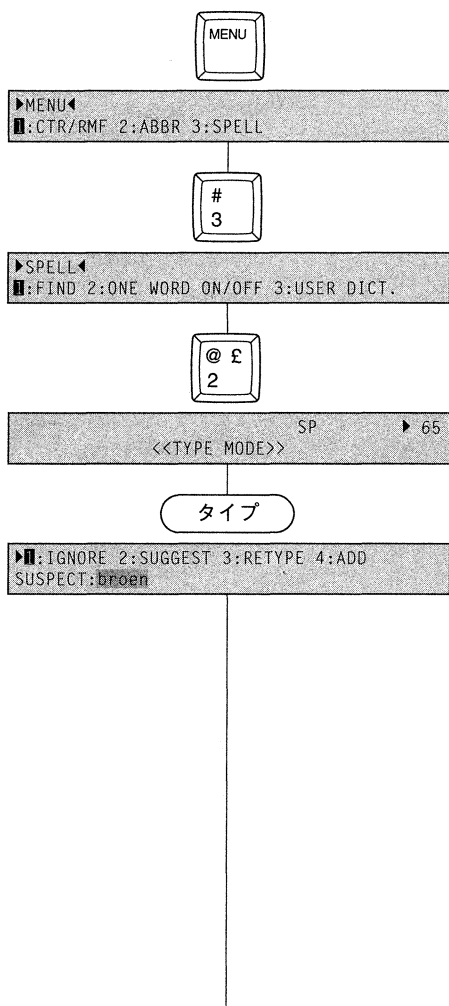
<SUGGEST> ・正しいスペルを内蔵辞書の中から捜したいときに選択します。

<RETYPE> ・正しいスペルにタイプし直すときに選択します。

<ADD> ・ユーザー辞書に登録するときに選択します。

注) 1. 1つの単語の文字数が33文字以上のときは、ワードスペルチェックしません。

2. コードキーを押したままキャンセルキーを押すともとにもどり、続けてタイプすることができます。



処理メニューの選択

① <IGNORE>



5. 数字キーを押して、処理メニューを選択します。

① <IGNORE>を選択した場合（無視するとき）

数字キー“1”を押して、<IGNORE>を選択します。チェックした単語をそのまま残してもとにもどります。

② <SUGGEST>



② <SUGGEST>を選択した場合（正しいスペルを表示させるとき）

① 数字キー“2”を押して、<SUGGEST>を選択します。ミスペルの単語は自動的に削除され、内蔵辞書から単語の候補を捜し出してディスプレイ表示されます。

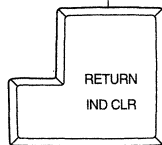
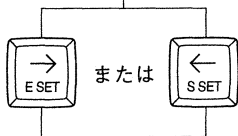
注) 1. その行だけで単語の候補を表示しきれない場合は、カーソルを右端の単語に移動させて、もう一度カーソルライトキーを押します。次の単語の候補が表示されます。

2. 内蔵辞書に該当する単語の候補がない場合は、ディスプレイに<NO SUGGESTIONS. PRESS RTN TO SEE MENU.>とメッセージ表示されます。リターンキーを押して、ワードスペルチェックメニューにもどします。

② カーソルライトキーまたはカーソルレフトキーを押して、置き替えたい単語にカーソルを移動させます。

③ リターンキーを押すと、選択した単語を印字してもとにもどります。

SUGGEST: brown broken brawn bruin brain
SUSPECT: broen



③ <RETYPE>



③ <RETYPE>を選択した場合（タイプし直すとき）

① 数字キー“3”を押して、<RETYPE>を選択します。ミスペルの単語は自動的に削除され、ディスプレイ表示されます。

② 正しい単語をタイプします。

注) 1. 1つの単語の文字数は32文字以内でタイプします。

2. アンダーライン付きの文字・ボールド文字をタイプし直す場合、タイプし直した文字もアンダーライン付きの文字・ボールド文字になります。

3. 途中で中止したいときは、コードキーを押したままキャンセルキーを押します。

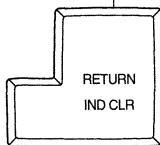
4. 何もタイプしていない時にインデックスキー、またはリバーインデックスキーを押すと、ミスペルの単語がそのままRETYPEの行に表示されます。

③ リターンキーを押すと、タイプし直した単語を印字してもとにもどります。

注) タイプし直した単語はスペルチェックしません。

RETYPE :
SUSPECT: broen

タイプ



④ <ADD>

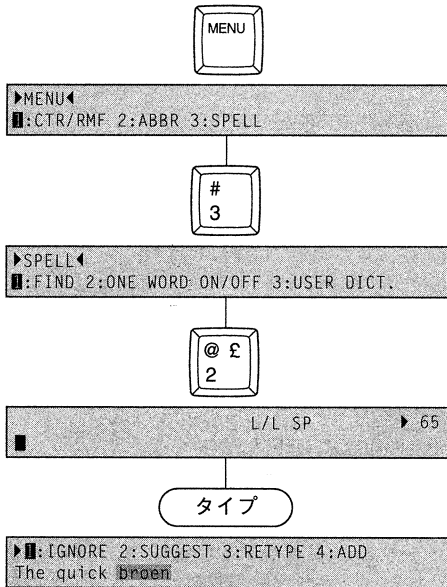


④ <ADD>を選択した場合（ユーザー辞書に登録するとき）

数字キー“4”を押して、<ADD>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示され、ユーザー辞書に登録されます。<ユーザー辞書>（123ページ）参照

WORD ADDED TO USER DICTIONARY.
<<TYPE MODE>>

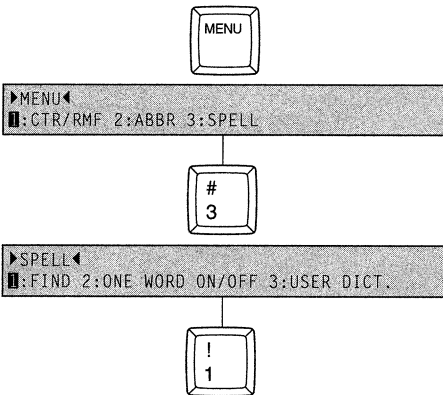
● 表示モードの場合



1. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
2. 数字キー“3”を押して、<SPELL>を選択します。
3. 数字キー“2”を押して、<ONE WORD ON/OFF>を選択します。ディスプレイに<SP>と表示されます。
4. 文章をタイプします。タイプした単語がミススペルの場合、その単語があみがけで点滅表示され、ディスプレイにワードスペルチェックメニューが表示されます。以降の操作は、印字モードの場合と同じです。<印字モードの場合>（117ページ）参照。

(2) ファインド

タイプ中の行であればワードスペルチェックモードに関係なく、タイプしたあとでミススペルの単語を捜し出すことができます。



1. 文章をタイプしたあとで、メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
2. 数字キー“3”を押して、<SPELL>を選択します。
3. 数字キー“1”を押して、<FIND>を選択すると、行の先頭からチェックを開始します。以降の操作は<TWモードでのワードスペルチェック・印字モードの場合>（117ページ）を参照してください。

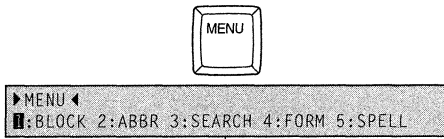
- 注) 1. コードキーを押したままゴートウキーを押してファインドチェックを開始することもできます。
2. ファインドチェックによりミススペルが発見された場合、置き換え等の操作を行うとファインドチェックは終了します。続けてチェックを行いたい場合は、再度メニュー画面より<FIND>を選択するか、コードキーを押したままゴートウキーを押してファインドチェックを開始します。
 3. 印字モード、表示モードともタイプした文章の途中でキャリヤ、またはカーソルがある時は、そのキャリヤ位置、またはカーソル位置からチェックを開始します。行末にキャリヤ、またはカーソルがあるときは、その行の先頭からチェックを開始します。
 4. 表示モードにおいて、ミススペルが発見され<SUGGEST>や<RETYPE>を選択して置き換えを行うと、置き換えた単語以降の文章が置き換えられます。但し、置き換えの際にミススペルの文字数より置き換える単語の文字数が多く、置き換えすると行末が右マージンを越えてしまうような場合、ディスプレイに<WORD TOO LONG.>がメッセージ表示され置き換えはできません。
 5. 印字モードにおいて、ミススペル単語が発見され<SUGGEST>や<RETYPE>を選択して置き換えを行う場合、ミススペル単語の文字数より置き換える単語の文字数が多ときは、ディスプレイに<WORD TOO LONG.>とメッセージ表示され、置き換えはできません。
 6. ミススペルの単語がなかった場合に、ファインドチェックを開始すると、ディスプレイに<NO ERROR FOUND.>とメッセージ表示されません。

B WP (ワープロ) モードでのワースペルチェック

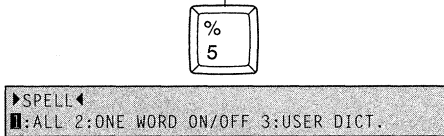
(1) ファイル作成中の場合

文章をタイプしながら、ワースペルチェックを行います。

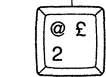
1. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。



2. 数字キー“5”を押して、<SPELL>を選択します。

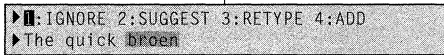


3. 数字キー“2”を押して、<ONE WORD ON/OFF>を選択すると、ワンワードスペルチェックモードに入り、ワープロモード編集画面にもどります。



4. 文章をタイプします。タイプした単語がミスペルの場合、その単語があみがけで点滅表示され、ディスプレイにワースペルチェックメニューが表示されます。

タイプ



以降の操作は<TWモードでのワースペルチェック・印字モードの場合>(117ページ)を参照してください。

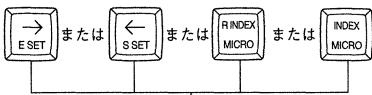
注) 1. コードキーを押したままワースペルチェックキーを押してもワースペルチェックメニュー画面を表示させることができます。

2. アルトキーを押したままワースペルチェックキーを押すと、ワースペルチェックモードのON/OFFの切り替えができます。

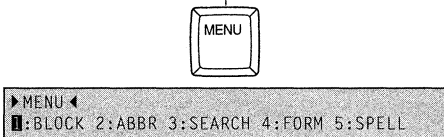
(2) ファイル作成後の場合

文章を作成したあと、まとめてワースペルチェックを行います。

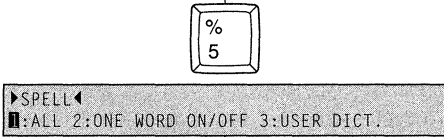
1. カーソル移動キーを押して、ワースペルチェックを始めたい位置にカーソルを移動させます。



2. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。



3. 数字キー“5”を押して、<SPELL>を選択します。



4. 数字キー“1”を押して、<ALL>を選択すると、カーソル以降の文章のチェックを開始します。ミスペルの単語を発見すると、その単語があみがけで点滅表示され、ディスプレイにワースペルチェックメニュー画面が表示されます。以降の操作は<TWモードでのワースペルチェック・印字モードの場合>(117ページ)を参照してください。

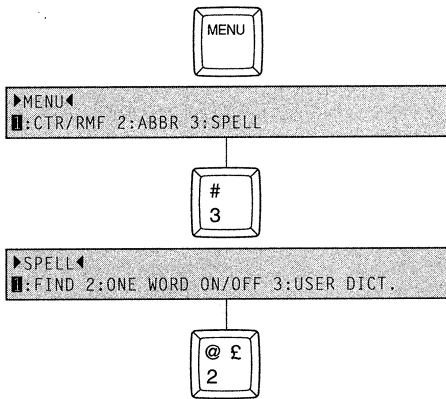


注) 1. ファイルの最後までミスペルの単語がなかった場合は、そのままワースペルチェックモードを解除します。

2. <RETYPE>でタイプし直した単語がミスペルの場合、もう一度ワースペルチェックメニュー画面が表示されます。

3. 途中で中止したいときはコードキーを押したままキャンセルキーを押します。

C ワードスペルチェックモードの解除



1. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
2. 数字キー“3”を押して、<SPELL>を選択します。
3. 数字キー“2”を押して、<ONE WORD ON/OFF>を選択します。ディスプレイの<SP>が消え、ワードスペルチェックモードが解除されます。

注) アルトキーを押したままワードスペルチェックキーを押してもワードスペルチェックモードを解除することができます。

D スペルの再チェック

タイプ中の行であれば、印字モードの場合はバックスペースキーを押して、表示モードの場合はカーソルレフトキーを押してキャリヤを前にもどし、スペースバー・リターンキーなどで単語のスペルを再チェックすることができます。スペルミスがあれば、ワードスペルチェックメニューが表示されます。

- 注) 1. すでに印字された文章中の単語をスペルチェックし、<SUGGEST>や<RETYPE>を選択した場合、ミススペル単語の文字数より置き換える単語の文字数の方が多いときはディスプレイに<WORD TOO LONG.>とメッセージ表示されます。
2. カーソルライトキーを押してスペルの再チェックをすることはできません。

E ワードスペルチェックの規則

● 単語の区切りとなるキー・ファンクションキー

- ・スペース
- ・パーマネントスペース
- ・スラッシュ
- ・リターン
- ・インデントクリア
- ・ラインインデント
- ・ライトマージンフラッシュキー (WPモードのみ)
- ・ハイフン
- ・パーマネントハイフン
- ・連続する2個以上のピリオド
- ・タブ
- ・ストップコード (WPモードのみ)
- ・ページブレイク (WPモードのみ)
- ・パラグラフインデント (WPモードのみ)

● 特殊なワードスペルチェック

- 1) 記号 アルファベットと同様、1単語としてチェックします。
例 NEW & NEXT NEW&NEXT をチェック。
..... アルファベットまたは、数字に囲まれていない部分の記号はすべて無視してチェックします。
例 brother " " を無視してbrother をチェック。
brother! ! を無視してbrother をチェック。
- 2) 数字 アルファベットと同様、1単語としてチェックします。
例 NO.2 NO.2 をチェック。
..... アルファベットを1文字も含まず、数字・記号だけの単語はチェックしません。
例 \$12.3 チェックしない。
1994 チェックしない。

- 3) アポストロフィ アルファベットと同様、1単語としてチェックします。
 例 abcde abcdeをチェック。
 アルファベットまたは、数字に囲まれていない部分のアポストロフィはすべて無視してチェックします。
 例 "word" wordをチェック。
 最後の単語がアポストロフィ+ Sで終わるとき。
 例 book's bookをチェック。
 例 book'S 大文字・小文字が混じっているときはbook'Sをチェック。
 例 books's アポストロフィの前の文字が1つのSのときはbooks'sをチェック。
 例 business's businessをチェック。

- 4) ピリオド 記号と同様にチェックします。
 ピリオドを連続して2個タイプしたとき。
 例 brother. 2個目の.を無視してbrother.をチェック。
 ピリオドのあとに単語の区切りとなるキーをタイプしたとき。
 例 brother. ピリオドより前をチェック。もしスペルミスならば、ピリオドを付けてチェック。

- 5) 重ね文字 最後にタイプした文字でチェックします。
 例 ABCとタイプしたあと、"A"の上にもどり"D"をタイプ。DBCをチェック。

- 6) デッド文字 デッド文字はチェックしません。
 例 a aをチェック。

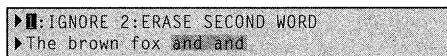
- 7) アンダーライン付き文字、ボールド文字、スーパースクリプト・サブスクリプト文字 通常の文字としてチェックします。
 例 ABC ABCをチェック。(WPモードのみ)
 ABC ABCをチェック。
 H₂O H₂Oをチェック。

- 8) エクスパンドでタイプした文字は、チェックしません。
 例 A B C チェックしない。

- 注) 1. ワードスペルチェックは米語で行います。 例 COLOR (米) COLOUR (英)
 2. キーボードセレクトキーを<2>に設定したときもスペルチェックをすることができます。しかしデッドキーは無視します。<3>に設定したときは、スペルチェックはできません。

2. リダンダントチェック

ワードスペルチェック中、同じ単語の繰り返しを発見するとユーザーに対して警告する機能です。



① <IGNORE>



② <ERASE SECOND WORD>



1. ワードスペルチェック中、リダンダントエラーを見つけると、ディスプレイにリダンダントチェックメニューが表示されます。

① <IGNORE>を選択した場合

2. 数字キー“1”を押して、<IGNORE>を選択します。チェックした単語をそのまま残して次のワードスペルチェック動作に入ります。

② <ERASE SECOND WORD>を選択した場合

2. 数字キー“2”を押して、<ERASE SECOND WORD>を選択します。うしろ側の単語が自動的に消去され、リフォーム終了後、ワードスペルチェックを再開します。
 TWモードの印字モードの場合は、うしろ側の単語が削除され、TWモードにもどります。

- 注) 1. チェックする単語の大文字、小文字は無視します。
 2. パーマネントスペースで区切られた1文字のアルファベットはチェックしません。ただし、通常のスペースで区切られた1文字のアルファベットはチェックします。
 3. 単語と単語の間にスペースが1つあるときのみチェックします。

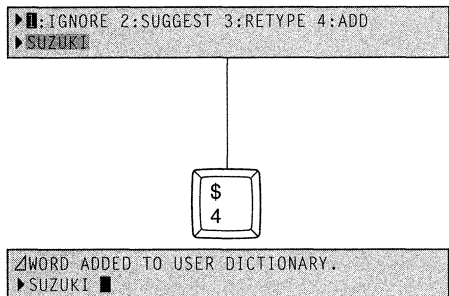
3. ユーザー辞書

文書を作成するとき、固有名詞や専門用語など内蔵辞書に登録されていない特殊な単語をよく使用する場合は、その単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておけば、ワードスペルチェックのときにチェックされずに済みます。ユーザー辞書は7文字平均で約204語登録できます。

A ユーザー辞書への登録

登録できる1単語の文字数は、2~32文字です。

例 <SUZUKI>をユーザー辞書へ登録する場合



1. ワンワードモードでワードスペルチェックを実施中に、タイプした単語がミスの場合、電子音が鳴りディスプレイにワードスペルチェックメニューが表示されます。<TWモードでのワードスペルチェック・ワンワードモード> (117ページ) または<WPモードでのワードスペルチェック・ファイル作成中の場合> (120ページ) 参照

2. 数字キー“4”を押して、<ADD>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示され、タイプされた単語<SUZUKI>がユーザー辞書に登録されます。

注) ワードスペルチェックできない単語は登録できません。

●スペルの再チェックを利用した登録

前にもどって単語を新たに登録することができます。

32 Gertrude Street Chelsea



TWモードの印字モードの場合、キャリヤの位置①でバックスペースキーを押して②まで移動します。次にスペースバーを押し、③の位置までキャリヤを移動させると電子音が鳴り、ワードスペルチェックメニューが表示されます。このとき“Gertrude”をユーザー辞書に登録することができます。

●ユーザー辞書登録のチェック規則

大文字・小文字は、そのまま登録できますが、チェックする単語は下表を参照してください。

ユーザー辞書に登録する単語	チェックする単語							
	abcd	Abcd	ABCD	aBcD	abcd.	Abcd.	ABCD.	aBcD.
abcd	○	○	○	×	○	○	○	×
Abcd	×	○	○	×	×	○	○	×
ABCD	×	×	○	×	×	×	○	×
aBcD	×	×	×	○	×	×	×	○
abcd.	×	×	×	×	○	○	○	×
Abcd.	×	×	×	×	×	○	○	×
ABCD.	×	×	×	×	×	×	○	×
aBcD.	×	×	×	×	×	×	×	○

× : 電子音が鳴る
○ : 電子音が鳴らない

●ユーザー辞書の学習機能

1. ユーザー辞書に新しく登録した単語は、ユーザー辞書の最後に登録されます。また、ワードスペルチェックで使用するとその単語は、ユーザー辞書の最後に移動して、登録順位が変わります。
2. ユーザー辞書が登録可能文字数以上になったときは、ユーザー辞書の先頭の単語から順に消去して新しい単語が登録されます。

B ユーザー辞書の消去

ユーザー辞書に登録した不要な単語を消去することができます。

1. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。



▶MENU ◀
■:BLOCK 2:ABBR 3:SEARCH 4:FORM 5:SPELL



▶SPELL ◀
■:ALL 2:ONE WORD ON/OFF 3:USER DICT.



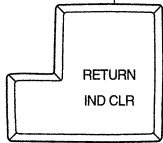
▶USER DICT. ◀
■:DEL ONE 2:DEL ALL 3:LOAD 4:SAVE



△SELECT WITH ■. PRESS RTN TO DELETE.
■SUZUKI



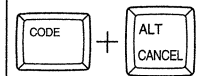
または



△DELETE WORD FROM USER DICTIONARY? Y/N
■SUZUKI



または



2. 数字キー“5”を押して、<SPELL>を選択します。

3. 数字キー“3”を押して、<USER DICT.>を選択します。ユーザー辞書メニュー画面が表示されます。

4. 数字キー“1”を押して、<DEL ONE>を選択します。デリートモード画面が表示されます。

5. カーソルアップキーまたはカーソルダウンキーを押して消去したい単語にカーソルを移動させます。

6. リターンキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

7. 文字キー“Y”を押すと、ユーザー辞書から単語が消去されます。デリートモード画面にもどります。

注) 消去を中止したい場合は、文字キー“N”を押します。

8. ユーザー辞書の消去が終了したら、ファイルキー、またはコードキーを押したままキャンセルキーを押します。もとの画面にもどります。

注) TWモードでもWPモードと同様にユーザー辞書の消去ができます。

● ユーザー辞書のサーチ

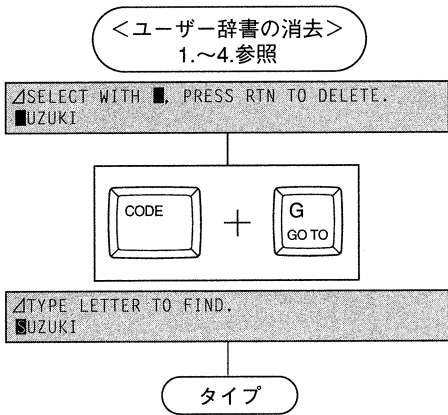
デリートモード画面で指定した文字から始まる単語をサーチすることができます。

1. <ユーザー辞書の消去>の1.~4.の操作を行い、ディスプレイにデリートモード画面を表示させます。

2. コードキーを押したままゴートゥーキーを押します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

3. アルファベットキー、または数字キーをタイプすると、指定した文字から始まる単語から表示します。

注) コードキーを押したままキャンセルキーを押すと、デリートモード画面にもどります。



C ユーザー辞書の全消去

ユーザー辞書に登録したすべての単語を消去することができます。

1. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。

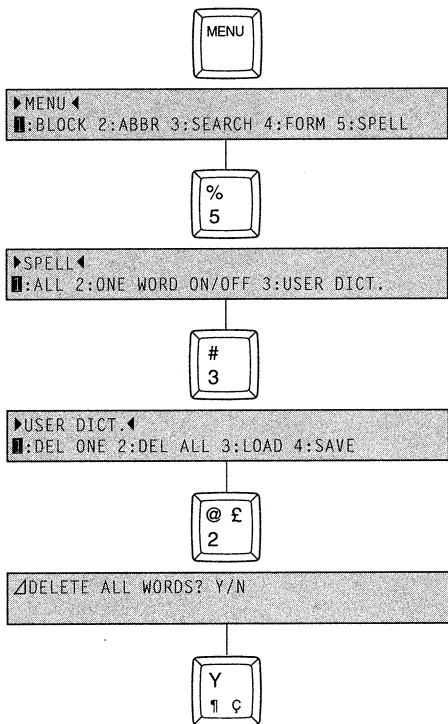
2. 数字キー“5”を押して、<SPELL>を選択します。

3. 数字キー“3”を押して、<USER DICT>を選択します。ユーザー辞書メニュー画面が表示されます。

4. 数字キー“2”を押して、<DEL ALL>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。

5. 文字キー“Y”を押すと、ユーザー辞書に登録されている単語がすべて消去されます。

注) 全消去を中止したい場合は、文字キー“N”を押します。

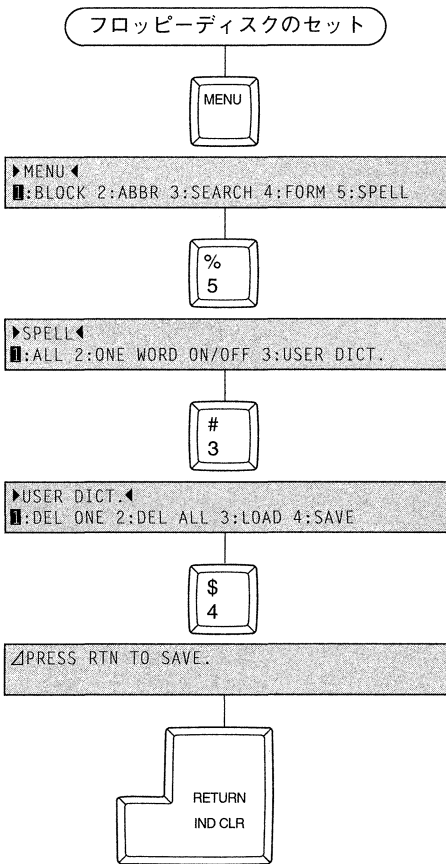


注) TWモードでもWPモードと同様にユーザー辞書の全消去ができます。

D ユーザー辞書のフロッピーディスクへの登録

本体メモリー内のユーザー辞書をフロッピーディスクに登録することができます。目的ごとにユーザー辞書を使い分けたい場合は、いくつかのフロッピーディスクにユーザー辞書を登録しておくとう便利です。

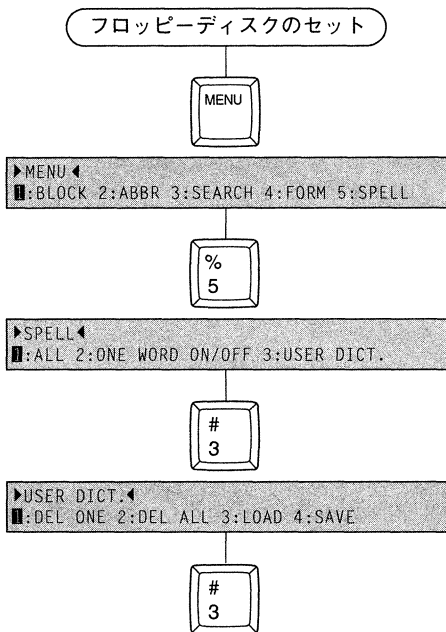
1. フロッピーディスクをセットします。
2. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
3. 数字キー“5”を押して、<SPELL>を選択します。
4. 数字キー“3”を押して、<USER DICT>を選択します。ユーザー辞書メニュー画面が表示されます。
5. 数字キー“4”を押して<SAVE>を選択します。ディスプレイにメッセージ表示されます。
6. リターンキーを押すと、フロッピーディスクに登録されます。
注) コードキーを押したままキャンセルキーを押すと、ユーザー辞書のフロッピーディスクへの登録を中止します。



注) フロッピーディスクにすでにユーザー辞書が登録されている場合は、ディスプレイに<∟USER DICTIONARY EXISTS. PRESS RTN TO OVERWRITE.>とメッセージ表示されます。リターンキーを押すと、フロッピーディスクに登録されているユーザー辞書を消去して新しいユーザー辞書がフロッピーディスクに登録されます。

E ユーザー辞書のフロッピーディスクからの呼び出し

ユーザー辞書を使ってワードスペルチェックを行う場合、ワードスペルチェックを行う前にフロッピーディスクに入っているユーザー辞書を本体メモリーに呼び出します。



1. フロッピーディスクをセットします。
2. メニューキーを押して、メニュー画面を表示させます。
3. 数字キー“5”を押して、<SPELL>を選択します。
4. 数字キー“3”を押して、<USER DICT>を選択します。ユーザー辞書メニュー画面が表示されます。
5. 数字キー“3”を押して、<LOAD>を選択します。フロッピーディスクからユーザー辞書を呼び出します。

- 注) 1. 本体メモリー内にすでにユーザー辞書が登録されている場合は、ディスプレイに<USER DICTIONARY EXISTS. PRESS RTN TO OVERWRITE.>とメッセージ表示されます。リターンキーを押すと、本体メモリー内に登録されているユーザー辞書を消去してフロッピーディスクからユーザー辞書を呼び出します。
2. コードキーを押したままキャンセルキーを押すと、ユーザー辞書の呼び出しを中止します。

● スペリングプログラムについて

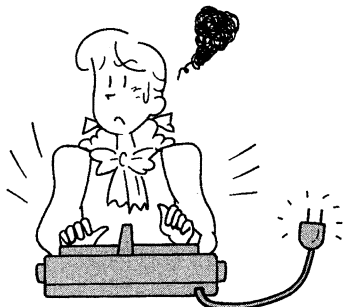
スペリングプログラムは米国マサチューセッツ州ボストンのホートン・ミフリン社が所有・開発したものであり、著作権はホートン・ミフリン社に帰属します。
このプログラムあるいはアルゴリズムの複製または分解は禁じられています。なお、このスペリングプログラムは“The American Heritage Dictionary”に基づいて開発されたものです。

こんなときは・・・？

製品については万全を期しておりますが、もし何か本体に異常があるときは、下記の項目についてチェックしてください。それでもなお、正常に作動しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは・・・？

- 電源スイッチを<ON>にしても作動しないときは・・・



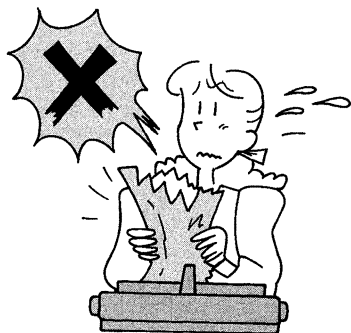
- タイプしても印字しなかったり、文字が乱れているときは・・・



- コレクション機能がはたらかないときは・・・



- プラテンに紙がからまったりラベルが張りついてしまったときは・・・



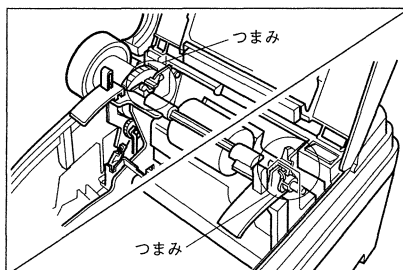
こうしてください・・・！

1. 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。<電源コード・電源スイッチ> (2ページ) 参照
2. トップカバーがしっかりと閉めてあるか確認してください。<トップカバー> (3ページ) 参照

1. デイジーホイールカセットが正しく挿入されているか確認してください。<デイジーホイールカセット> (5ページ) 参照
2. カセットリボンがなくなっていないか？ 消耗しているときは、新しいリボンを取り付けてください。<カセットリボン> (6ページ) 参照
3. カセットリボンが正しく取り付けられているか確認してください。<カセットリボン> (6ページ) 参照
4. キーボードが正しい位置に設定されているか確認してください。<キーボードセレクトキー> (15ページ) 参照

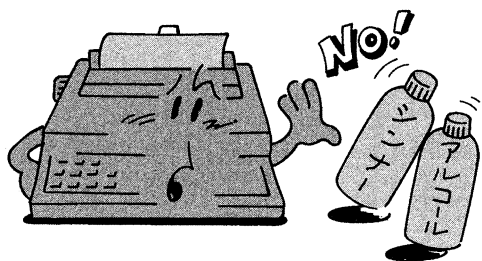
1. コレクションテープがなくなっていないか？ 消耗しているときは新しいテープを取り付けてください。<コレクションテープ> (7ページ) 参照
2. コレクションテープが正しく取り付けられているか確認してください。<コレクションテープ> (7ページ) 参照
3. 使用中のコレクションテープとカセットリボンが適合しているかどうか確認してください。<カセットリボン> (6ページ)、<コレクションテープ> (7ページ) 参照

下図に示すつまみを持ち上げ、プラテンをはずして処理してください。

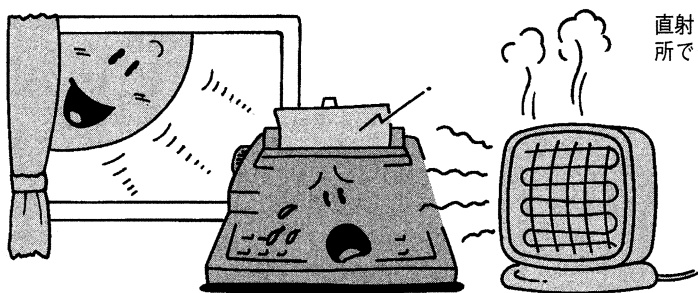


タイプライターの手入れとご注意

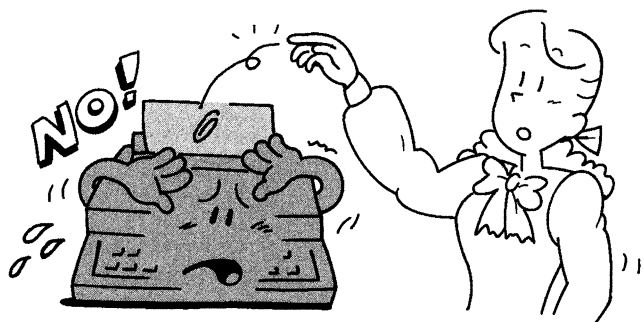
本機をいつも快適に、また長くご使用いただくために次の点にご注意ください。



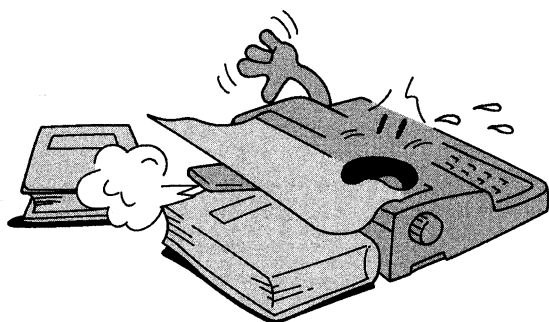
カバー、キーなどの掃除にアルコールやシンナー、その他有機溶剤、化学ぞうきんなどを使用しないでください。使用すると本体が変色、変形を起こす場合があります。ゴミ・ホコリはかるくふく程度にしてください。



直射日光の当たる場所、高温を発生する物の近くや振動の大きな場所では使用しないでください。



クリップや他の金属物を、本機の中に落とさないでください。故障の原因になる場合があります。



本機の底や背のスリットは空気の入出口のため、物などを置かないでください。本機は水平に置いてください。

エラーメッセージ一覧表

△BACKUP MEMORY CLEARED.	<内容> バックアップメモリーがクリアされた場合。<リセット> (2ページ) 参照
△CHECK DISK.	<内容> FDに異常がある場合。 <処理> 一度電源スイッチを入れ直し、再度同じメッセージが出る場合は、販売店に修理を依頼する。
△CHECK PRINTER.	<内容> プリンターに故障がある場合や、コレクション後リボンがあがったままになる場合。 <処理> まず電源スイッチを切り、プリンター部分 (キャリヤ) にゴミなどがはさまってないかを確認して、もう一度電源を入れ直す。
△COVER OPEN.	<内容> トップカバーが開いている場合。<トップカバー> (3ページ) 参照
△DISK FULL. INSERT NEW DISK AND PRESS RTN.	<内容> ディスク残容量が処理上不足している、または無い場合。 <処理> 新しいディスクに交換し、リターンキーを押して処理を続行する。
△FILE EXISTS. PRESS RTN TO OVERWRITE.	<内容> ファイルの登録、コピー、コンバートの時、ディスク内にすでに存在するファイル名を入力した場合。 <処理> リターンキーを押すと、置き換える。違うファイル名を入力してリターンキーを押すと、違うファイル名で実行する。
△INCORRECT KEYBOARD.	<内容> キーボード設定を<KB:3>でファイル名入力をしようとした場合。 <処理> キーボード設定を<KB:1>か<KB:2>に切り替えてファイル名を入力する。<キーボードセレクトキー> (15ページ) 参照
△INITIALIZE? Y/N	<内容> フロッピーディスクを初期化する場合や、他機種でフォーマットされているディスクであることが判明した場合。 <処理> 文字キー“Y”を押すと、ディスクの初期化を実行する。文字キー“N”を押すと、ディスクの初期化を行わずもとの画面にもどる。<フロッピーディスクの初期化> (61ページ) 参照
△INSERT DISK AND PRESS RTN.	<内容> ディスク未装着時、ディスク処理を行おうとした場合。 <処理> ディスクを挿入後、リターンキーを押して処理を実行する。
△INVALID FILE TYPE. PRESS CANCEL.	<内容> 「EX-630」で使用できないファイルの場合。 <処理> コードキーを押したままキャンセルキーを押して、処理を中止する。
△MAX. NUMBER OF ITEMS EXCEEDED. PRESS RTN TO RESTART.	<内容> フォームタイピングファイルの編集時、フィルインデータを入力後、リターンキーまたはタブキーを押して、フィルインデータが設定されている最終アイテムを越えた場合。 <処理> リターンキーを押して用紙を排出し、アイテム1より編集を再開する。コードキーを押したままファイルキーを押して、アイテムを追加する。<フォームタイピングファイルの作成> (97ページ) 参照
△MEMORY FULL	<内容> 1ファイル内の残りメモリー容量がなくなる場合。 <処理> 更に登録したい場合は、不要なデータを消去するか、新しいファイルに登録する。
△NO TEXT AREA.	<内容> ペーパーサイズでテキストエリアが0行になるような入力があった場合やヘッダー、フッターの追加設定によりペーパーサイズのテキストエリアが0行になるような場合。 <処理> ペーパーサイズを設定し直す。<ペーパーサイズ> (93ページ) 参照
△NOT ENOUGH MEMORY REMAINING.	<内容> 4.0K以上のデータをテンポラリーメモリーへ登録しようとした場合。

△PHRASE MEMORY FILE ALREADY EXISTS.
PRESS RTN TO OVERWRITE.

<内容> 本体メモリー内にすでにフレーズ短縮メモリーが存在する時に、ディスク内からフレーズ短縮メモリーを呼び出そうとした場合。
ディスク内にフレーズ短縮メモリーが存在する時に、本体メモリー内のフレーズ短縮メモリーを登録しようとした場合。
<処理> リターンキーを押すと置き換える。コードキーを押したままキャンセルキーを押すと、呼び出し、登録を中止する。<フレーズ短縮メモリーのフロッピーディスクへの登録> (71ページ) 参照

△PHRASE MEMORY FULL.

<内容> フレーズ短縮メモリー作成中にメモリーフルとなった場合。
<処理> 更に登録したい場合は不要なフレーズ短縮メモリーを消去する。

△POWER FAILURE...RECOVER AUTO SAVE FILE?
PRESS RTN OR CANCEL.

<内容> 電源スイッチを<ON>にした時、オートセーブファイルがある場合。
<処理> リターンキーを押すとWPモードに入り、オートセーブされていたドキュメントファイルの編集画面となる。コードキーを押したままキャンセルキーを押すと、オートセーブされていたドキュメントファイルを消去して、メインメニュー画面を表示する。

△ROM DOWN.

<内容> ROM (コントロール部) に異常がある場合。
<処理> 一度電源スイッチを入れ直して、再度同じメッセージがでる場合は販売店に修理を依頼する。

△RAM DOWN.

<内容> RAM (メモリー) に異常がある場合。
<処理> 一度電源スイッチを入れ直して、再度同じメッセージがでる場合は販売店に修理を依頼する。

△TOO MANY FILES ON DISK.
INSERT NEW DISK AND PRESS RTN.

<内容> ディスク内の規定ファイル数 (112個) を越えようとした場合。
<処理> 新しいディスクに交換し、リターンキーを押して処理を続行する。

△TOO MANY FORMAT MARKERS.

<内容> ドキュメントファイル編集集中、1ファイル内で99より多くのフォーマット設定をしようとした場合。

△UNIDENTIFIED DISK ERROR.
INSERT NEW DISK AND PRESS RTN.

<内容> 傷ディスクであることが判明した場合。
<処理> 新しいディスクに交換し、リターンキーを押して処理を続行する。

△USER DICTIONARY EXISTS.
PRESS RTN TO OVERWRITE.

<内容> 本体メモリー内のユーザー辞書にすでに単語が登録されている時に、ディスクからユーザー辞書を呼び出そうとした場合。
ディスク内にユーザー辞書ファイルが存在する時に、本体メモリー内のユーザー辞書を登録しようとした場合。
<処理> リターンキーを押すと置き換える。コードキーを押したままキャンセルキーを押すと、呼び出し、登録を中止する。<ユーザー辞書のフロッピーディスクへの登録> (126ページ) 参照

△WORD(S) NOT FOUND.

<内容> サーチ、リプレース、ハイフンスキャンで該当する単語が存在しない場合。

△WRITE PROTECTED DISK.
MOVE TO PROTECT TAB, PRESS RTN TO RETRY.

<内容> ライトプロテクトされているディスクに書き込みをしようとした場合。
<処理> ライトプロテクトを解除し、リターンキーを押して処理を続行する。
<フロッピーディスク> (60ページ) 参照

仕様

印字方法	カセット式デジール（96文字） ブルーアム10（標準装備）
印字スピード	20文字/秒
印字ピッチ	10（1行内の最大印字数120文字） 12（1行内の最大印字数144文字） 15（1行内の最大印字数180文字） PS（1行内の最大印字数238文字）
最大用紙幅	393.7mm（15.5インチ）
最大印字幅	304.8mm（12.0インチ）
コピー能力	オリジナル+コピー4枚
ラインスペース	1行、1 1/2行、2行
カセットリボン	コレクタブルカーボンリボン（標準装備） ナイロンリボン
コレクションテープ	リフトオフコレクションテープ（標準装備） カバーラップコレクションテープ
コレクションメモリー	1行
バックアップ電池	約5年
キーボードメモリー	50文字
キーボード	46文字キー
消費電力	52W
寸法	500mm（幅）×428mm（奥行）×150mm（高さ）
重量	9kg

仕様は都合により変更する場合があります。

消耗品

消耗品は当社の製品をお使いください。当社の製品以外をご使用になり故障の原因となった場合は、保証できない場合があります。

	品名	部品コード	リボン番号
カセットリボン	コレクタブルカーボンリボン（黒）（標準装備）	575484010	7020
	ナイロンリボン（黒）	575496010	8020
コレクションテープ	リフトオフコレクションテープ（標準装備）	542792001	
	カバーラップコレクションテープ	542803001	
デジールカセット			

保証書について・・・

この製品には保証書がついています。保証書は販売店で発行しますから、お買い上げの販売店から必ずお受け取りいただき、大切に保存してください。

索引

あ	アプリケーションキー<ABBR>	50, 70
	イジェクトボタン	1
	インサートキー<INSERT>	80
	インターナショナルキーボード	15
	インデックスキー<INDEX>	13, 22
	インデントクリアキー	36, 77
	インパクトセレクトキー<IMPACT>	14
	エクストラ文字キー	22
	エクスパンドキー<EXPAND>	28
	エクस्प्रेसバックスペースキー<EXPR> ..	12, 20, 58
	L/Lモード	11
	エラーメッセージ一覧表	130
	エンドオブテキストキー	58
	エンドオブラインキー	13, 58
	エンドラインセットキー<E SET>	46
	オートアンダーラインキー<UNDLN>	29
	オートセーブ	59
	AUTモード	10
	オペレートキー<OPERATE>	10

か	カーソルアップキー	58
	カーソル移動キー	58
	カーソルダウンキー	58
	カーソルライトキー	12, 13, 58
	カーソルレフトキー	12, 13, 58
	重ね文字	24
	カセットリボン	6
	取りはずし方	6
	取り付け方	6
	キーボードセレクトキー<KEYBOARD>	15
	機器構成 (名称とはたらき)	1
	キャプスキー<CAPS>	21
	キャリヤ	1
	キャリヤ移動キーとカーソル移動キー	12
	ゴートウキー<GO TO>	92
	コピーコントロールレバー	3
	コレクションキー<CORRECT>	37
	コレクション<CORRECT>	37
	オートコレクション	37
	マニュアルコレクション	38
	コレクションテープ	7
	取りはずし方	7
	取り付け方	7
	こんなときは・・・?	128

さ	サーチキー<SEARCH>	88
	索引	133
	サブスクリプト (下つき文字)	27
	シフトキー<SHIFT>	21
	シフトロックキー<SHIFT LOCK>	21
	JSTモード	11
	仕様	132
	消耗品	132
	シンボルキーボード	15
	スーパーサブスクリプト (上つき文字)	26
	スタートラインセットキー<S SET>	46
	ストップコードキー<S CODE>	95
	スペースバー	12
	センタリング<CTR>	34, 78
	マージン間のセンタリングの設定	34, 78
	タブ間のセンタリングの設定	34, 79
	任意の位置でのセンタリングの設定	35
	センタリングの解除	35, 80
	センタリングキー<CTR>	34, 78

た	TWディスプレイ表示	9
	タイプライターの手入れとご注意	129
	TW (タイプライター) モード	8
	TW (タイプライター) モードでの フレーズ短縮メモリーの呼び出し	50
	TW (タイプライター) モードでの ワードスペルチェック	117
	ワンワードモード	117
	ファインドモード	119
	タブ	30, 73
	タブの設定<T SET>	30
	タブの実施<TAB>	30, 73
	タブの解除<T CLR>	30
	タブのオールクリア	30
	タブの自動設定	31
	デジタイザカセット	5
	取りはずし方	5
	取り付け方	5
	ディスクコピー (ファイルマネジメントモード) ..	116
	ディスプレイ	1
	テキストファイル	62
	テキストファイルの登録	62
	テキストファイルの編集	63
	テキストファイルのコピー	64
	テキストファイルの消去	65
	テキストファイルのリネーム	66
	テキストファイルの打ち出し	67
	テキストファイル中のファンクション表示	57
	テキストファイル中のフォーマットコードの消去 ..	82
	テキストファイル中の ラインフォーマットの呼び出し	82
	テキストファイル中のラインフォームの変更	81
	デシマルタブ	31, 74
	デシマルタブの設定<DT SET>	31
	デシマルタブの実施<TAB>	32, 74
	デシマルタブの解除<T CLR>	32
	デッドキー	23
	電源コード	2
	電源スイッチ	1, 2
	テンプキー<TEMP>	86
	テンポラリーメモリー<TEMP>	86
	テンポラリーメモリーの登録	86
	テンポラリーメモリーの呼び出し	87
	トップオブテキストキー	58
	トップオブラインキー	13, 58
	トップカバー	1, 3

な	NORMALモード	10
----------	-----------------	----

は	ハイフンスキャン	91
	パーマネントスペースバー	10, 12
	パーマネントハイフンキー	10
	バックアップ機能	2
	バックスペースキー<BKSP>	12, 20
	バックスペース1キー<BS 1>	12, 20
	パラグラフインデントの解除<IND CLR>	36
	反射防止板	1
	ピッチセレクトキー<PITCH>	16
	ファイルキー<FILE>	62
	ファイルのコピー (ファイルマネジメントモード)	108
	ファイルのコンバート (ファイルマネジメントモード)	111
	ファイルの消去 (ファイルマネジメントモード) ..	109
	ファイルの全消去 (ファイルマネジメントモード)	115

ファイルのリネーム (ファイルマネージメントモード)	110	ヤ 用紙の挿入	4
フォーマットキー<FORMAT>	45	自動挿入<PINS>	4
F TYPE ディスプレイ表示	96	手動挿入	4
フォームタイピングファイルの打ち出し	106	ユーザー辞書	123
フォームタイピングファイルのコピー	103	ユーザー辞書への登録	123
フォームタイピングファイルの作成	97	ユーザー辞書の消去	124
フォームタイピングファイルの消去	104	ユーザー辞書のフロッピーディスクへの登録	126
フォームタイピングファイルの登録	99	ユーザー辞書のフロッピーディスクからの 呼び出し	127
フォームタイピングファイルの編集	100		
フォームタイピングファイルのリネーム	105		
ブラテン	1	ら ライトマージンフラッシュキー<RMF>	33, 75
ブラテンノブ	1, 4	ラインインデントキー<L IND>	37, 77
プリントキー<PRINT>	52, 68, 107	ラインアウトキー<LINE OUT>	44
フリーズ短縮メモリー	69	ラインスペースセレクトキー<LINE>	14
フリーズ短縮メモリーの登録	69	ラインフォーマット	45
フリーズ短縮メモリーの呼び出し	70	ラインフォーマットの登録	45
フリーズ短縮メモリーの消去	70	ラインフォーマットの呼び出し	45
フリーズ短縮メモリーの フロッピーディスクへの登録	71	ラインフォーマットのクリア	45
フリーズ短縮メモリーの読み込み	72	リセット	2
フレーミング	48	リターンキー	12
フレーミングの枠指定	48	リダナントチェック	122
フレーミングの枠指定の解除	49	リプレース	89
フレーミングの中止	49	リバースインデックスキー<R INDEX>	13, 22
フレームキー<FRAME>	48	リロケートキー<RELOC>	13, 58
ブロック	83	レイアウト例	135
ブロックコピー	83		
ブロックデリート	84	わ ワードアウトキー<WORD OUT>	42
ブロックムーブ	85	ワードスペルチェックキー<SPELL>	120
フロッピーディスク	60	ワードラップ	90
フロッピーディスク取り扱い上のご注意	60	WPディスプレイ表示	57
フロッピーディスクのセットと取り出し	61	WP (ワープロ) モード	56
フロッピーディスクドライブ	1	WP (ワープロ) モードでのワードスペルチェック	120
フロッピーディスクの初期化	61		
フロッピーディスク容量について	59		
ページエンド	47		
ページブレイクキー<P BREAK>	95		
ペーパーインサートキー<P INS>	4		
ペーパーエッジガイドマーク	1		
ペーパーエンドインジケータ	1		
ペーパーガイド	1, 4		
ペーパーサイズ	93		
ペーパーサポーター	1		
ペーパーベイル	1		
ペーパーベイルレバー	1, 4		
ペーパーメーターの使い方	39		
ペーパーリリースレバー	1, 4		
ヘッダー・フッター	94		
防音カバー	1		
ボールドキー<BOLD>	28		
ホットゾーン	19		
ホットゾーンセットキー<HZ SET>	19		

ま マージン	17
左マージンの設定<L MAR>	17
右マージンの設定<R MAR>	18
マージンの解除	18
マージンスケール	1, 3
マイクロインデックスキー<MICRO>	13, 22
マイクロリバースインデックスキー<MICRO>	13, 22
マイクロスペースキー	12
マイクロバックスペースキー	12
マニュアルコレクションキー	38
マルチリンガル	51
マルチリンガルキーボードの設定	51
マルチリンガルキーボードの解除	52
マルチリンガルキー配列の印字	52
キーボードコード表	53
マルチリンガルキー配列	53
文字の修正 (TW・表示モード)	41
文字の消去 (TW・表示モード)	41
文字の挿入 (TW・表示モード)	40

レイアウト例

センタリング (34ページ) マージン間の中央に印字。

ボールド (28ページ) 太文字を印字。

ライトマージンフラッシュ (33ページ) 右マージンで右寄せ印字。

右マージン (18ページ) 用紙に印字する右端。

左マージン (17ページ) 用紙に印字する左端。

オートアンダーライン (WRD) (29ページ) 単語だけに下線を印字。

ラインインデント (37ページ) 5文字分のスペースをあげる。

ホットゾーン (19ページ) 右マージンから手前6文字分。

パラグラフインデント (36ページ) 仮の左マージンを設定。

ピッチ (16ページ) タイプピッチの変更。

ラインスペース (14ページ) 行送りの変更。

タブ (30ページ) 文章中、頭ぞろえで印字。

タブ間のセンタリング (34ページ) タブ間の中央に印字。

フレーミング (48ページ) 作表。

キャプス (21ページ) アルファベットの太文字と数字を同時にタイプ。

サブスクリプト (27ページ) 下つき文字を印字。

オートアンダーライン(CNT) (29ページ) 文章全体に下線を印字。

デシマルタブ (31ページ) 小数点ぞろえで印字。

Brother Electronic Typewriter

June 21, 1994

17, Ashley Drive,
Maidstone,
Kent.

Dear Purchaser,

This letter was typed on a **Brother EX-630 electronic typewriter** to show you just some of the many outstanding feats this electronic typewriter can perform.

In fact, you have seen some of these features already in this letter. **Centering** has placed the title right in the center of the left and right margins, and **Bold** typing has made the title and the features we are writing about stand out. You will also have noticed that the date has been aligned with the right margin. That was done with the **Right Margin Flush** function. The first paragraph of this letter was indented on the first line with the line with the **Line Indent** key, while this paragraph itself has been automatically indented with the **Paragraph Indent** function.

And there's a lot of more to come:
Type with a different **Line Spacing** (in this case 1 1/2)
or type in a different typing **Pitch** (This one case called **Elite**).

Often need to type columns of information and figures? Then you'll find the **Tab** and **Decimal Tab** keys very handy indeed!

Date	NO. of Cylinders	Unit Price	Total Cost	Remarks
28/08/94	65	9.84	639.60	*****
30/09/94	104	34.97	3636.88	NEW PRICE, 1994
TOTAL	169	44.81	4276.48	

Date Due: 28/10/94

EX-630 provides you with many more easy-to-use features that will make your time while typing at the EX-630 keyboard a really enjoyable one.

Best wishes from your friendly, local Brother dealer.

●アフターサービスについて

- ・お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- ・無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。（詳しくは保証書をご覧ください。）
それ以降の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- ・アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記のブラザー販売（株）〈各営業部〉へお問い合わせください。

各営業部

札幌営業部	〒060-0063	札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL : (011)222-7788
大宮出張所	〒330-0845	埼玉県大宮市仲町1-124-2	TEL : (048)640-3654
東京営業部	〒104-8790	東京都中央区京橋3-3-8	TEL : (03)3274-6911
名古屋営業部	〒467-0851	名古屋市瑞穂区塩入町11-5	TEL : (052)824-3196
大阪営業部	〒550-0012	大阪市西区立売堀4-4-2	TEL : (06)6543-9120
広島営業部	〒730-0021	広島市中区胡町4-28	TEL : (082)240-3781
福岡営業部	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2-3-12	TEL : (092)481-1560

- ◎ ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の〈各営業部〉へご連絡ください。

※ 上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

保証書について……

この製品には保証書がついています。保証書は販売店で発行いたしますから、お買い上げの販売店から必ずお受け取りいただき、大切に保存してください。